

令和5年度 香川県学習状況調査  
報 告 書

令和6年2月

香川県教育センター

# 目 次

はじめに	1
令和5年度調査結果を踏まえた授業改善の重点	2
調査の結果から見られる特徴	4
特集「児童生徒主体の学びへ」	6
<b>I 調査結果（概論）</b>	<b>9</b>
調査の概要	10
香川県重点項目に関する質問項目	12
全体的な状況	13
正答数・正答率の分布	14
無解答率	16
結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	17
教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	18
結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	21
Question 1「学習意欲」	22
Question 2「言語活動」	23
Question 3「学習習慣」	24
Question 4「自己有用感・規範意識等」	25
Question 5「学校生活」	26
Question 6「メディアの利用」	27
学校改善に向けた調査結果の活用	28
<b>II 教科に関する調査結果及び分析</b>	<b>29</b>
国語	30
社会	34
算数・数学	38
理科	42
英語	46
<b>III 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）</b>	<b>49</b>
児童生徒質問紙調査結果一覧	50
児童生徒質問紙調査結果経年比較	58
学校質問紙調査結果一覧	68
学校質問紙調査結果経年比較	76

I 調査結果  
（概論）

II 教科に関する  
調査結果及び分析

III 児童生徒質問紙  
調査結果経年比較

III 学校質問紙  
調査結果経年比較

## はじめに

今年度の香川県学習状況調査の結果を分析し、報告書にまとめました。4月に行われた全国学力・学習状況調査の出題趣旨や傾向、調査結果を踏まえ、約半年間の学校における教育及び教育施策の成果と課題を検証し、改善に向けた情報を提供することを目的としています。

本年度は、特に教科に関して、習得した知識・技能を活用することに重点を置いて出題しました。例えば、複数の資料から必要な状況を読み取って言えることは何かという問題や、既存の知識を活用して、適切な方法を選んだり理由を説明したりする問題などです。結果としては、Why?や How?の問題に課題が見られる傾向にありました。What?や Who?のように、ずばりの知識を問う問題ではなく、なぜそう考えるのが適切といえるのか?どのように条件を整えると良いのか?といった見方や考え方を問う問題に課題が見られたのです。それらの問題に正答するには、人が理解したり納得したりするために、論理立てて説明することや、相手の知識に応じて言葉を選ぶ必要があります。要求されることは複雑で高度なものになります。しかし、一方でこれは普段の授業の中で身に付けることが十分にできるものだとも言えます。

本報告書では、冊子の初め(p4、5)に今回の調査の結果から見られる特徴を簡潔に示しています。その上で、特に意識していただきたい事柄について「児童生徒主体の学びへ」の特集(pp. 6～8)を組んでいます。それ以降のページには詳細なデータや分析結果を掲載しておりますので、Columnもあわせて、必要に応じて活用いただければと思っております。

各市町(学校組合)教育委員会・各学校におかれましては、本報告書と全国学力・学習状況調査報告書を併せてご活用いただき、国や県の動向も注視しながら、市町(学校組合)や自校の現状把握、分析、改善に取り組んでいただきますようお願いいたします。当センターといたしましては、指導主事等が直接学校等に出向き、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞ、ご相談ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤明宏先生、松島充先生、岡田涼先生、経済学部の横山佳充先生に深く感謝の意を表します。

令和6年2月

香川県教育センター  
所長 藪内 康則

## “3つの「つなぐ」”のその先へ

昨年度の香川県学習状況調査報告書において、「友達とつなぐ」「情報をつなぐ」「生活とつなぐ」の3つの「つなぐ」を大切にしたい授業づくりを提案しました。

### 【授業で大切にしたい3つの「つなぐ」】

**友達とつなぐ**…友達と協働しながら課題を解決する過程で、新たな価値を創造する力を育てていきます。友達も自分も伸びていく学びを目指します。

**情報をつなぐ**…文章や資料から必要な情報を的確に見つけ出す力と、複数の情報を関係付け、正しく読んだり、自分の考えを創ったりする学びを目指します。

**生活とつなぐ**…日常生活や社会から課題を見つけたり、学んだことを生活に生かしたりしながら、分かりやすく、子どもたちの興味関心を高める学びを目指します。

再度、この3つの「つなぐ」の視点から、今回の県学習状況調査結果を振り返ってみます。

## ●●● 友達とつなぐ ●●●

「友達とつなぐ」授業の基盤には、「自分の意見や考えと、その理由を話す」ことがあります（令和5年度 全国学力・学習状況調査報告書）（p3、4）参照。

それでは、「理由を話す」ということがなぜ大切なのか、次の場面で考えてみましょう。

小学校6年生が学級会で「1年生との交流会で何をするか」を話し合っています。

【A】私は、絶対にドッジボールがいいと思います。ドッジボールをしましょう。

【B】私は、ドッジボールがいいと思います。1年生の子もルールをよく知っているからです。



理由を述べていないAさんの発言と、理由を添えて自分の意見を伝えているBさんの発言を比べると、どちらが説得力あるのか、また、この後の話し合いをより深めるのかは明らかではないでしょうか。

理由を述べることで、それぞれの考えの適切さを客観的に判断することができるようになります。それゆえ、それは一人一人を尊重する態度を涵養するものでもあります。

今回の英語の調査では、この「理由を述べる」力を「外国の友達に、日本のお薦めの季節とその理由をメールで伝える」という問題で測り、結果は、正答率が20.4%、無解答率40.1%でした（R5 p48）。授業改善の具体的なヒントについては、本報告書の48ページに記載しておりますのでご参照ください。

また、理由を述べることについては、本年度4月に実施した全国学力・学習状況調査の英語においても課題が見られていました。今後の授業改善により、次に同様の調査問題が出されたときには、どのぐらいの改善が図られているのでしょうか。

### R5 全国学力・学習状況調査【英語】

プレゼンテーションを聞き、それに対する自分の考えと理由を話す設問

正答率 : 4.2%

無解答率 : 18.8%

### R5 県学習状況調査【英語】

日本のお薦めの季節とその理由を書く設問

正答率 : 20.4%

無解答率 : 40.1%

### R6 OO調査【OO科】

自分の意見や考えと、その理由を話す／書く設問

正答率 : ? %

無解答率 : ? %

「言語活動の充実」は英語科だけ、あるいは国語科だけで進めていくものではありません。各教科等においても「理由を述べる」ということを意識して指導を重ねていきましょう。

## ●●● 情報をつなぐ ●●●

本報告書の4ページに「調査の結果から見られる特徴」として、次のことを挙げています。

複数の資料から必要な情報を読み取って、問題を解くことに課題が見られる。

複数の資料の情報をつなぐ力を付けようと、教師が2つの資料を提示し、「この2つの資料をつないで分かることを何でも言ってごらん」という学習をすることがあります。しかし、そのようなスキルの指導では実際の課題解決において十分に対応できないことを、今回の小学校社会科の調査結果が示しています（📖 p 35）。授業改善として求められているのは、学習において解決しようとしている問題について追究する過程の中で、資料から必要な情報を取り出し、活用していくために思考・判断していくことです。

社会科の例だけに限らず、小学校国語科の調査問題においても、複数の情報をつなぐことで物語の読みが深まっていく場面を取り上げています（📖 p 31）。

最初は、同じページにある近くの情報をつないでいた子どもが、しだいに物語の冒頭と結末をつないだり、別の本とつないだり、あるいは、前に読んだ物語とつないだりなど、空間や時間を超えて「情報をつなぐ」学習ができるようになることが、必要な情報を取り出し、活用する力が育っている一つの姿だと言えるでしょう。

## ●●● 生活とつなぐ ●●●

中学校数学においては、「データの活用」に課題が見られ（📖 p 41）、また、小学校算数においても同様でした（📖 p 39）。「データの活用」においては、データの収集や分類整理等の力が求められますが、その前提として「身の回りの事象」等を取り上げて問題を設定することが重要です。

- ・身の回りの事象について、興味・関心や問題意識に基づき、統計的に解決可能な問題を設定すること（「小学校学習指導要領解説 算数編」、p 272）
- ・指導に当たっては、日常の事象を題材とした問題などを取り上げ、それを解決するために必要なデータを収集し……（「中学校学習指導要領解説 数学編」、p 121） ※傍線は引用者による

昨年12月に公表された「OECD 生徒の学習到達度調査（PISA2022）」の結果においても、「日本の生徒は、OECD 平均と比べて、実生活における課題を数学を使って解決する自信が低い。また、数学を生活における事象と関連付けて学んだ経験が少ない」ということが明らかになりました（下資料参照）。身の回りの事象等を取り上げて問題を設定し解決することで、算数や数学が実生活に役立つこと、表やグラフ等の有用性などを、実感をもって理解することができるようになるでしょう。

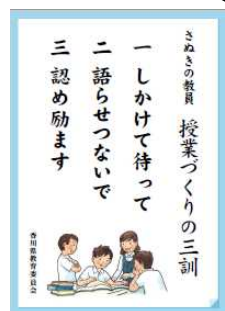
	「とても自信がある」「自信がある」と回答した生徒の割合		「何度もやった」「時々やった」と回答した生徒の割合	
	日本	OECD 平均	日本	OECD 平均
実生活の課題にからませて、 数学的な解を求めること	30.0%	52.5%	46.6%	59.3%
実社会の問題の中から、 数学的な側面を見つけること	22.7%	51.2%	37.8%	55.5%

（PISA2022 生徒質問紙調査より）

### 📖ワンポイント・アドバイス ～「つなぐ」を促す教師の言葉～

「さぬきの教員 授業づくりの三訓」にも「つなぐ」を位置付けています。次のようなことを意識しながら、教師が言葉かけをすることで、「友達」や「情報」、「生活」とつなごうとする子どもの発言が導かれるでしょう。

- ・前時の学習を思い出させる。
- ・エピソードを交えて話す。
- ・前後の脈絡をよく整えて話す。
- ・子どもの生活経験を想起させる。
- ・他教科の学習を想起させる。 など



# 調査の結果から見られる特徴

## 教科に関する調査

複数の資料から必要な情報を読み取って、問題を解くことに課題が見られる。


- 小学校社会の問題において、複数の資料を読み取って、社会的事象の意味を考える問題の正答率が49.8%であった。（📖 p35）
- 算数4の問題が選択式、記述式に関わらず（1）～（5）すべての問題で無解答率が10%を上回った。会話文の中から必要な情報の読み取りが十分できなかったことや、情報の読み取りに時間を要し、解答の時間が足りなかったことが考えられる。（📖 p39）

既有的知識を活用して、適切な方法を選んだり、理由を説明したりすることに課題が見られる。


- 中学校理科の問題において、既有的知識を活用して金属の種類を見分ける問題の正答率が50.1%であった。（📖 p45）
- 数学の問題において、相対度数を用いることよさを理解し、説明する問題の正答率が22.4%で、無解答率は31.3%であった。（📖 p41）

## 質問紙調査



「主体的な学び」の実現に課題が見られる。

- 「 $\diamond_{28/28}$  授業に自分の目標をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校が72.0%、中学校が54.3%である。（ p6、62）


授業でのICT活用が進んでいる。

- 「 $\diamond_{33/33}$  ICT機器を週3回以上使用している」と回答した児童生徒の割合は、R4年度より小学校が18pt、中学校が19pt増加している。（ p7、63）

家庭での時間の使い方に変化が見られる。

- 「 $\diamond_{17/17, 18/18}$  テレビゲームやスマートフォン等のメディアの利用の時間」が増加している。（ p27、61）
- 「 $\diamond_{39/40, 46/47}$  勉強や読書の時間」が減少している。  
（ p24、65、66）

「自分にはよいところがある」と考えている児童生徒の割合が増えている。

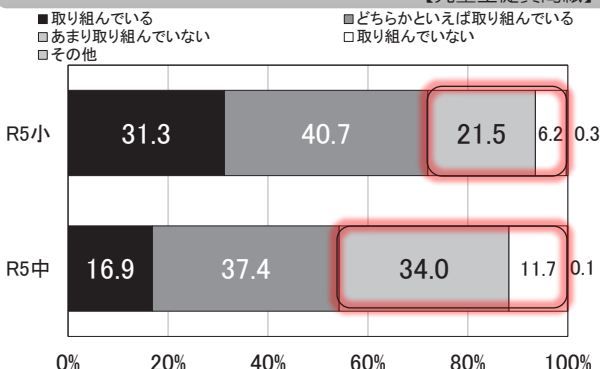
- 「 $\diamond_{6/6}$  自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校がR4年度より、中学校がR2年度以降増加している。（ p25、59）

# 児童生徒主体の学びへ

「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む学習」は進んでいますか。

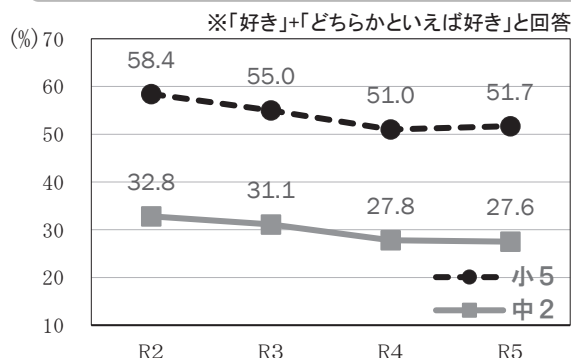
◇28/28 授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。

【児童生徒質問紙】



◇22/22 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】



「授業に、自分の目標をもって取り組んでいない」と否定的な回答をしている児童生徒が小学校では約 30%、中学校では約 45%いることがわかります。児童生徒一人一人が自分の目標や目的をもって学習に取り組むことができるように、児童生徒の発言や考えを生かして課題設定することが必要です。自分で、目標や目的をもって学習に取り組むことは、勉強の面白さに気付くきっかけになるかもしれません。

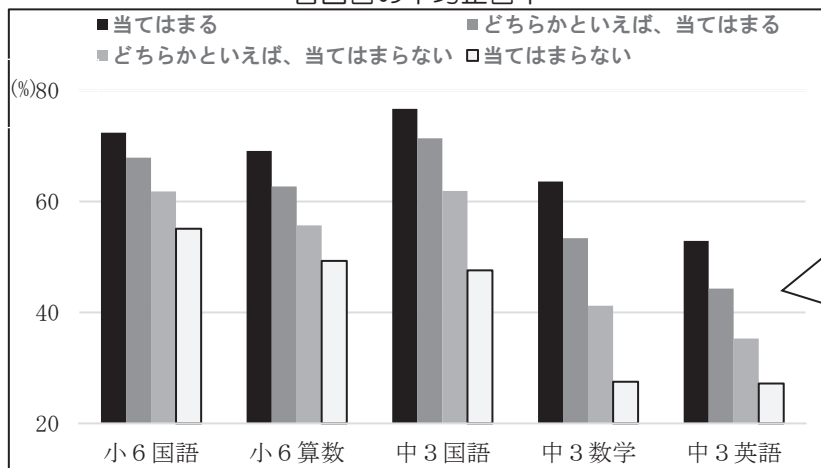
<参考>

令和5年度 全国学力・学習状況調査

◇35/37 5年生まで（1.2年生の時）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

【児童生徒質問紙】

各回答の平均正答率

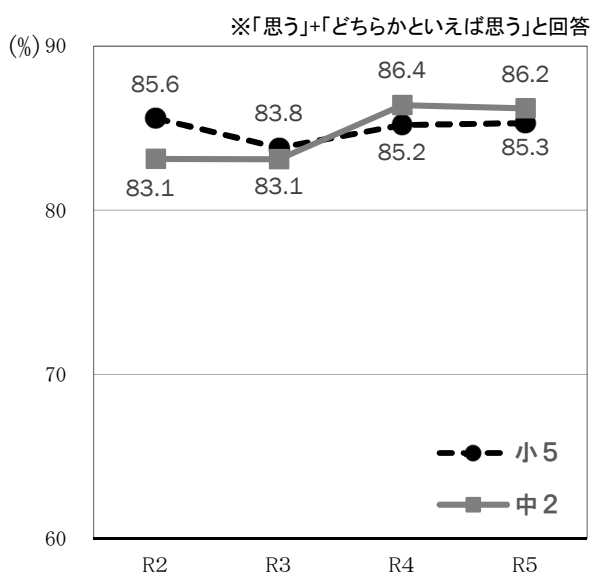


小・中学校ともに、「自分で考え、自分から取り組む」と回答しているほど、平均正答率が高いことがわかります。

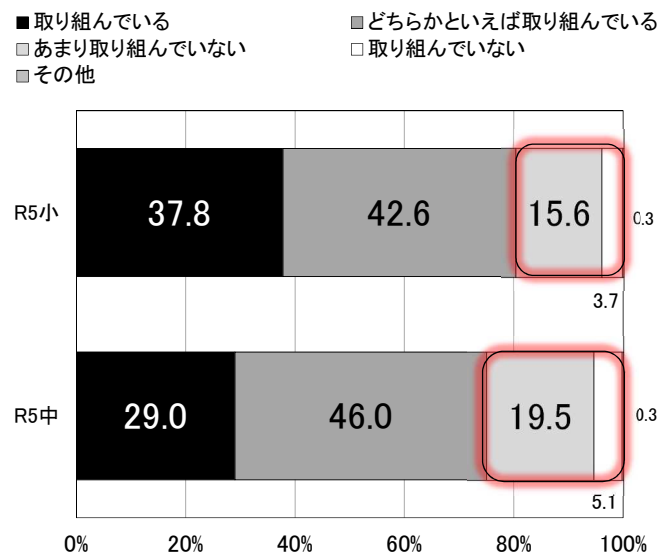


## 相手意識や目的意識を明確にした言語活動

◇31/31 普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。【児童生徒質問紙】



◇32/32 普通の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。【児童生徒質問紙】



小中学校ともに、85%を超える児童生徒が「話し合う活動をよく行っている」と肯定的に回答しています。しかし、「目的をもって取り組んでいない」と回答している児童生徒がいることが分かります。

児童生徒自らが考え、自ら取り組む学習を行うことで、課題解決に向けて、話し合いにも必然性が生まれるはずで、話し合いが、活動だけにならないようにしなければなりません。

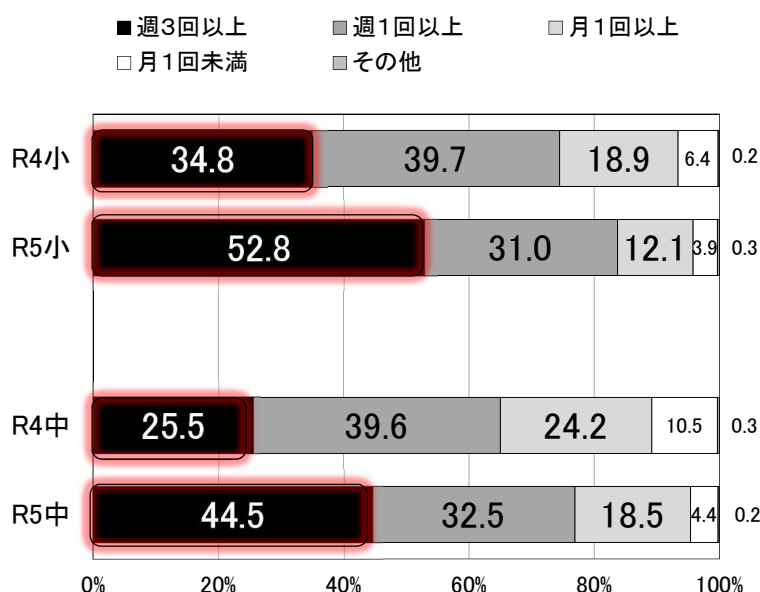
## 目的をもった言語活動に ICT を活用

「授業で週3回以上 ICT を使用する」と回答した児童生徒が R4 年度より増加しました。ICT は、本調査でも課題であった「複数の資料から必要な情報を選択したり、関連付けたりして考えること」に関して、有効に働きます。

ICT は、複数の情報を提示したり、比較したりするときに力を発揮します。例えば、児童生徒は、ICT の一覧表示機能で表示された学級全員の考えを知ること、自ら交流相手を選び、目的をもって交流することができるでしょう。また、資料の作成や、資料を使った説明にも ICT を活用することができます。

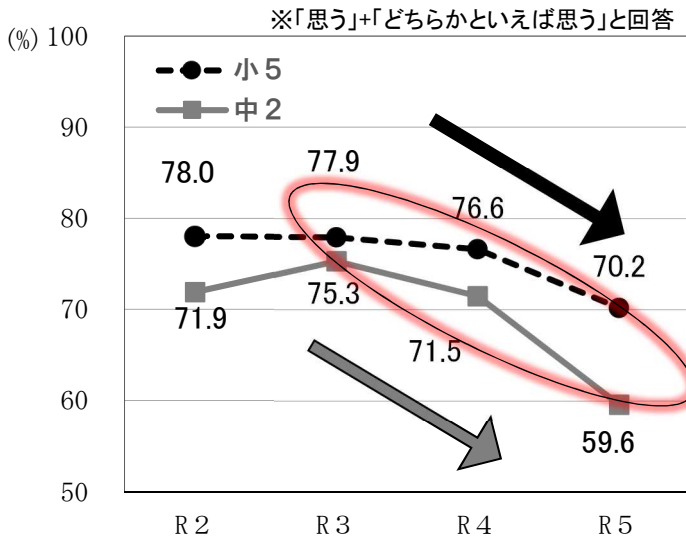
このように、ICT も活用し、相手意識や目的意識を大切にしながら言語活動にしましょう。

◇33/33 普通の授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用していますか。【児童生徒質問紙】



## 児童生徒主体の学びを支える「振り返り」

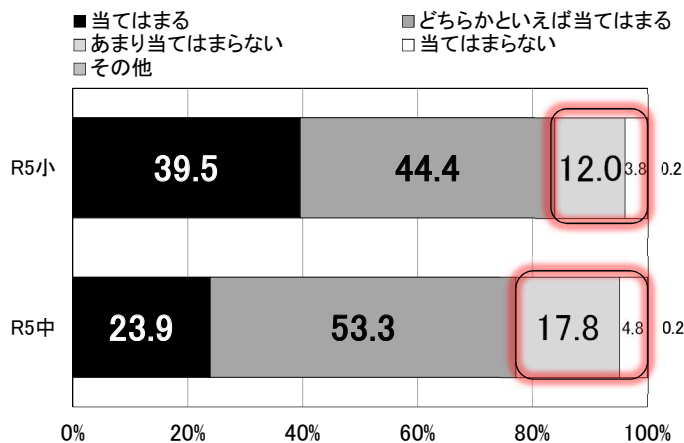
◇29/29 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。  
【児童生徒質問紙】



毎時間、授業の最後に、多くの時間をとって学習内容を振り返ることは難しいですが、短時間でも視点をもって児童生徒が自ら振り返ることが大切です。

何を、どのように学び、その学びにどのような意味があるのかを捉える「振り返り」は、問題解決の「見通し」にもつながり、児童生徒主体の学びに欠かせません。

◇21/21 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。  
【児童生徒質問紙】



児童生徒主体の学びにおいては、児童生徒自身が学習方法等を選択したり、決定したりできるようにすることが大切です。また、試行錯誤できる時間を確保し、学習過程を振り返って、学び方や学習時間が自分に合っていることを実感できるようにしていくとよいでしょう。

### 「児童生徒主体の学び」のためのチェックポイント

- 児童生徒の発言や考えを生かして課題を設定している
- 児童生徒が必要な時に目的をもって話し合えるようにしている
- 児童生徒が、課題解決に向けて、ICT 機器を使いたいときに使える環境にしている
- 児童生徒が自ら振り返る活動を取り入れている
- 児童生徒が選択したり、自己決定したりする場面を設定している

チェック!

## I 調查結果(概論)

## 調査の概要

- (1) 調査の目的 児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機とする。

- (2) 調査の時期 小学校 第5学年 : 令和5年10月31日(火)～11月10日(金)  
中学校 第2学年 : 令和5年11月7日(火)～11月16日(木)

- (3) 調査の対象 県内公立学校の小学校第5学年及び中学校第2学年の全ての児童生徒  
・学校数 小学校 153校、中学校 66校  
(附属学校及び県立学校を含む)

・児童生徒数 [単位:人]

校種・学年 教科	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	7,620	7,166
社会	7,614	7,160
算数・数学	7,616	7,166
理科	7,625	7,167
英語		7,170
児童生徒質問紙	7,697	7,192

### (4) 調査の内容

#### ① 教科に関する調査

- ・実施教科 小学校 第5学年 : 国語、社会、算数、理科 (4教科)  
中学校 第2学年 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5教科)
- ・出題範囲 前学年までに学習した内容及び当該年度前期(4月～9月末)に学習した内容
- ・問題の質と量
  - ア 学習指導要領に則して、基礎的・基本的な「知識及び技能」や、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」に関する問題
  - イ 1教科あたり小学校については40分、中学校については45分で解答できる量

#### ② 児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

#### ③ 学校質問紙調査

学校における各種の取組や児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

## (5) 調査結果の活用

香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会や学校は、本調査の目的を達成するため、次のような結果を活用した取組に努めることとする。

- 各学校は、自校で編成・実施している教育課程を評価する資料の一つとして調査結果を活用し、学習指導に係る検証改善サイクルを確立するように努める。
  - ・ 当該年度前期までの学習内容の定着状況を確認、教員が自身の指導を振り返り、指導方法の改善を図るとともに、児童生徒の理解の状況に応じて、発展的な学習や補充的な指導などを行う。
  - ・ 質問紙調査の結果から、児童生徒の状況に応じて「授業規律の確立」「学習意欲と学習に向かう態度の育成」「学習方法の指導」等の取組の推進を図るとともに、児童生徒や保護者に対して、よさやつまずきの状況を説明し、生活や学習の状況について、これまでを振り返り、これからの見通しをもつ機会を設ける。
  - ・ 分析・検証の際にまとめられた成果と課題に基づいて、本年度の年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画を作成する。
- 香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会は、教育施策の成果と課題を把握・検証し、教育施策の改善に努めるとともに、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援を行う。

### 【調査結果の数値について】

表記された数値は、端数処理のため0.1の誤差が生じることがある。

香川県重点項目に関する質問項目（全国学力・学習状況調査との関連）

経年比較から見られる現状について、香川県重点項目として6つのカテゴリ項目別にQ & Aにまとめました。

重点項目	Q&A	R5 児童生徒質問紙 質問項目				全国関連	基本計画指標	R5	R4	R3	R2
		小	中								
学習意欲	Q1	22	22	勉強は好きですか。	43/47 51/55 55/59	(◆)	○	○	○	●	
		23	23	授業は楽しいと思いますか。	—		○	○	○	○	
		25	25	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	—		○	○	○	○	
		26	26	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	—		○	○	○	●	
言語活動	Q2	27	27	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	—		○	○	○	○	
		30	30	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	—		○	○	○	○	
		31	31	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—		○	○	○	○	
		32	32	普通の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	—		○	△	△	△	
		35	35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	32/36		○	○	○	○	
		36	36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。	36/40		○	○	○	○	
学習習慣	Q3	37	38	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	16		○	○	○	●	
		39	40	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	17		○	○	○	●	
		40	41	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	18		○	○	○	○	
自己有用感・規範意識等	Q4	4	4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○	
		5	5	むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	—		○	○	○	○	
		6	6	自分には、よいところがあると思いますか。	4	◆	○	○	○	●	
		7	7	将来の夢や目標を持っていますか。	7	(◆)	○	○	○	●	
		8	8	学校のきまりを守っていますか。	—		○	○	○	●	
		10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	8		○	○	○	●	
		11	11	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	—		○	○	○	●	
		12	12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	—	◆	○	○	○	○	
		13	13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	9	◆	○	○	○	●	
14	14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	11		○	○	○	○			
学校生活	Q5	47	48	学校に行くのは楽しいと思いますか。	12	◆	○	○	○	○	
		48	49	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	—		○	○	○	○	
		49	50	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	—		○	○	○	○	
メディアの利用	Q6	17	17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	—		○	○	○	○	
		18	18	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。)	—		○	○	○	○	
		19	19	携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	—	◆	○	○	○	○	
		44	45	読書は好きですか。	24	◆	○	○	○	○	

※ ○…小5・6年、中1・2年(R3～5は小5年、中2年のみ) ●…小3～6年、中1・2年

※ 全国学力・学習状況調査と同一の質問項目には、質問番号(全国報告書参照)を、類似の質問項目には質問番号に( )を付けて、全国関連の欄に表記している。

# 全体的な状況



1. 小学校は、4教科の平均正答率が62.5%で、理科を除く3教科において「思考・判断・表現」の平均正答率が「知識・技能」の平均正答率を上回っている。
2. 中学校は、5教科の平均正答率が51.9%で、理科において「思考・判断・表現」の平均正答率が「知識・技能」の平均正答率を上回っている。

## 【教科に関する調査結果】

### 1 平均正答率

[単位：%]

	小学校 第5学年			中学校 第2学年		
	平均正答率	調査内容別平均正答率		平均正答率	調査内容別平均正答率	
		知識・技能	思考・判断・表現		知識・技能	思考・判断・表現
国語	55.0	48.7	56.7	59.4	77.1	48.9
社会	69.4	67.9	72.3	53.8	65.3	43.8
算数・数学	58.5	58.1	59.2	42.8	46.8	31.3
理科	67.1	76.9	63.8	46.0	45.0	46.9
英語				57.4	58.7	55.7
平均	62.5	62.9	63.0	51.9	58.6	45.3

### 2 平均正答率の推移

[単位：%]

小学校 第5学年	R元	R3	R4	R5
国語	74.7	57.1	56.5	55.0
社会	71.9	73.0	67.7	69.4
算数	70.8	66.8	77.7	58.5
理科	69.6	67.3	57.6	67.1

[単位：%]

中学校 第2学年	R元	R3	R4	R5
国語	68.1	67.3	62.9	59.4
社会	63.8	66.8	63.3	53.8
数学	66.8	66.2	56.4	42.8
理科	58.1	56.7	55.9	46.0
英語	61.2	60.4	56.7	57.4

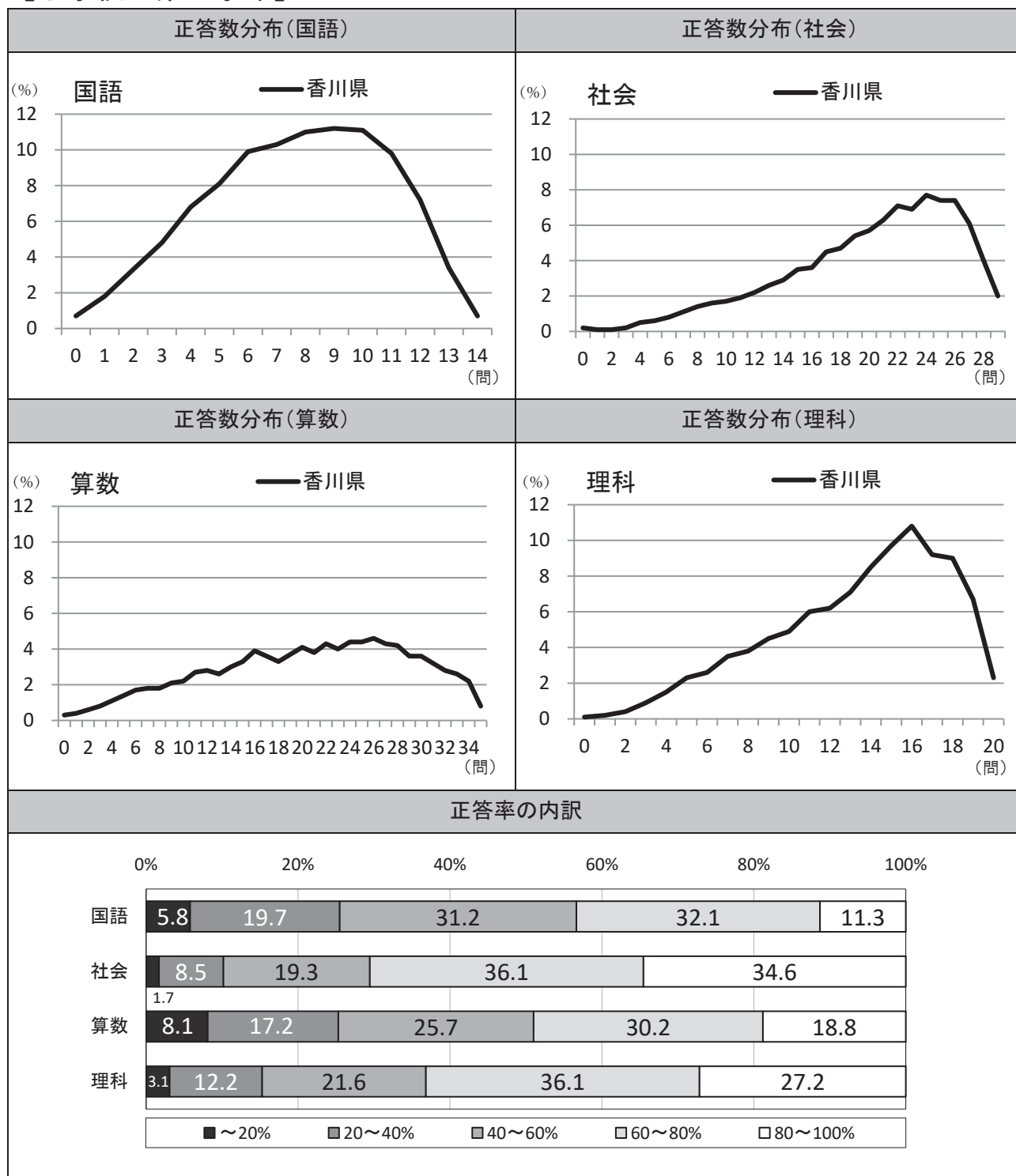
※R2は教科に関する調査を実施していないためデータなし

# 正答数・正答率の分布【小学校】

Point

1. 社会・理科において、正答率 80%以上の児童の割合が 25%を上回っている。
2. 国語・算数においては、正答率 40%未満の児童の割合が 25%を上回っている。

## 【小学校 第5学年】



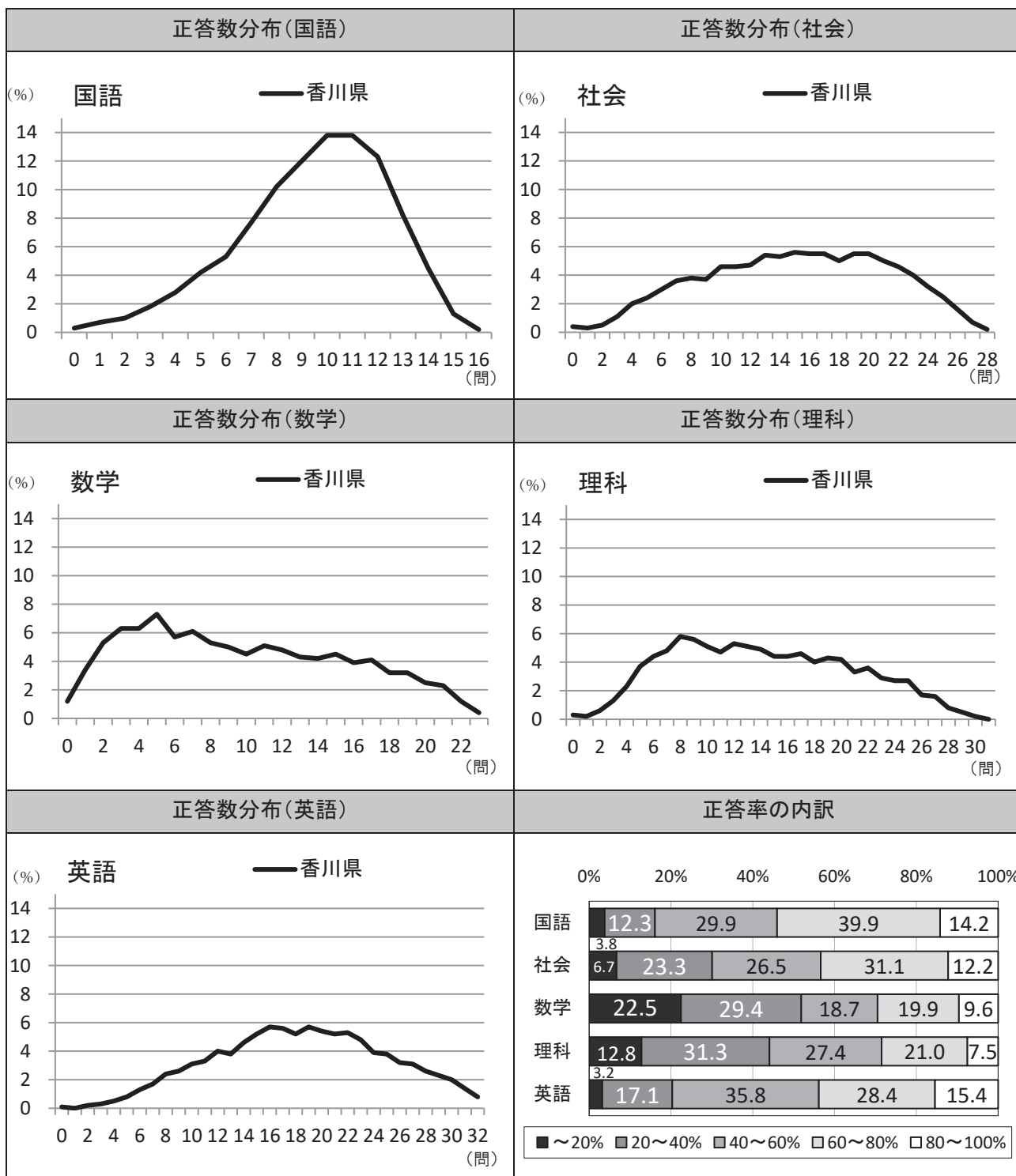


# 正答数・正答率の分布【中学校】



正答率 40%未満の生徒は、国語において20%を下回っているが、社会・数学・理科・英語において20%を上回っている。特に、数学は50%を上回っている。

## 【中学校 第2学年】



# 無解答率

**Point**

- ・ 無解答率は、小・中学校とともに、特に算数・数学で昨年度より増加している。
- ・ 問題形式別では、多くの教科で記述式問題の無解答率が高い。

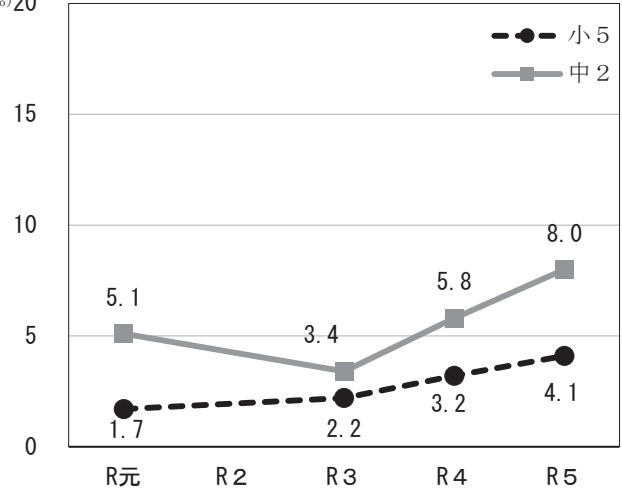
## 1 無解答率

[単位：% (R4との差：pt)]

	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	6.8 (-0.6)	7.7 (+2.3)
社会	2.5 (+0.5)	7.4 (+2.3)
算数・数学	6.3 (+4.7)	14.5 (+5.5)
理科	0.6 (-1.0)	5.8 (+1.2)
英語		4.4 (-0.4)
平均	4.1 (+0.9)	8.0 (+2.2)

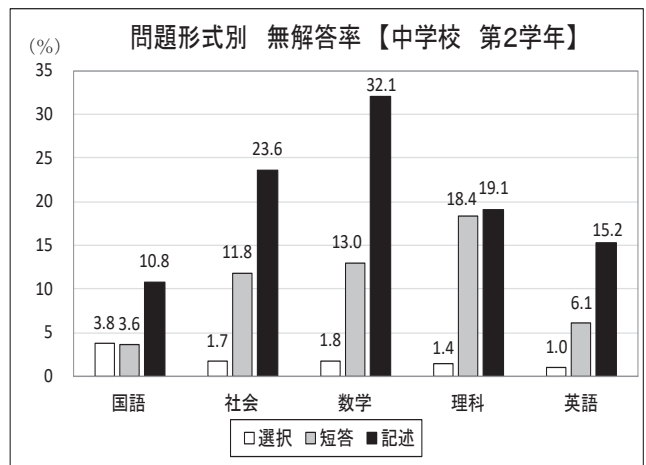
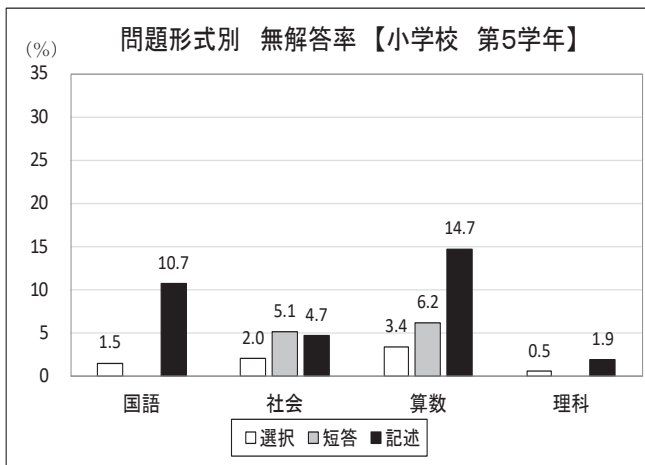
## 2 無解答率の推移

(%)20



※R2は教科に関する調査を実施していない。

## 3 問題形式別無解答率の割合



※ 小・国語、小・理科において短答式は出題していない。

## Column

小算4 みどりさんたちは、SDGsの学習をしてから、毎日節電を心がけています。そこで、昼休みに教室の明かりがついているかどうかについて4人で調べることになりました。



明かりがついている教室は9教室あったよ。



人がいなくて明かりが消えている教室は3教室だったよ。  
人がいないのに明かりがついている教室はいくつあるのだろう。



人がいる教室は7教室あったよ。

調べてきたことをもとに、下のような表を使って考えれば、調べていない数も分かりそうだよ。



みどりさんは、上の3つの教室の数が分かれば表1が完成すると言っています。これについて、次の(1)～(5)の問いに答えましょう。

左の問題は小算4の二次元の表に関する問題です。選択式、記述式に関わらず(1)～(5)のすべての問いで無解答率が10%を上回っていました。原因として、一問一答では無かったため、情報の取捨選択が難しかったことや、記述においてその表出の仕方が分からなかったことが考えられます。授業では、複数の資料から必要な情報を選別する場面を意図的に設定し、まずは問題の情報や出題の意図を確認することが大切です。

## 令和5年度香川県学習状況調査 結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

- ※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。
- ※ 時間や頻度を問う質問項目は除く。

### 小学校第5学年

#### ○肯定的な回答の割合が高い質問項目

質問番号	質問項目	%
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.5
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.3
12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	94.0
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	93.9
34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	93.3

#### ○肯定的な回答の割合が低い質問項目

質問番号	質問項目	%
22	勉強は好きですか。	51.7
38	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	51.8
37	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	61.3
35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	65.9
16	今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	68.2

### 中学校第2学年

#### ○肯定的な回答の割合が高い質問項目

質問番号	質問項目	%
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.7
8	学校のきまりを守っていますか。	95.1
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	95.1
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.0
12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	93.9

#### ○肯定的な回答の割合が低い質問項目

質問番号	質問項目	%
22	勉強は好きですか。	27.6
16	今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	42.2
39	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	44.9
38	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	48.6
28	授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	54.3

# 令和5年度香川県学習状況調査

## 教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※ 「香川県重点項目に関わる質問事項」において児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4>回答5>回答6」の関係である調査結果を示す。ただし、質問項目17、18は「回答1<回答2<回答3<回答4<回答5」の関係。

### 1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)			
			国語	社会	算数	理科
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	① ある	56.9	71.4	60.6	68.8
		② どちらかといえばある	52.4	66.9	55.7	65.3
		③ どちらかといえばない	48.8	62.6	51.4	60.3
		④ ない	41.4	56.2	43.5	53.0
		差①-④	15.5	15.2	17.1	15.8
6	自分には、よいところがあると思いますか。	① 思う	56.9	71.9	61.0	68.6
		② どちらかといえば思う	55.4	70.4	59.2	67.9
		③ あまり思わない	53.0	66.3	55.5	65.4
		④ まったく思わない	50.4	63.4	52.9	61.9
		差①-④	6.5	8.5	8.1	6.7
8	学校のきまりを守っていますか。	① 守っている	57.3	71.6	60.4	68.5
		② どちらかといえば守っている	55.1	69.8	58.9	67.8
		③ あまり守っていない	44.9	59.1	49.3	58.2
		④ 守っていない	39.1	49.6	38.4	50.0
		差①-④	18.2	22.0	22.0	18.5
12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	① 思う	56.3	70.4	59.5	68.0
		② どちらかといえば思う	51.6	67.6	56.4	65.4
		③ あまり思わない	50.8	65.6	54.6	63.6
		④ まったく思わない	45.7	59.8	48.7	57.9
		差①-④	10.6	10.6	10.8	10.1
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	① 思う	56.3	70.6	59.6	68.1
		② どちらかといえば思う	51.8	67.1	56.1	65.3
		③ あまり思わない	47.2	60.7	52.9	60.8
		④ まったく思わない	44.7	55.9	43.0	53.7
		差①-④	11.6	14.7	16.6	14.4
17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	① 4時間以上	45.1	58.6	47.2	57.8
		② 3時間以上、4時間より少ない	49.8	65.5	53.1	63.1
		③ 2時間以上、3時間より少ない	53.9	68.0	56.6	65.5
		④ 1時間以上、2時間より少ない	57.7	73.3	62.5	70.7
		⑤ 1時間より少ない	61.9	75.8	65.8	72.9
		⑥ まったく利用していない	62.5	75.1	66.1	71.9
		差①-⑤	-16.8	-17.2	-18.6	-15.1
18	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	43.9	56.4	44.2	54.7
		② 3時間以上、4時間より少ない	47.3	61.2	49.0	59.5
		③ 2時間以上、3時間より少ない	50.7	64.5	53.1	62.1
		④ 1時間以上、2時間より少ない	54.7	69.6	58.1	66.3
		⑤ 1時間より少ない	59.4	73.7	63.3	71.8
		⑥ まったく利用していない	58.0	73.4	63.3	70.7
		差①-⑤	-15.5	-17.3	-19.1	-17.1
22	勉強は好きですか。	① 好き	61.8	76.1	67.3	72.7
		② どちらかといえば好き	57.2	72.6	61.4	70.0
		③ どちらかといえばきらい	53.2	67.7	55.9	65.4
		④ きらい	48.1	60.9	50.0	59.7
		差①-④	13.7	15.2	17.3	13.0
23	授業は楽しいと思いますか。	① 思う	57.9	72.4	61.8	69.3
		② どちらかといえば思う	55.5	70.6	59.2	68.3
		③ あまり思わない	52.3	65.7	55.0	64.3
		④ まったく思わない	46.8	59.5	49.5	58.1
		差①-④	11.1	12.9	12.3	11.2
25	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	60.2	74.5	65.5	71.9
		② どちらかといえば取り組んでいる	54.9	69.8	58.1	67.2
		③ あまり取り組んでいない	46.3	60.7	47.8	59.3
		④ まったく取り組んでいない	40.8	50.7	39.0	49.1
		差①-④	19.4	23.8	26.5	22.8
26	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	① している	57.3	71.7	61.2	69.1
		② どちらかといえばしている	54.2	69.0	57.5	66.7
		③ あまりしていない	52.1	66.5	55.3	64.6
		④ まったくしていない	46.2	57.9	47.9	55.7
		差①-④	11.1	13.8	13.3	13.4
27	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	57.8	71.9	61.1	68.8
		② どちらかといえば取り組んでいる	55.0	69.8	58.6	67.5
		③ あまり取り組んでいない	50.6	65.5	54.4	63.8
		④ まったく取り組んでいない	44.6	56.0	47.6	57.6
		差①-④	13.2	15.9	13.5	11.2
30	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	① 思う	60.1	73.9	64.2	71.5
		② どちらかといえば思う	52.9	68.4	56.7	66.0
		③ あまり思わない	47.9	62.6	49.9	60.4
		④ まったく思わない	43.8	55.9	43.7	53.8
		差①-④	16.3	18.0	20.5	17.7

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)			
			国語	社会	算数	理科
31	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	① 思う	56.8	71.1	60.4	68.1
		② どちらかといえば思う	54.3	69.1	57.9	67.4
		③ あまり思わない	52.2	66.8	55.7	65.0
		④ まったく思わない	44.7	55.1	44.9	54.0
		差①-④	12.1	16.0	15.5	14.1
32	普通の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	57.5	71.5	60.7	68.5
		② どちらかといえば取り組んでいる	54.7	69.5	58.6	67.3
		③ あまり取り組んでいない	51.6	66.5	55.0	64.9
		④ 取り組んでいない	47.9	61.2	50.7	60.2
		差①-④	9.6	10.3	10.0	8.3
35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	① している	60.0	73.6	64.0	70.9
		② どちらかといえばしている	55.8	70.4	59.3	67.8
		③ あまりしてない	51.6	66.6	54.8	64.7
		④ まったくしてない	45.0	59.6	48.1	57.8
		差①-④	15.0	14.0	15.9	13.1
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。	① できている	58.2	72.7	62.5	69.4
		② どちらかといえばできている	56.1	70.8	59.4	68.4
		③ あまりできていない	52.4	66.8	55.5	65.0
		④ まったくできていない	50.2	63.8	53.2	62.7
		差①-④	8.0	8.9	9.3	6.7
44	読書は好きですか。	① 好き	60.5	73.8	63.4	72.2
		② どちらかといえば好き	54.2	69.3	57.4	66.5
		③ どちらかといえばきらい	49.5	65.6	54.6	62.7
		④ きらい	44.6	58.6	49.4	55.6
		差①-④	15.9	15.2	14.0	16.6
47	学校に行くのは楽しいと思いますか。	① 思う	56.9	71.6	60.9	68.4
		② どちらかといえば思う	55.3	69.8	58.7	68.2
		③ あまり思わない	52.0	66.0	54.9	64.2
		④ まったく思わない	47.6	61.6	49.9	59.7
		差①-④	9.3	10.0	11.0	8.7
48	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	① ある	56.6	71.0	59.9	68.2
		② どちらかといえばある	53.8	68.6	57.8	66.4
		③ どちらかといえばない	51.7	66.6	55.6	65.8
		④ ない	51.5	64.3	54.5	62.2
		差①-④	5.1	6.7	5.4	6.0
49	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	① できる	59.2	73.5	64.0	70.7
		② どちらかといえばできる	54.7	69.4	58.1	66.9
		③ どちらかといえばできない	51.5	66.5	54.1	64.8
		④ できない	48.9	61.4	50.0	59.9
		差①-④	10.3	12.1	14.0	10.8

## 2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
8	学校のきまりを守っていますか。	① 守っている	61.4	55.9	45.0	48.0	59.6
		② どちらかといえば守っている	58.1	52.4	41.3	44.5	55.9
		③ あまり守っていない	49.4	42.4	31.8	35.9	45.3
		④ 守っていない	42.9	38.4	25.3	31.6	39.6
		差①-④	18.5	17.5	19.7	16.4	20.0
17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	① 4時間以上	51.4	43.4	30.5	35.7	46.6
		② 3時間以上、4時間より少ない	55.4	49.5	37.1	41.1	52.3
		③ 2時間以上、3時間より少ない	58.7	52.6	41.1	45.0	56.6
		④ 1時間以上、2時間より少ない	61.0	57.2	46.0	49.2	59.7
		⑤ 1時間より少ない	65.6	60.7	52.2	53.0	65.3
		⑥ まったく利用していない	66.8	61.6	52.9	53.9	66.8
		差①-⑤	-14.2	-17.3	-21.7	-17.3	-18.7
18	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	53.0	43.5	31.1	35.7	47.9
		② 3時間以上、4時間より少ない	56.7	48.7	37.1	41.0	53.7
		③ 2時間以上、3時間より少ない	60.2	53.2	42.1	45.2	57.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	61.5	56.8	46.9	48.7	60.5
		⑤ 1時間より少ない	62.8	59.8	49.5	52.1	62.2
		⑥ まったく利用していない	59.7	58.7	46.4	51.9	59.4
		差①-⑤	-9.8	-16.3	-18.4	-16.4	-14.3
22	勉強は好きですか。	① 好き	66.4	66.5	58.3	59.3	69.3
		② どちらかといえば好き	64.0	61.2	51.6	53.6	63.9
		③ どちらかといえばきらい	60.4	54.2	42.8	46.0	57.9
		④ きらい	54.9	47.1	35.2	39.4	51.3
		差①-④	11.5	19.4	23.1	19.9	18.0
25	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	65.2	63.9	56.5	56.8	67.1
		② どちらかといえば取り組んでいる	60.7	54.6	43.5	46.5	58.3
		③ あまり取り組んでいない	54.7	46.0	32.1	37.6	49.9
		④ まったく取り組んでいない	43.6	35.6	21.5	29.3	39.0
		差①-④	21.6	28.3	35.0	27.5	28.1

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
26	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	① している	64.1	60.7	51.9	53.1	64.2
		② どちらかといえばしている	59.6	53.5	42.2	45.6	57.6
		③ あまりしていない	55.8	48.2	35.2	39.9	51.5
		④ まったくしていない	48.5	42.2	28.7	34.8	44.2
		差①-④	15.6	18.5	23.2	18.3	20.0
27	授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	61.8	55.9	45.3	48.0	60.1
		② どちらかといえば取り組んでいる	59.9	54.4	43.2	46.4	57.8
		③ あまり取り組んでいない	56.1	50.5	39.6	43.2	53.7
		④ まったく取り組んでいない	46.4	43.3	29.4	36.2	44.5
		差①-④	15.4	12.6	15.9	11.8	15.6
30	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	① 思う	61.9	57.8	46.9	49.5	60.3
		② どちらかといえば思う	59.9	53.7	42.8	45.8	57.5
		③ あまり思わない	54.1	46.2	34.8	39.1	51.7
		④ まったく思わない	45.7	36.6	23.6	30.8	42.3
		差①-④	16.2	21.2	23.3	18.7	18.0
31	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	① 思う	61.1	55.7	45.2	47.7	59.2
		② どちらかといえば思う	59.3	53.8	42.4	45.9	57.3
		③ あまり思わない	55.7	49.9	38.2	42.6	53.8
		④ まったく思わない	50.0	40.6	30.1	34.7	46.6
		差①-④	11.1	15.1	15.1	13.0	12.6
32	普通の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	① 取り組んでいる	61.3	55.6	45.1	47.9	59.4
		② どちらかといえば取り組んでいる	60.1	54.6	43.3	46.2	58.0
		③ あまり取り組んでいない	57.5	51.8	41.0	44.8	55.6
		④ 取り組んでいない	51.6	45.8	33.9	39.4	49.4
		差①-④	9.7	9.8	11.2	8.5	10.0
35	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	① している	64.2	59.9	50.3	52.2	63.4
		② どちらかといえばしている	60.6	55.5	44.2	47.3	58.6
		③ あまりしていない	56.6	49.4	37.8	41.7	53.7
		④ まったくしていない	48.9	41.2	29.5	34.6	45.5
		差①-④	15.3	18.7	20.8	17.6	17.9
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	① できている	62.4	57.7	47.6	49.8	61.4
		② どちらかといえばできている	60.4	54.7	43.5	46.6	58.2
		③ あまりできていない	54.6	47.5	35.2	39.9	51.2
		④ まったくできていない	44.5	37.2	24.4	31.6	40.7
		差①-④	17.9	20.5	23.2	18.2	20.7
38	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	① している	62.4	58.8	49.9	51.6	63.5
		② どちらかといえばしている	61.1	55.7	44.8	47.2	59.4
		③ あまりしていない	59.2	52.2	40.6	44.6	56.1
		④ まったくしていない	54.3	48.9	36.6	41.1	50.6
		差①-④	8.1	9.9	13.3	10.5	12.9
41	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	① 4時間以上	65.3	62.7	54.9	54.6	68.1
		② 3時間以上、4時間より少ない	62.5	57.1	47.8	49.7	62.4
		③ 2時間以上、3時間より少ない	61.5	55.9	45.5	47.9	59.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	61.4	55.8	44.2	47.7	59.0
		⑤ 1時間より少ない	57.5	51.5	40.1	43.6	54.5
		⑥ まったくしていない	51.8	45.3	32.8	38.3	48.4
		差①-⑥	13.5	17.4	22.1	16.3	19.7
45	読書は好きですか。	① 好き	65.1	60.5	48.2	52.1	61.7
		② どちらかといえば好き	59.6	53.6	42.8	45.7	57.3
		③ どちらかといえば嫌い	55.6	49.4	39.8	42.0	55.0
		④ 嫌い	52.1	46.0	35.6	39.0	51.7
		差①-④	13.0	14.5	12.6	13.1	10.0
48	学校に行くのは楽しいと思いますか。	① 思う	60.2	55.6	44.8	47.6	59.5
		② どちらかといえば思う	59.8	54.5	43.6	46.3	57.5
		③ あまり思わない	59.2	51.1	39.8	44.0	55.2
		④ まったく思わない	54.7	47.0	34.8	40.2	50.3
		差①-④	5.5	8.6	10.0	7.4	9.2
49	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	① ある	60.9	55.2	44.8	47.3	59.3
		② どちらかといえばある	59.0	53.1	41.4	45.1	56.0
		③ どちらかといえばない	56.2	51.6	39.7	43.8	54.5
		④ ない	52.7	46.8	34.9	41.3	49.9
		差①-④	8.2	8.4	9.9	6.0	9.4

## 令和5年度香川県学習状況調査 結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

- ※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。  
 ※ 時間や頻度を問う質問項目は除く。

### 小学校

#### ○回答選択肢1の回答の割合が80%を上回る質問項目

質問番号	質問項目	%
43	前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	93.7
37	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	92.4
40	模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	80.4

#### ○肯定的な回答の割合が70%を下回る質問項目

質問番号	質問項目	%
6	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	34.8
42	現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	40.5
41	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	56.9
17	より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	62.7

### 中学校

#### ○回答選択肢1の回答の割合が80%を上回る質問項目

質問番号	質問項目	%
37	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	91.5
43	前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	88.7

#### ○肯定的な回答の割合が70%を下回る質問項目

質問番号	質問項目	%
41	現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	45.0
42	現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	45.0
6	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	47.9
28	新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	63.0
35	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	64.8
5	「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	69.0

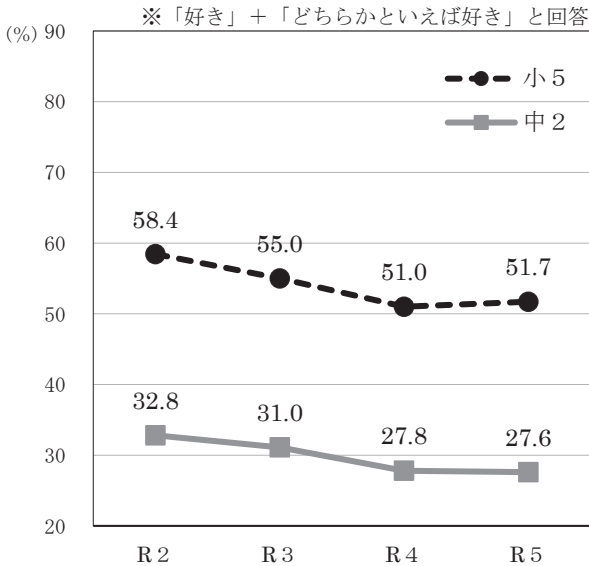
Question  
1  
学習意欲

「学習意欲」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇22/22 勉強は好き」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、R2年度以降減少傾向（↘）であるが、小学校は昨年度より増加（↗）している。  
2 「◇25/25 あきらめずに取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、R3年度以降減少傾向（↘）である。

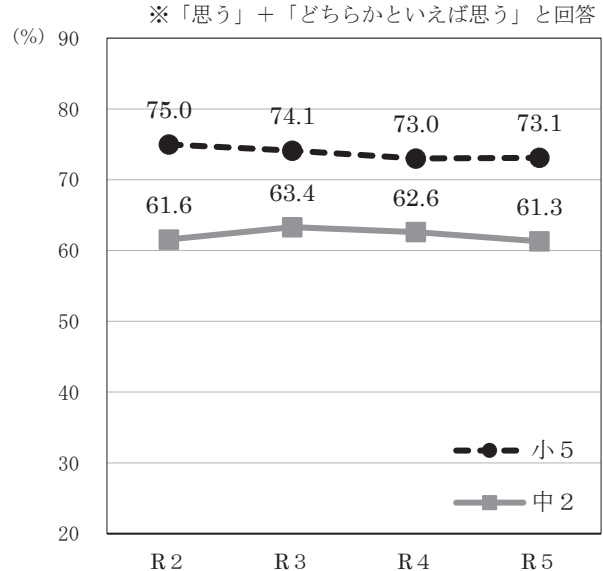
◇22/22 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】



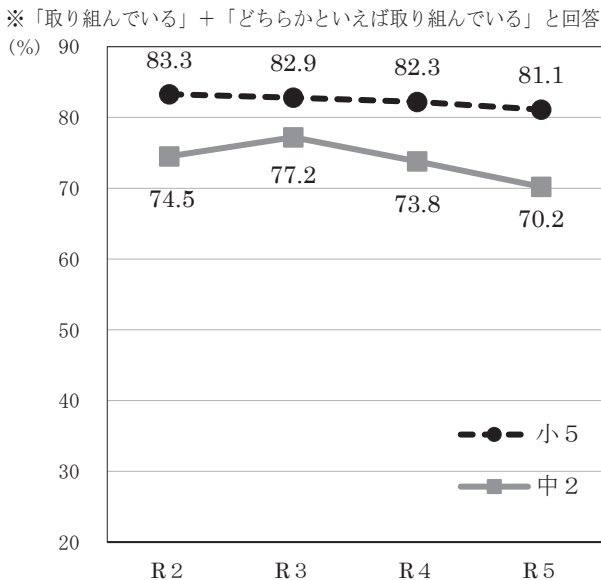
◇23/23 授業は楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】



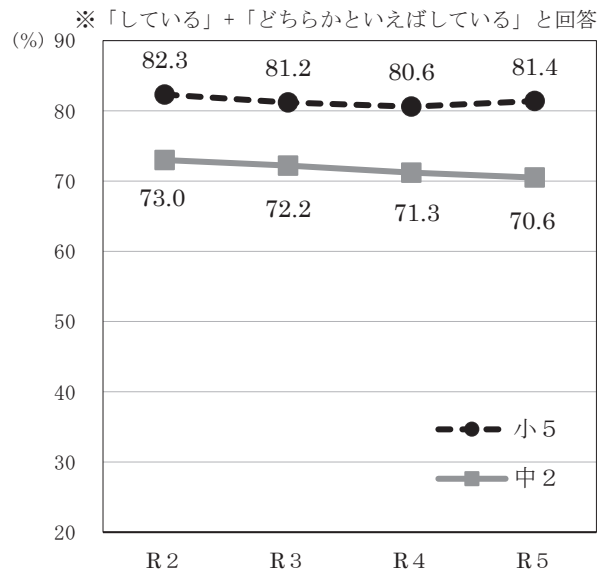
◇25/25 分からない問題があるとき、見方や考え方を  
変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。

【児童生徒質問紙】



◇26/26 分からないところは先生や友達に質問して  
解決していますか。

【児童生徒質問紙】



Column

～自力解決の達成感を味わう～

「◇25/25 分からない問題があるとき、見方や考え方を  
変えながら、あきらめずに取り組んでいる」と  
回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに減少傾向です。様々な要因が考えられますが、分からない問題に出会ったときに、どのように対処するのか戸惑っている児童生徒がいるのかもしれない。ノートや教科書を使って既習事項を振り返る、友達と交流して視点を広げるなど、見方・考え方を身に付ける機会を繰り返し授業に組み込む事が大切です。このように粘り強く問題に取り組む姿勢は、日常生活での課題解決にも生かされるはずで、（「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」の二次元コードを82ページに掲載しています。授業改善にぜひご活用ください。）



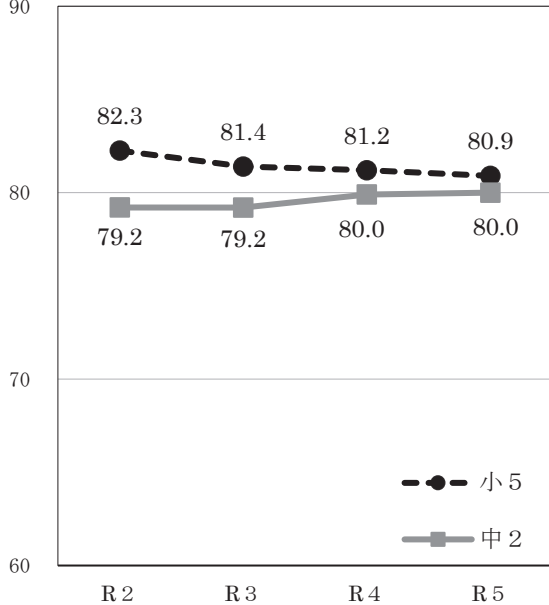
Question  
2  
言語活動

「言語活動」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

- Answer 1 「◇31/31 話し合う活動を行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度に引き続き、小・中学校ともに85%を上回っている。
- 2 「◇35/35 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校はR2年度以降減少していたが、今年度は増加(ノ)している。

◇27/27 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。【児童生徒質問紙】

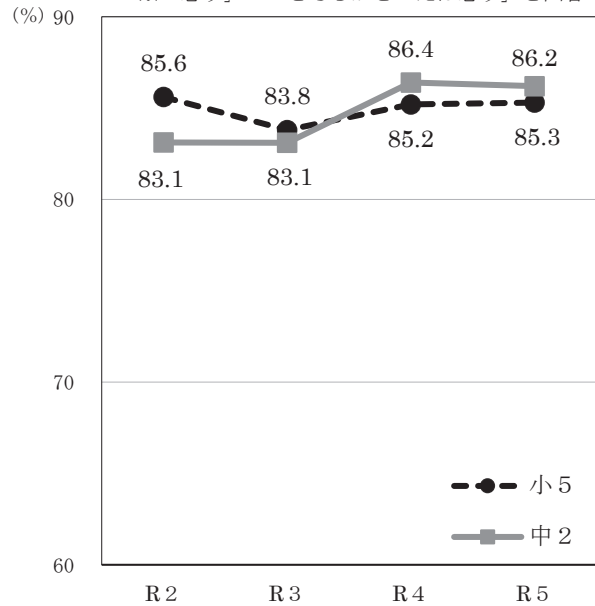
※「取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」と回答 (%) 90



◇31/31 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。【児童生徒質問紙】

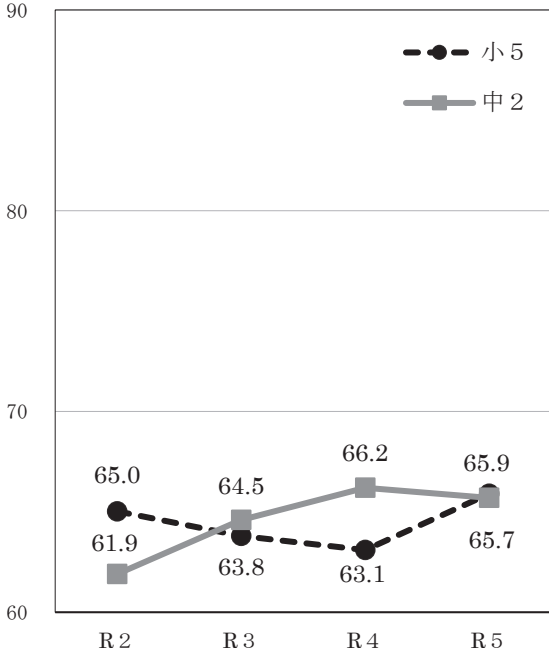
【児童生徒質問紙】

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答 (%) 90



◇35/35 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。【児童生徒質問紙】

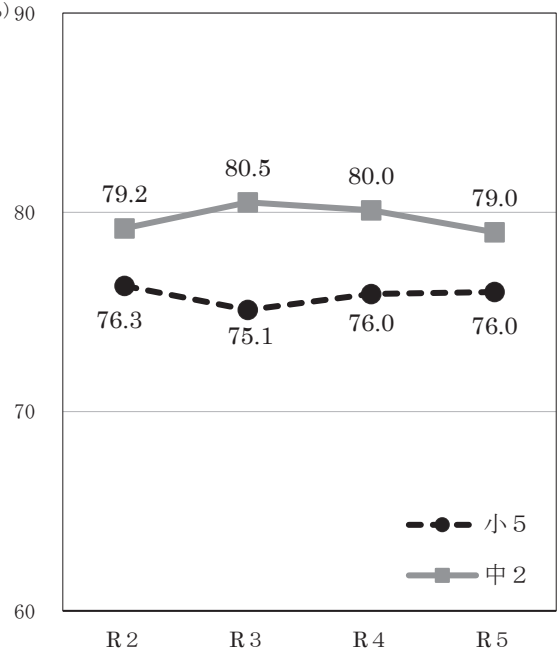
※「できている」+「どちらかといえばできている」と回答 (%) 90



◇36/36 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。【児童生徒質問紙】

【児童生徒質問紙】

※「できている」+「どちらかといえばできている」と回答 (%) 90



Question  
3  
学習習慣

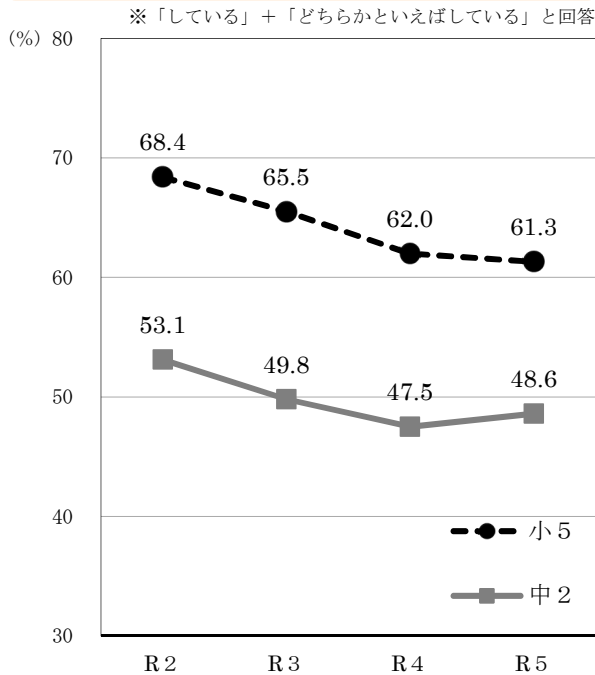
「学習習慣」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

- 「◇37/38 家で自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、R2年度以降減少傾向（↘）であるが、中学校は昨年度より増加（↗）している。
- 「◇39/40 平日に1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにR2年度以降減少傾向（↘）である。

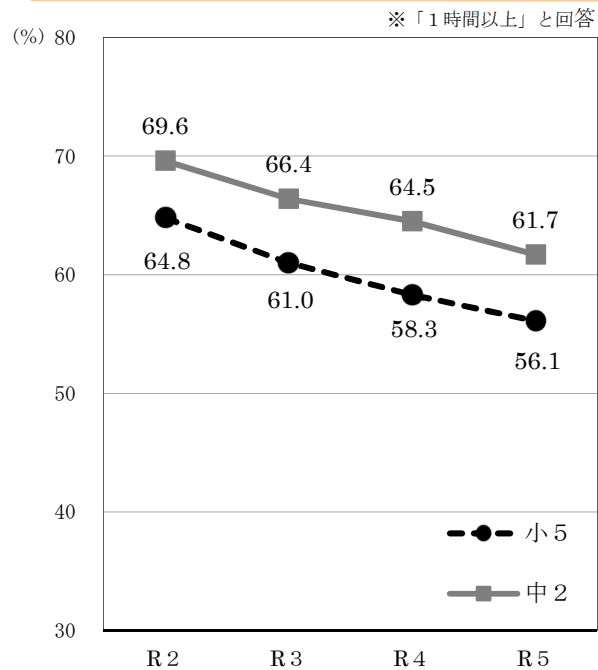
◇37/38 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

【児童生徒質問紙】



◇39/40 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

【児童生徒質問紙】

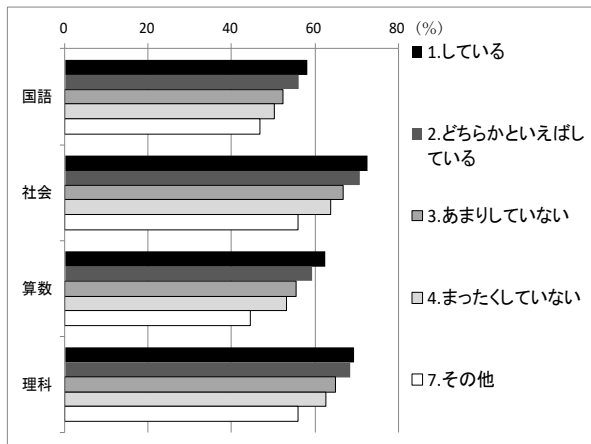


Column

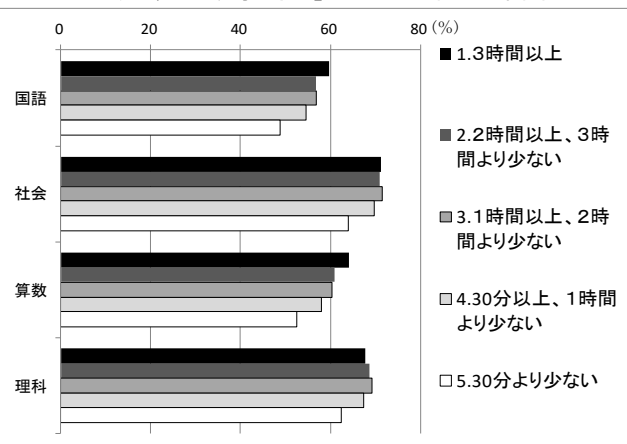
～「何」を「どのように」勉強するか、考えられる子どもに～

小学校第5学年

<◇37/38「計画を立てた勉強」と平均正答率の関係>



<◇39/40「勉強時間」と平均正答率の関係>



上のグラフから、計画を立てて勉強するほど正答率が高いと言えますが、勉強時間が長いほど正答率が高いとは言えない状況がうかがえます。家庭学習においては、勉強時間だけでなく、学習内容や方法も大切です。「何」を「どのように」勉強したのかを学級で紹介し合う機会を設けるのもよいでしょう。また、テストで間違えた問題をノートにまとめ、復習するなど具体的な学習方法を挙げる事も有効です。学習内容を確認し、それに適した学習方法が選択できるような自分にあう学習スタイルを知ることが、見通しをもった計画的な勉強につながっていくでしょう。

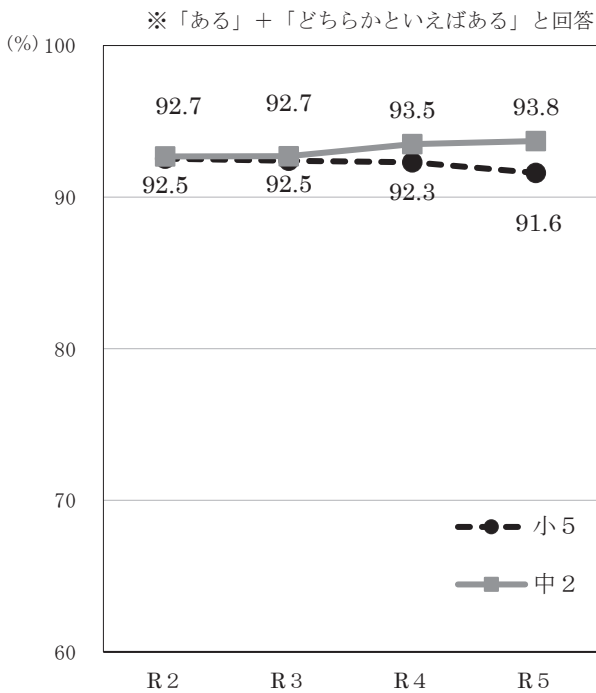
Question  
4  
自己有用感  
規範意識等

「自己有用感 規範意識等」に関する質問紙調査結果については、  
どのような傾向が見られましたか。

Answer 1 「◇5/5 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、R3年度以降小学校は横ばい(→)であるが、中学校は減少傾向(↘)である。  
2 「◇6/6 自分には、よいところがある」と肯定的に回答した生徒の割合は、中学校でR2年度以降増加傾向(↗)である。

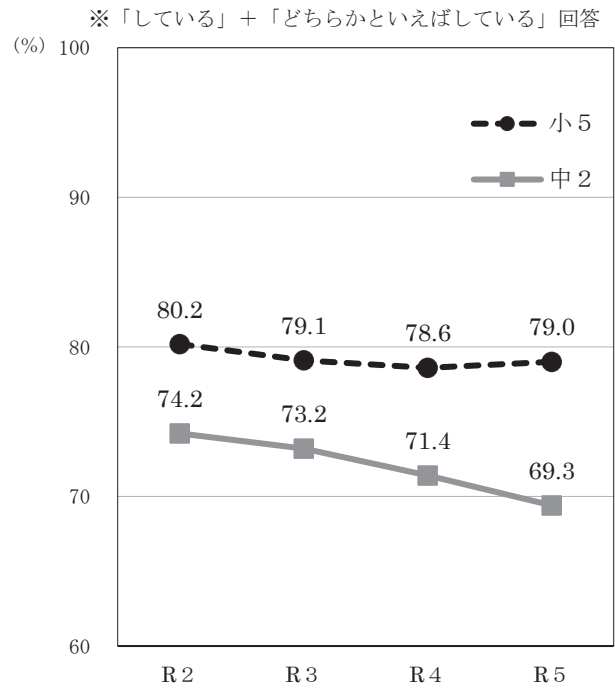
◇4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

【児童生徒質問紙】



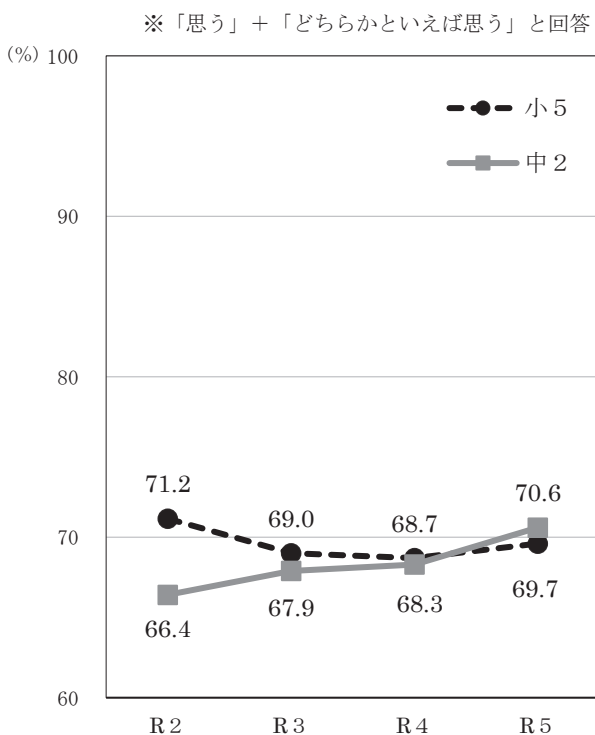
◇5/5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。

【児童生徒質問紙】



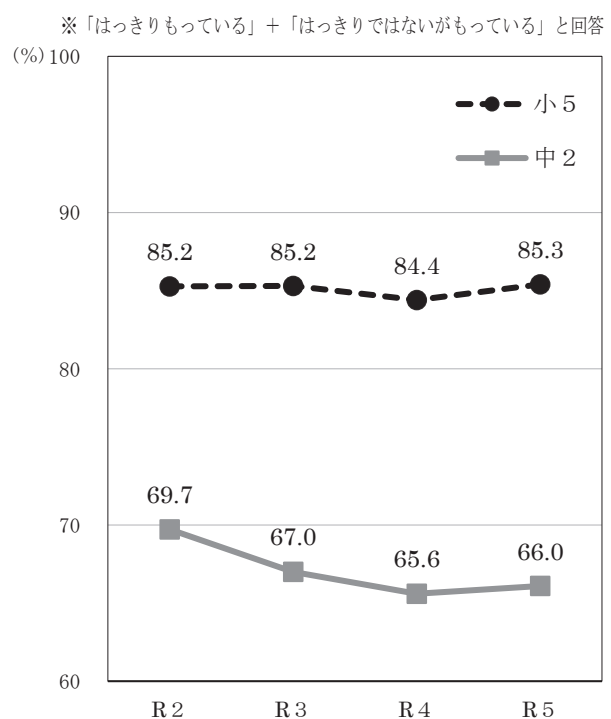
◇6/6 自分には、よいところがあると思いますか。

【児童生徒質問紙】



◇7/7 将来の夢や目標をもっていますか。

【児童生徒質問紙】



Question 5  
学校生活

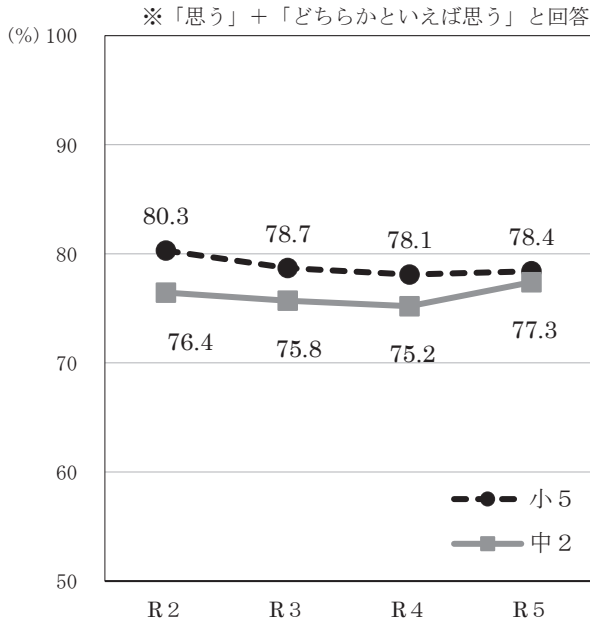
「学校生活」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

- 1 小学校では「学校生活」に関する全ての質問項目で、肯定的に回答した児童の割合がR3年度以降横ばい(→)である。
- 2 中学校では、「◇49/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができる」と肯定的に回答した生徒の割合は減少傾向(↘)であるが、「◇48/49 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある」と肯定的に回答した生徒の割合はR2年度以降増加傾向(↗)である。

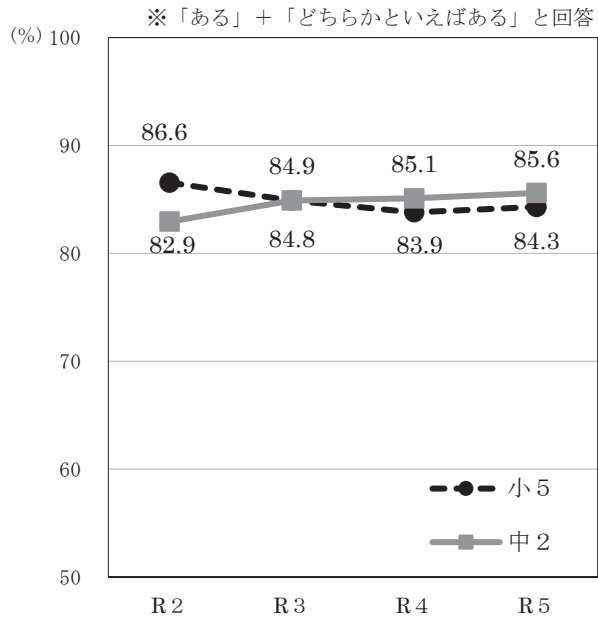
◇47/48 学校に行くのは楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】



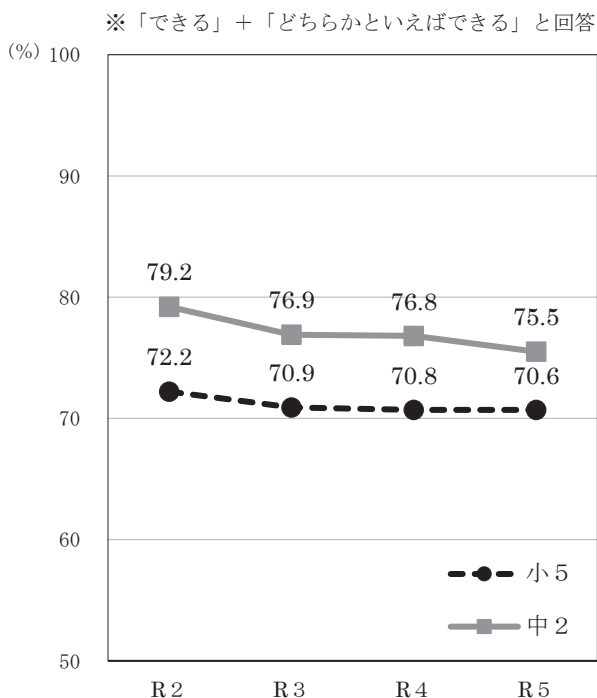
◇48/49 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。

【児童生徒質問紙】



◇49/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

【児童生徒質問紙】



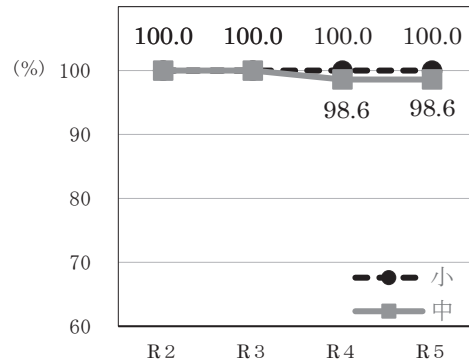
Column

～安心して過ごせる学級～

◆26/26 普段の授業で、児童生徒が安心して発言出来る雰囲気づくりに取り組んでいますか。

【学校質問紙】

※「よく行っている」+「どちらかといえば行っている」と回答



学校質問紙では、ほぼすべての小・中学校が、「児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいる」と肯定的に回答していますが、児童生徒質問紙◇49/50では約25～30%の児童生徒が肯定的に回答していないことが分かります。授業中に加えて、休み時間の児童生徒の表情や友達との関わりに目を配り、個と全体のバランスを柔軟に図っていくことで、より児童生徒が安心して自分の考えを伝えることができる雰囲気づくりにつながるかもしれません。

Question 6  
メディアの利用

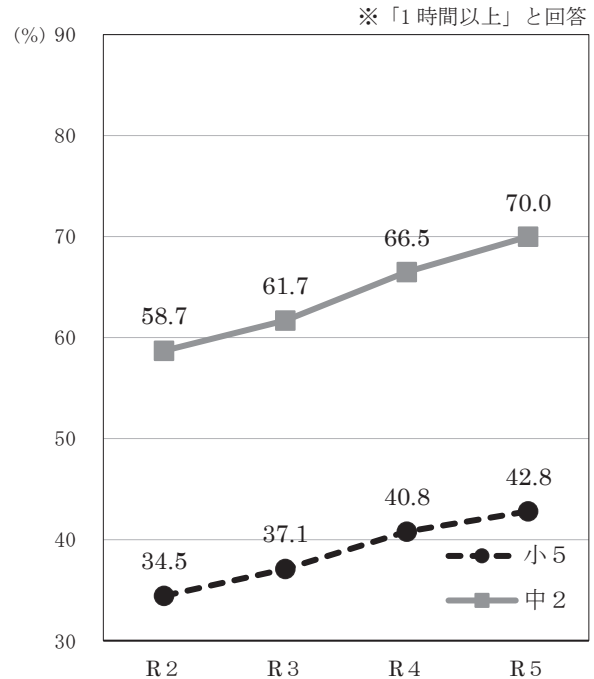
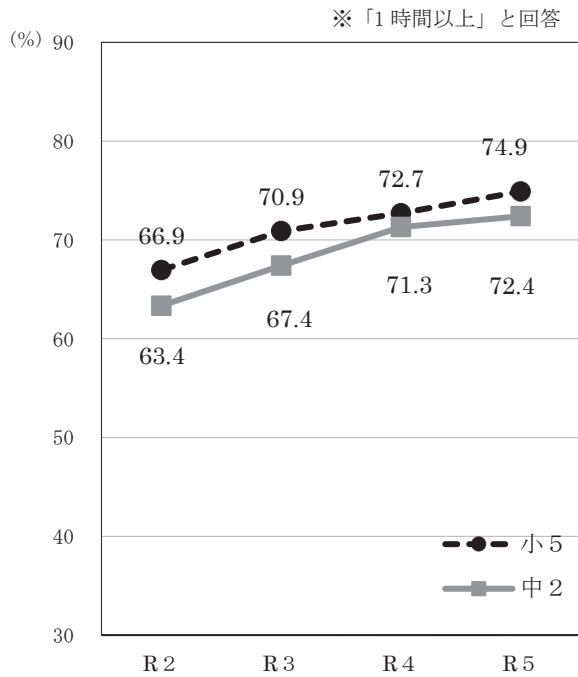
「メディアの利用」に関する質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

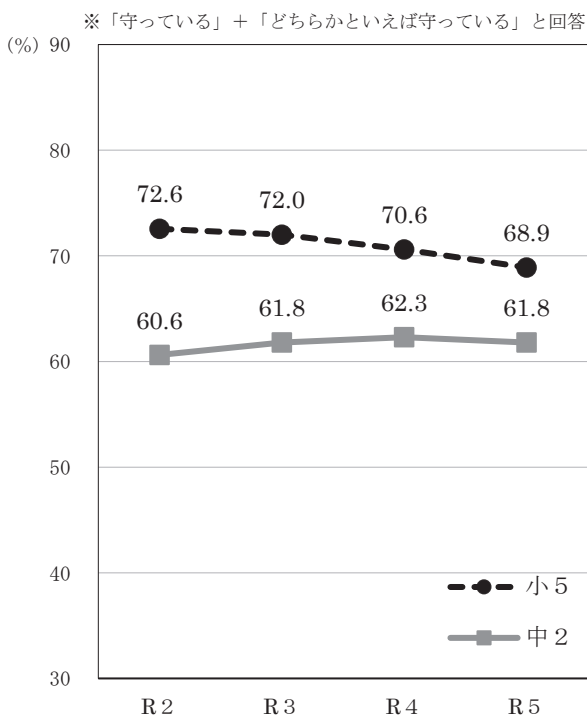
- 「◇17/17 平日に1時間以上ゲームをする」、「◇18/18 平日に1時間以上通話やメール、インターネットをする」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにR2年度以降増加傾向(↗)である。
- 「◇19/19 使用ルールを守っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校はR2年度以降減少傾向(↘)であるが、中学校はR3年度以降横ばい(→)である。

◇17/17 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。  
【児童生徒質問紙】

◇18/18 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)  
【児童生徒質問紙】

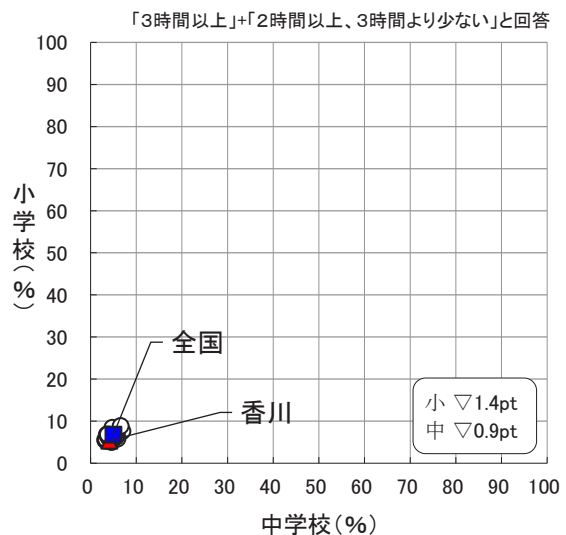


◇19/19 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。  
【児童生徒質問紙】



【参考】全国学力・学習状況調査結果(R5)

□ 31/35 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)

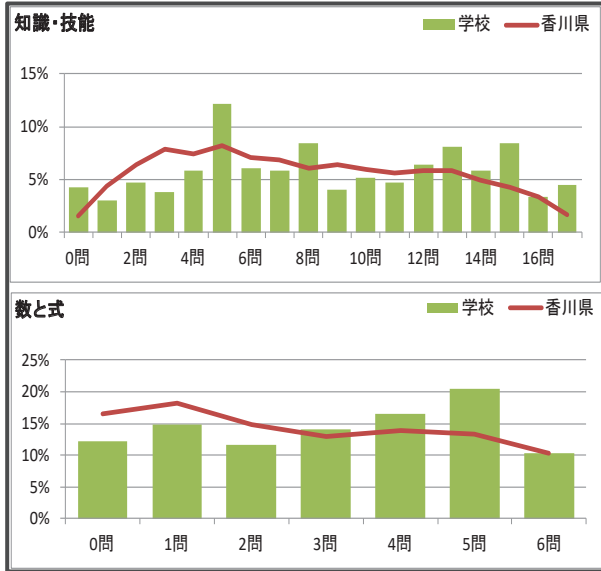


# 調査結果を学校課題の改善に活用しましょう！

各校にCD-ROMで調査結果が送付されています。全県調査結果との比較等ができますので、教育課程を評価する資料の一つとして分析・検証を行い、学校課題の改善に活用しましょう。

＜調査結果の一例＞

## 各教科の領域等別の習熟度から分析



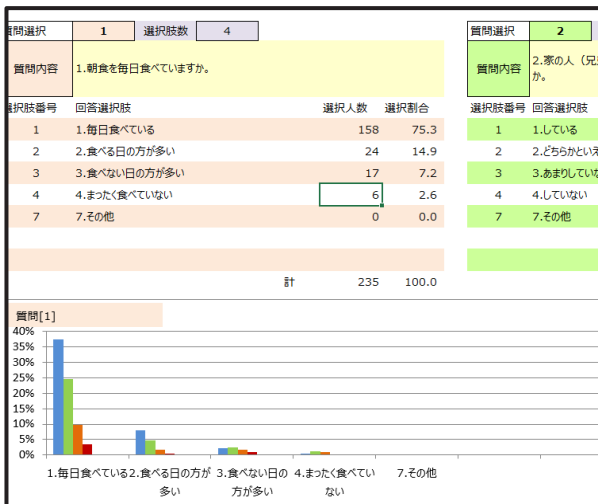
領域等別の習熟度の様子を棒グラフで示しています。平均点に捉われず、棒グラフの高低に着目して習熟度の散らばりを見ることが、授業改善につながります。

## 質問紙調査の結果一覧から分析

質問No	質問内容	選択数	選択1	選択2	選択3	選択4	選択5	選択6	その他	肯定的割合
2-1	1.朝食を毎日食べていますか。	4	55.3	24.9	17.2	2.6			0.0	99.2
2-2	2.家の人（兄弟姉妹はふくまさん。）と学校でのできごとについて話していますか。	4	58.1	23.2	14.0	4.7			0.0	81.3
2-3	3.家の学校に話していますか。	4	17.0	43.0	33.2	6.8			0.0	60.0
2-4	4.ものごとを最後までやりとげ、了したことが多ですか。	4	67.7	26.3	4.7	1.3			0.0	94.0
2-5	5.おずがしんこでも、失敗をおそれない挑戦していますか。	4	19.6	49.8	24.7	6.0			0.0	69.4
2-6	6.自分には、よいところがあると思いますか。	4	33.6	36.2	21.7	7.7			0.9	69.8
2-7	7.将来の夢や目標をもっていますか。	4	24.0	35.1	27.1	13.8			0.0	63.4
2-8	8.学校のきまりを守っていますか。	4	58.4	38.7	2.0	0.4			0.4	97.0
2-9	9.係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	4	61.7	33.9	3.5	0.9			0.0	95.3
2-10	10.人が困っているときは、進んで助けていますか。	4	34.9	56.6	7.0	1.5			0.0	91.5
2-11	11.近所の人や金づかいなどは、思いやっていますか。	4	41.8	37.7	14.0	6.4			0.0	79.6
2-12	12.人の気持ちや考えが分かる人間づかいをしていますか。	4	73.6	20.9	3.4	1.7			0.4	94.5

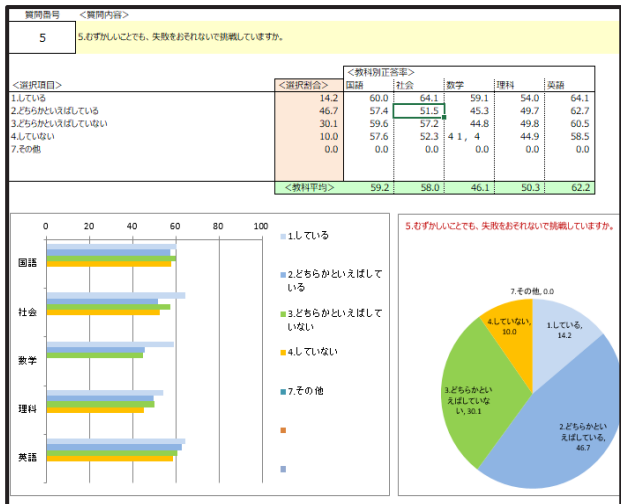
質問紙調査結果の一覧が表示されます。並べ替えて肯定的割合が高い順番に表示することもできますので、児童生徒の成果や課題を把握する一つの材料となります。

## 質問×質問のクロス集計から分析



任意の質問の調査結果が、クロス集計で示されます。児童生徒の生活や学習の状況を把握し、指導内容・指導方法の工夫・改善につなげることができます。

## 質問×成績のクロス集計から分析



任意の質問の回答別各教科正答率が示されます。生活習慣の改善が、学習に向かう意識の変容につながることも考えられます。

分析・検証の際に整理した成果と課題に基づいて、年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画の作成に生かすことでより良い学校づくりを目指しましょう。さらに、児童生徒や保護者に対して、送付された個人成績表も加味しながら良さやつまずきの状況を伝え、今後の見通しをもつ機会を積極的に設けましょう。

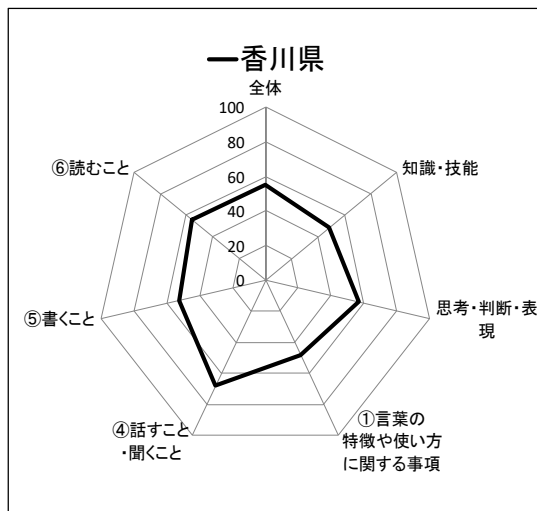


## Ⅱ 教科に関する調査結果及び分析

# 小学校国語

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		55.0
内容1	①知識・技能	48.7
	②思考・判断・表現	56.7
内容2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	48.7
	②情報の扱い方に関する事項	
	③我が国の言語文化に関する事項	
	④話すこと・聞くこと	68.3
	⑤書くこと	52.5
	⑥読むこと	56.1



問題番号	問題の内容	内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)	
		①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県	
一	(一)		●				●			56.2	0.4	
	(二)		●				●			80.4	0.6	
	(三)	●		●						54.1	1.2	
二	(一)		●						●	33.8	0.7	
	(二)		●						●	61.7	6.9	
	(三)	内容		●						●	11.1	8.8
		表現		●						●	75.0	8.8
		字数		●						●	81.0	8.9
三	(一)		●						●	81.0	1.9	
	(二)	A		●						●	33.9	13.3
		B		●						●	70.3	4.2
		C		●						●	39.0	17.3
	(三)	ア	●		●						35.9	10.8
		イ	●		●						56.2	11.0

敬語、漢字の読み書きの「知識・技能」に関して、平均正答率が全て60%を下回っており、課題が見られる。

「書くこと」については、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよさを見つけることに課題が見られる。

「読むこと」については、登場人物の行動や気持ちなどについて、具体的な叙述を基に捉えることに課題が見られる。



## 2 調査結果から授業改善へ

登場人物の行動や気持ちなどについて、具体的な叙述を基に捉えることができるようにする

### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

学習指導要領における内容〔第3学年及び第4学年〕  
思考力・判断力・表現力等 C 読むこと イ

### 小学校第5学年 三(二)A、C

問題番号	反応率(%)
三 (二) A	①正答 33.9
	②誤答1 12.5
	⑧誤答2 40.2
	⑨無答 13.3

【正答例】  
もう会うことのできない母や妹、なつかしい庭などをいつでも見ることができる。  
【解答類型】  
①正答 ②文章中の言葉を取り上げていない。 ⑧その他 ⑨無答

問題番号	反応率(%)
三 (二) C	正答 39.0
	誤答 43.7
	無答 17.3

【正答】  
がっかりとうなだれていました

・【C】 「ぼく」の悲しさや後かいが伝わる言葉を、文章中から十四文字で書き抜きましょう。

・【A】 山川さんは、――線部②に表れている「ぼく」の気持ちについて話しています。「この指はいつまでも大切にしたい」とあります。「ぼく」は、なぜこのように考えたのか、その理由を、文章中の言葉を取り上げながら、書きましょう。

《条件》

山川さん 「ぼくは、両手の親指と人さし指を青くそめたことで、不思議な世界を見ることができるようになった。だから、「ぼく」は、「この指はいつまでも大切にしたい」と思ったんだよ。この指を大切にしたいと考えていたんだろな。」

松本さん そうだね、それなのに、「この指はいつまでも大切にしたい」と思ってたんだね。「ぼく」の気持ちも大きく変わったと思うんだ。

山川さん この後の物語を読むと、不思議の世界を見たい「ぼく」は、またきつねに会って、指をそめてもらいたいと思って、杉林に行っているね。もう一度「きつねの窓」を手に入れたという思いが表れているね。

松本さん 特に、「C」の言葉からは、「ぼく」の悲しさや、自分の行動を後悔している気持ちが強く伝わってくるね。

### 【話し合っている様子の一部】

(二) 山川さんは、松本さんと不思議な世界から現実の世界にもどってしまっただけの「ぼく」の状況を取り上げながら、物語のおもしろさを話し合っています。  
あなたが山川さんや松本さんなら、AとB、Cでどのようなことを話しますか。あとに書かれた《条件》を読んで、答えましょう。

### 【分析と具体的な指導】

Aの正答率は33.9%、無答率は13.3%である。Cの正答率は39.0%、無答率は17.3%で最も高くなっている。Bで問われている、窓を見ることができなくなったきっかけとなった「ぼく」の行動についての正答率は70.3%であることから、問われている事柄が書かれている前後の行動を捉えることは比較的できているが、物語全体を把握した上で、問われていることに解答したり、具体的な叙述を基に心情を捉えたりすることができなかつたと考えられる。

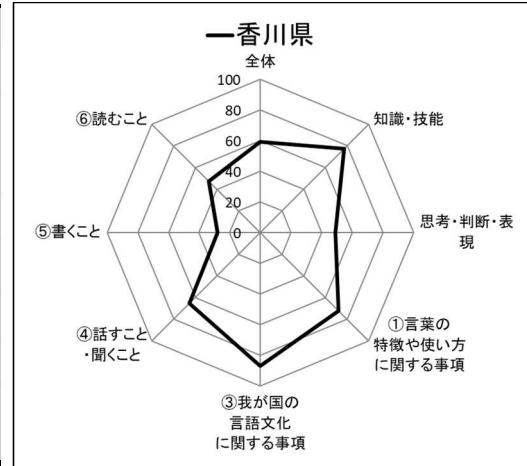
【A】は、この物語の不思議さや面白さの鍵となる「窓」の果たしている役割が捉えられているかどうかに通じる問いである。「この指はいつまでも大切にしたい」という記述の前に書かれている、ぼくが作った窓から見えた情景が、ぼくにとってどういう意味をもつのか、捉えることができるようにしたい。そのためには、まず、三の(一)で問うている最初に窓を作った時に少女が見えた状況とその時のぼくの気持ちをつかむことが基となる。そして2回目に窓を作った時に見えたのは、単なる庭でなく、「なつかしい」庭であり、そこに今はいない母の姿を具体的に思い起こしてどきどきしているぼくの状況と気持ちを捉えることが必要である。Cで問われている「がっかりとうなだれていました」という部分の「うなだれる」という言葉や、「せつない」「とぎれとぎれ」など、言葉の意味をその時の状況やぼくの気持ちと合わせて捉えていくことで、語彙を豊かにすることも大切にしたい。また、友達と話し合う場面を設定して出題しているように、それぞれが読んで感じたことを言葉にしてアウトプットし、それを基に、さらに練り合うことで、読みを深められるようにしたい。

今後、各学校に求められる取組としては、物語全体を貫く大きな問い等について、複数の叙述や、その叙述から考えられる様々な解釈から協働で解決していくような学習である。その際重要となる視点については、各学年の指導事項を確実に指導し、積み上げていくことが大切である。そうすることで、学年が上がるにつれて視点が増え、高学年になると、視点を自分で選択して読むことができるようになる。これまでの学びを生かし、それぞれの視点から問いに迫り、それらをつなぐことで読みを深めていきたい。

# 中学校国語

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		59.4
内容1	①知識・技能	77.1
	②思考・判断・表現	48.9
内容2	①言葉の特徴や使い方に関する事項	72.0
	②情報の扱い方に関する事項	
	③我が国の言語文化に関する事項	87.2
	④話すこと・聞くこと	65.4
	⑤書くこと	27.8
	⑥読むこと	47.4



問題番号	問題の内容	内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)	
		①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県	
一	(一)		●							59.4	0.5	
	(二)		●							64.6	0.7	
	(三)		●							72.1	10.1	
二	(一)	ア	●	●							54.4	2.5
		イ	●	●							93.4	1.5
		ウ	●	●							71.6	17.7
		エ	●	●							68.8	12.3
	(二)		●							●	9.1	4.7
	(三)		●							●	60.4	0.7
	(四)		●							●	74.4	0.7
	(五)		●							●	59.3	13.6
三	(一)	●					●				86.2	3.8
	(二)	●					●				88.3	3.3
	(三)		●							●	33.7	14.1
四	(一)		●							●	31.8	21.0
	(二)		●							●	23.8	16.3

「書くこと」については、着目した表現について、どのような理由で効果的なのか、読み手の立場に立って具体的に考えることや伝えたいことが分かりやすく伝わるように段落相互の関係を工夫することに課題が見られた。

「読むこと」については、登場人物の心情に注意して読み、内容を捉えることに課題が見られ、正答率が9.1%と低かった。その要因として、足りない情報を問われたこと、複数の文から登場人物の相互関係や心情を具体的に想像して内容を捉えなければならなかったことなどが考えられる。

## 2 調査結果から授業改善へ

書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して、文章の構成や展開を考えることができるようにする

### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】 中学校第2学年 四(一)

学習指導要領における内容〔第1学年〕  
思考力・判断力・表現力等 B 書くこと イ

「ふるさと短歌コンテスト」募集要項	
1 目的	ふるさと香川のことを知り、自分事としてふるさと香川の課題解決に取り組むとともに、ふるさと香川の魅力を県外でも発信できる人材を育成する。
2 募集内容	「香川県のよさについて詠んだ短歌」を募集します。 ・「食べ物・言葉」部門（小学生対象） 香川県の郷土料理、方言などが題材です。 ・「人・まち」部門（中学生対象） 自分が住んでいる町の文化、偉人や歴史などが題材です。 ※5-7-5-7-7の31音を基準に、リズム感のある短歌を心がけてください。
3 応募に当たって記入すること	・作品…つくった短歌を記入してください。 ・部門…「食べ物・言葉」部門、「人・まち」部門のいずれかを記入してください。 ・説明…どのような思いをこめて作成したのかを記入してください。

【学校に届いた募集要項の一部】

四 あなたの学校に、「ふるさと短歌コンテスト」の作品募集に関する依頼の文書が届きました。（中略）募集要項を読んで、あとの問いに答えなさい。

（一）【学校に届いた募集要項】をろう下に貼ってお知らせしましたが、なかなか応募する人が集まりません。（中略）応募を呼びかけるチラシを作ることになりました。あなたはチラシの「          」部分に、「募集内容」について「作品例」を用いて、文章で伝えることになりました。次の条件1～条件3にしたがって書きなさい。

（条件1）【学校に届いた募集要項】から、必要な情報を取り上げて書くこと。  
（条件2）二段落構成で書くこと。  
（条件3）二段落目には、作品例を挙げて書くこと。なお、作品例を使用してもよい。

※【応募を呼びかけるチラシ】は、本紙面では省略。

問題番号	反応率(%)	解答類型	
四 (一)	①正答	31.8	①正答
	②誤答1	10.8	②条件1を満たしていない。
	③誤答2	9.5	③条件2、3を満たしていない。
	④誤答3	4.3	④条件3を満たしていないもの
	⑧誤答4	22.6	⑧その他
	⑨無答	21.0	⑨無答

### 【分析と具体的な指導】

正答率は31.8%である。解答類型②、③、⑧の反応率の合計は、42.9%である。このように解答した生徒は、【応募を呼びかけるチラシ】の「募集内容」について必要な情報を【学校に届いた募集要項】から取り上げることができなかつたり、内容を整理して二段落構成で表現することができなかつたりしたと考えられる。また、無答率が21.0%であったことから、相手や目的に応じて伝えるべき事柄を取捨選択することができなかつたりと考えられる。

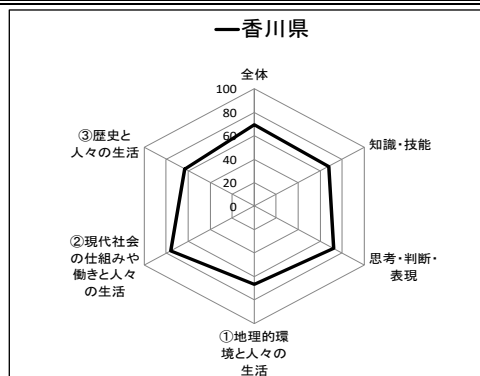
読み手に分かりやすく伝えるためには、伝えるべき事柄を整理することと文章全体の中で各段落にどのような役割をもたせるのか具体的に考えることが重要である。特に、本問題では募集内容の説明をする段落と作品の具体例を示す段落の二段落構成で文章を書くことが求められている。作品を応募する側の立場に立ち、必要な情報が正確に伝わるか確認しながら書かなければならない。

今後求められる取組として、まず、その文章を書くことの意義や目的を生徒と確認し、単元を通して身に付ける資質・能力を生徒に認識させることが重要である。また、目的意識・相手意識を生徒自身もつことができる単元構成や言語活動の工夫も大切である。様々な形式の文章を書く活動を年間計画に位置付け、学習したことを他教科や学校生活でも生かすカリキュラム・マネジメントを進めていきたい。今回課題であった「書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える」力を付けるためには、小学校高学年の指導事項にある「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える」力がどのくらい生徒に付いているかを確認し、書こうとしているそれぞれの段落の役割や全体の構成の検討を進める活動が必要である。そして、生徒同士で互いの文章を読み合ったり、読み手として想定した人に読んでもらったりして、内容を再構成していくとさらに構成する力が高まると考えられる。

# 小学校社会

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		69.4
内容1	①知識・技能	67.9
	②思考・判断・表現	72.3
内容2	①地理的環境と人々の生活	66.9
	②現代社会の仕組みや働きと人々の生活	76.0
	③歴史と人々の生活	63.3



問題番号	問題の内容			内容1		内容2			正答率 (%)	無解答率 (%)
				①	②	①	②	③		
1	(1)	①	学校の地図記号と方位を正しく理解しているかをみる。	●		●			82.5	0.1
		②	等高線から地図上の場所の高さを読み取れるかをみる。	●		●			78.4	0.1
		③	等高線と地形の関係を読み取れるかをみる。	●		●			76.5	0.5
		④	地図から土地利用の様子、記号や位置関係を正しく読み取れるかをみる。	●		●			77.4	0.7
		⑤	地図から土地利用の様子、記号や位置関係を正しく読み取れるかをみる。	●		●			64.9	1.2
	(2)	①	近隣の都道府県名を理解しているかをみる。	●		●			79.4	0.5
		②	地図帳での位置の表し方を理解しているかをみる。	●		●			42.5	1.3
	③	自分の学校がある市町名と地図上の位置を理解しているかをみる。	●		●			82.8	2.0	
2	(1)		雨温図を読み取り、寒い土地の様子とつなげて考えられるかをみる。	●		●			49.4	0.5
	(2)		我が国の気候に影響する季節風について理解しているかをみる。	●		●			72.5	5.4
	(3)		人々の生活や文化について歴史的な視点で捉えられているかをみる。		●	●	●		87.9	0.6
	(4)		人々の生活や文化について地理的・歴史的な視点で捉えられているかをみる。		●	●	●		38.7	0.9
3	(1)	①②	品種改良について理解をしているかをみる。	●		●			80.6	0.5
	(2)		物流と交通網の関係について、資料を見て考えられるかをみる。		●	●			86.6	1.0
	(3)		複数の資料から、お米の生産や消費について、人々の生活の視点で捉えられているかをみる。		●	●			89.2	1.4
	(4)		複数の資料から作業時間の短縮と農業機械の導入の関係性を考えられているかをみる。		●	●			75.8	4.7
4	(1)	①	複数の資料を比較して、それぞれの特色を考えられるかをみる。		●	●			80.2	1.1
		②	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●	●			76.8	1.3
	(2)	①	地図から日本の近海の様子を読み取り、暖流、寒流それぞれの名称を理解しているかをみる。	●		●			61.4	2.2
		②	地図から必要な情報を正しく読み取ることができるかをみる。	●		●			88.6	2.0
5	(1)	アイウ	複数の資料の中から文章の根拠となる資料を選択することができるかをみる。		●	●			75.3	2.5
	(2)		資料に基づいて、消費量と生産量の関連を考察しているかをみる。		●	●			49.8	3.3
	(3)		食料問題の解決に向けて、消費者の立場でできることを考えているかをみる。	●		●			74.2	3.3
6	(1)	①	世界の大陸名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			68.4	8.0
		②	地球儀上で、世界の主な海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			41.1	4.6
		③	世界地図や地球儀を用いて、北緯や南緯に位置する国の位置関係を正しく考えられるかをみる。		●	●			62.9	5.1
	(2)	①	わが国の領土である北方領土にある島々について理解しているかをみる。	●		●			57.9	5.6
		②	わが国の領土の端に位置する島について理解しているかをみる。	●		●			47.4	5.7
		③	わが国周辺の海洋名とその位置を理解しているかをみる。	●		●			64.0	5.6

「知識・技能」については、地図帳での位置を読み取ったり、地図や地球儀上で、世界の大陸や主な海洋の名称を答えたりする問題での正答率が低く、課題が見られる。「思考・判断・表現」については、社会的事象の理由について、資料に基づいて短い文章で説明する問題での無解答率が高く、課題が見られる。

## 2 調査結果から授業改善へ

複数の資料から捉えた社会的事象の意味について考えることができるようにする

【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 5(2)

学習指導要領における内容〔第5学年〕

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産  
イ思考力・判断力・表現力等 (ア)

日本の食料自給率が下がってきた原因について話し合いをしています。

主食である米の自給率は100%に近いからだいじょうぶだよ。



もとや

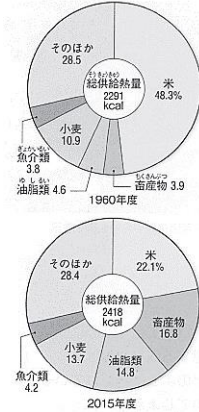


いずみ

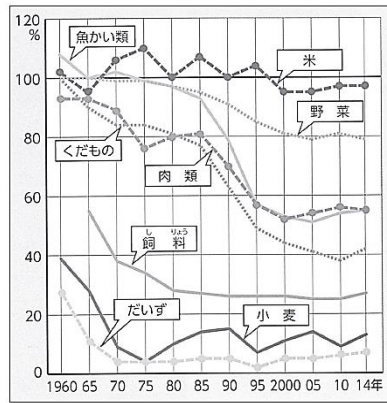
それはちがうと思うよ。【資料3】と【資料4】を見ると、(A)。だから、生産者と消費者の両方の立場でできることを考えていくべきだと思うよ。

【資料3】一人1日あたりの

食べ物の割合の変化



【資料4】日本の主な食料の  
自給率のうつり変わり



問題番号	反応率(%)	解答類型	
5 (2)	①正答	49.8	①イ正答 ②ア ③ウ ④エ ⑧その他 ⑨無答
	②誤答1	9.5	
	③誤答2	23.1	
	④誤答3	14.0	
	⑧誤答4	0.1	
	⑨無答	3.3	

(2) 発言にある(A)の言葉として適切なものを、次のア～エの中から一つ選びましょう。

- ア 日本の農家は高い化が進んでいるから、安心はできないよ
- イ 米の消費量が減っているから、生産量も減っているということだよ
- ウ 畜産物の消費量が増えたから、輸入が増えて自給率が下がっているはずだよ
- エ 外国産の食料は安くてみんなが買うから、食料自給率が下がったはずだよ

### 【分析と具体的な指導】

いずみさんは、資料3と資料4から、自給率が100%に近い米について何かしらの課題意識を感じている。この問題はその文脈に沿って資料を読み取る必要があるが、正答率は49.8%である。正答率が低くなった要因は、会話から課題を発見する点にあったと考えられる。選択肢ア～エは全て実社会に実在する現代的な課題であるため、資料3・4に内在する情報を読み取り、会話文の根拠となり得るかどうかを判断する必要がある。選択肢ア・エは、生活や学習の中で得た既存の知識から、食料事情に関する課題を捉えたと考えられる。選択肢ウは、資料3・4から読み取れる課題ではあるが、会話文の内容を汲み取った選択ができていないことがうかがえる。

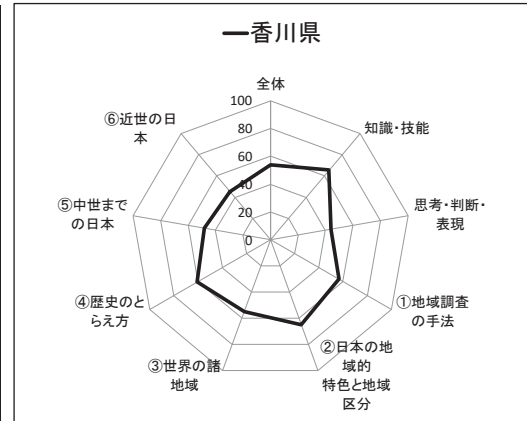
複数の資料から必要な情報を読み取るためには、社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を正確に把握した上で情報を適切に選択することが求められる。

今後、各学校に求められる取組としては、学習の問題を追究・解決する活動の中で、地図帳や地球儀、各種の資料で調べる時間を意図的に展開し、そこから実社会の課題を見いだす指導をすることが重要である。各種の資料から調べたことや考えたことを、文章で記述するだけでなく、調べたことや考えたことが、外国とどのように関わりがあるのか、また、実生活に関連していることは何なのかを、自ら問いを設けて調べていく児童を育てるということである。問題解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、調べたことを新聞や年表、パンフレット等にまとめる活動だけに終わらせるのではなく、調べて分かった事実と考えたことを往還させる時間を十分に取ることが大切である。

# 中学校社会

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		53.8
内容1	①知識・技能	65.3
	②思考・判断・表現	43.8
内容2	①地域調査の手法	56.5
	②日本の地域的特色と地域区分	65.0
	③世界の諸地域	54.7
	④歴史のとらえ方	60.5
	⑤中世の日本	48.0
	⑥近世の日本	45.1



問題番号	問題の内容	内容1		内容2						正答率 (%)	無解答率 (%)	
		①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	香川県	香川県	
1	(1)	a	●		●						50.6	13.2
		b		●	●						56.0	1.3
	(2)	●		●						75.6	0.6	
	(3)	●		●						68.2	0.7	
	(4)	●		●						55.3	1.4	
2	(5)		●	●						33.4	18.3	
	(1)	●			●					65.8	0.7	
	(2)	●			●					70.8	1.6	
	(3)	●			●					77.4	4.4	
	(4)		●		●					55.1	1.6	
3	(5)		●		●					55.9	16.4	
	(1)	●				●				61.8	16.0	
	(2)	●				●				55.9	1.0	
	(3)	●				●				65.1	1.3	
	(4)		●			●				37.5	2.5	
4	(5)		●			●				53.0	1.7	
	(1)	●					●			60.5	13.4	
	(2)	①	●						●		79.5	12.1
		②		●						●	31.2	28.2
	(3)		●						●	38.5	2.5	
	(4)		●						●	65.3	1.9	
(5)		●						●	40.0	1.7		
5	(1)	●						●		62.6	1.7	
	(2)		●					●		51.3	2.0	
	(3)		●					●		32.7	31.2	
	(4)	①		●					●		34.5	2.8
		②		●					●		26.3	24.1
	(5)		●					●		45.5	2.9	

「中世の日本」については、既知の知識と複数の資料から読み取った情報とを結びつけて理由を説明することに課題が見られる。「近世の日本」については、資料から読み取った情報を活用し、行われた政策について考察することや、資料をもとに社会的事象について比較しながら考察することに課題が見られる。その要因として、解答内容が語句ではなく、複数の資料や既知の知識を関連づけながら文章で表現したことが考えられる。

## 2 調査結果から授業改善へ

社会的事象をもとに、歴史的な見方・考え方を働かせながら、歴史の流れを考察することができる

【授業改善のヒントとなる問題の概要】  
 中学校第2学年 ⑤(3)

(5) 資料1中の②は戦国大名が定めた分国法のひとつで、資料4は③の一部です。このような分国法について、花子さんは資料1中の①の御成敗式目との共通点、相違点について次の資料6にまとめました。資料6中の( )にあてはまる文を **戦国大名** という言葉を使って簡単に書きなさい。

学習指導要領における内容〔歴史的分野〕  
 B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本

資料1 花子さんが作成した略年表

時代	定められたおもな法
飛鳥	十七条の憲法・・・・・・・・・・②
鎌倉	御成敗式目・・・・・・・・・・①
戦国	甲州法度・・・・・・・・・・③
江戸	公事方御定書・・・・・・・・・・④

問題番号		反応率(%)		
5	(3)	正答	誤答	無答
		32.7	36.2	31.2

資料4

- 一 けんかをした者は、いかなる理由による者でも処罰する。
- 一 許可を得ないで他国へおくり物や手紙を送ることは一切禁止する。

資料6

	御成敗式目	分国法
共通点	・武士によって制定された法である	
相違点	<b>【適用範囲】</b> ・東国、京周辺や西国にわたる範囲で適用された	<b>【適用範囲】</b> ・( ) で適用された

### 【分析と具体的な指導】

正答率は32.7%である。「御成敗式目」や「分国法」等の個別の出来事について理解していない生徒や、歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連等について多面的・多角的に考察できなかった生徒が多くいたことが、正答に至らなかったり無解答率が高かったりした原因であると考えられる。

社会的事象をもとに、歴史の大きな流れを考察するためには、「御成敗式目」や「分国法」の制定といった出来事を、個別な知識としてだけでなく、時期や年代、推移、比較、相互の関連に着目し、時代の特色に関連付けて説明することが重要である。そのためには、歴史に関わる事象についての自分の考えを論理的に説明する力、他者の主張を踏まえたり取り入れたりして、歴史に関わる事象についての自分の考えを再構成しながら議論する力である表現力を養うことが必要となる。

今後、各学校に求められる取組としては、次のような学習活動の設定が考えられる。

#### ・より深い学びを促す教師の発問

授業中に「御成敗式目はいつ制定されましたか？」や「分国法はどのようなものですか？」といった発問だけでなく、「御成敗式目はなぜ制定されましたか？」といった鎌倉時代初期の時代背景に迫る発問や、「今学習した分国法は、以前学習した鎌倉時代に制定された御成敗式目とどんな共通点や相違点がありますか？」といった前の時代との比較から社会的事象に迫る発問を投げかけることで、生徒に思考を促すことができる。

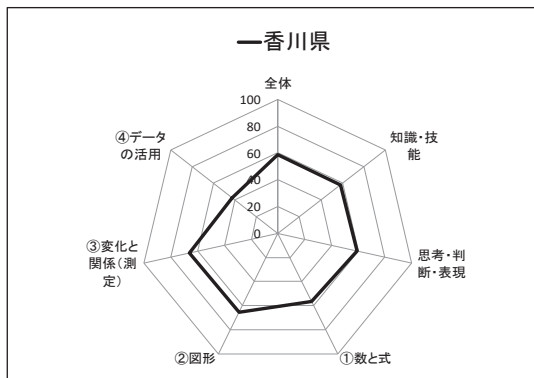
#### ・社会の変化や時代の特色を考察し、表現する活動の設定

歴史的な見方・考え方を働かせて考察し、表現する活動の場面として、グループでの話し合いや発表の場面、ワークシートに記入する場面が想定される。資料から分かったことを話し合う時には、資料を根拠に自分の考えを説明させるようにしたり、自分の考えを説明する時には、自分の意見を表明してから根拠資料を提示させたりする場を、意図的に設定することが求められる。

# 小学校算数

## 1 調査結果

項目		正答率(%)
全体		58.5
内容1	①知識・技能	58.1
	②思考・判断・表現	59.2
内容2	①数と式	56.4
	②図形	65.3
	③変化と関係(測定)	66.4
	④データの活用	42.7



問題番号	問題の内容	内容1		内容2				正答率(%)	無解答率(%)	
		①	②	①	②	③	④	香川県	香川県	
1	(1)	① 末尾の位のそろっていない小数の加法の計算ができるかをみる。	●		●				69.0	1.6
		② 加法と除法が混合した整数の計算ができるかをみる。	●		●				44.6	1.6
		③ 小数の除法の計算ができるかをみる。	●		●				53.7	2.7
		④ 通分をして、約分をともなう分数の減法の計算ができるかをみる。	●		●				57.1	4.1
	(2)	分数の大小について理解しているかをみる。	●		●				57.6	1.9
	(3)	① 問題を読んで、式を求めることができるかをみる。	●		●				93.3	0.9
		② 問題を読んで、式を求めることができるかをみる。	●		●				40.8	2.3
	(4)	商や積がわられる数やかけられる数より大きくなる場合について、理解しているかをみる。	●		●				35.1	3.3
	(5)	① 問題文をもとに、場面に合った適切な図を選択できるかをみる。		●	●				78.5	1.2
		② 数直線図をもとに、立式ができるかをみる。	●		●				34.1	9.9
2	(1)	立方体にふさわしくない展開図を適切に選択できるかをみる。	●			●			74.4	0.7
	(2)	①式 立方体の体積の求め方を、式で表すことができるかをみる。	●			●			81.0	3.0
		①体積 立方体の体積を計算によって求めることができるかをみる。	●			●			61.0	3.1
		② 問題を正しく読み取り、体積の大きさを比べることができるかをみる。	●			●			66.0	0.9
	(3)	① 立方体を構成する要素をもとに、3辺の合計の長さを求められるかをみる。	●			●			69.7	2.7
		② 数値に基づいて、表から必要な条件を見つけることができるかをみる。		●		●			59.7	4.5
		③ 数値に基づいて、表から必要な条件を見つけることができるかをみる。		●		●			67.7	5.5
		④ 数値に基づいて、表から必要な条件を見つけることができるかをみる。		●		●			56.5	5.9
	(4)	① 表をもとに、読み取りについての説明から正誤を判断できるかをみる。		●		●			72.3	3.9
		② 表から読み取ったことがらをもとに、言葉や数を用いて理由を記述できるかをみる。		●		●			44.9	13.9
3	(1)	① 値上がり前と値上がり後の値段から、2つの数量の関係を求めることができるかをみる。	●			●			87.3	1.9
		② 値上がり前と値上がり後の値段から、2つの数量の関係を求めることができるかをみる。	●			●			87.5	2.0
		③ 2つの数量の関係をもとに、どちらがより値上がりしたかを理解しているかをみる。	●			●			81.5	2.1
	(2)	① 問題場面を基に答えを求めることができるかをみる。		●		●			67.2	2.9
		②ア 問題場面を基に立式できるかをみる。		●		●			52.1	7.9
		②イ 問題場面を基に式に合うことばを考えることができるかをみる。		●		●			55.9	11.0
		②ウエ 問題場面に適した買い方を選択して、答えを求めることができるかをみる。		●		●			48.0	8.8
		②オカ 問題場面を基に立式して、答えを求めることができるかをみる。		●		●			51.5	12.8
4	(1)	① データを基に2つの観点から分類整理することができるかをみる。	●			●			24.9	11.3
		② データを基に2つの観点から分類整理することができるかをみる。	●			●			43.7	11.8
		③ データを基に2つの観点から分類整理することができるかをみる。	●			●			34.7	12.0
	(2)	2つの観点で分類整理された表を正しく読み取れるかをみる。	●			●			54.8	13.0
	(3)	2つの観点で分類整理された表を正しく読み取れるかをみる。	●			●			23.5	15.4
	(4)	2つの観点で分類整理された表を正しく読み取れるかをみる。	●			●			61.1	19.3
	(5)	2つの観点で分類整理するためにふさわしいデータを選択することができる。		●			●		56.0	13.0

「数と式」については、問題文からわかる数とわられる数の関係を理解して、正しく立式することや、商や積がわられる数やかけられる数より大きくなる小数の計算の理解に課題が見られる。また、「データの活用」については、データを基に2つの観点から分類整理することや、2つの観点で分類整理された表を正しく読み取ることに課題が見られる。



## 2 調査結果から授業改善へ

データを基に2つの観点から分類整理することができるようにする。

### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 4(1)

学習指導要領における内容[第4学年]  
知識及び技能等 D データの活用

(4) みどりさんたちは、SDGsの学習をしてから、毎日節電を心がけています。そこで、昼休みに教室の明かりがついているかどうかについて4人で調べることになりました。

表1 昼休みの明かりの使い方 (教室の数)

		明かり		合計
		ついている	消えている	
人	いる	①	②	③
	いない			
合計		9		18

みどりさんは、上の3つの教室の数が分かれば表1が完成すると言っています。これについて、次の(1)～(5)の問いに答えましょう。

(1) 表1の①～③にあてはまる数を求めましょう。

問題番号		反応率(%)						
4	(1)	①	正答	24.9	誤答	63.8	無答	11.3
		②	正答	43.7	誤答	44.6	無答	11.8
		③	正答	34.7	誤答	53.3	無答	12.0

### 【分析と具体的な指導】

正答率は①が24.9%、②が43.7%、③が34.7%であり、いずれも50%を大きく下回っている。みどりさんたちの会話の「明かり」が表の縦の項目を示し、「人」が横の項目を示すことに気付かず、それぞれの吹き出しが表のどの欄を指すのか理解できていなかったことが考えられる。また、無解答率が高いことから、会話文という出題形式に十分慣れておらず、問題解決の手順やそれぞれの吹き出しの関連性が理解できなかった可能性も考えられる。

指導に当たっては、表を「人」と「明かり」の2つの観点から以下の4つに分類整理し、それぞれの吹き出しがどこの欄に該当するのか確認することが大切である。

- ・人がいて、明かりがついている
- ・人がいて、明かりが消えている
- ・人がいなくて、明かりがついている
- ・人がいなくて、明かりが消えている

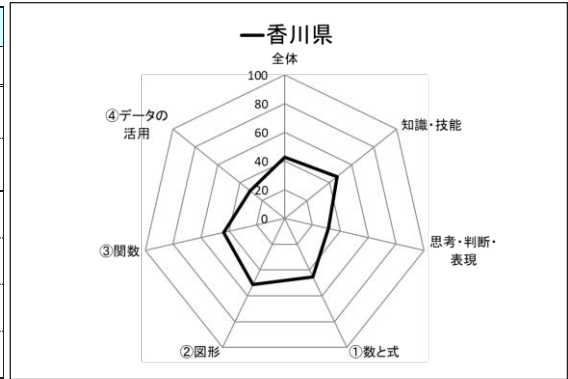
その際、「明かりがついている教室」と「人がいる教室」等合計欄に着目することで、「○が分かれば△が分かる」といった解決の順序を考えることも大切に指導したい。

今後、各学校には、児童が二次元の表の利点を理解した状態で、問題解決の場面に臨めるようにすることが求められる。例えば、最初に単元の導入で「表」の概念を確認するために、日常生活で使用される表(時間割など)を挙げ、それらがどのように役立つのかについて話し合う。次に、その表から特定の内容(教科等)を見つけたり、他の例(怪我した場所と種類など)を扱ったりすることで、表の読み方と情報の取り出し方を実践的に学ぶ。さらに、児童が自分たちの興味や関心に合わせたアンケート(好きなスポーツや習い事など)を実施し、その結果を2つの観点で分類して表にまとめ、発表する場を設けることが考えられる。このように、実際の生活や興味関心に関連付けた活動を通じて、児童が二次元の表の利点を実感しながら情報の整理や取り出し方を身に付けることができるようにしたい。

# 中学校数学

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		42.8
内容1	①知識・技能	46.8
	②思考・判断・表現	31.3
内容2	①数と式	45.2
	②図形	51.3
	③関数	43.7
	④データの活用	31.0



問題番号	問題の内容		内容1		内容2				正答率 (%) 香川県	無解答率 (%) 香川県
			①	②	①	②	③	④		
1	(1)	等式を目的に応じて変形できるかどうかをみる。	●		●				42.6	13.7
	(2)	連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。	●		●				57.6	9.6
	(3)	①	おうぎ形の中心角と弧の長さの関係を理解しているかをみる。	●			●		72.3	0.7
		②	おうぎ形の弧の長さを求めることができるかをみる。	●			●		32.3	14.3
	(4)	①	反比例の関係で、数量の変化や対応から、yの値を求めることができるかをみる。	●				●	59.6	0.5
		②	一次関数の関係で、数量の変化や対応から、yの値を求めることができるかをみる。	●				●	35.9	2.4
	(5)	①	ヒストグラムから、ある階級の階級値を求めることができるかをみる。	●				●	54.6	12.9
		②	ヒストグラムから度数を読み取り、その階級の相対度数を求めることができるかをみる。	●				●	36.1	14.2
2	(1)	問題場面における考察の対象を、明確に捉えることができるかどうかをみる。	●		●			71.8	7.5	
	(2)	事柄が成り立つ理由を、文字を用いた式を使って説明することができるかをみる。		●	●			27.0	20.2	
	(3)	与えられた説明を基にして、式変形の目的を捉えることができるかをみる。	●		●			30.9	8.1	
	(4)	問題解決の過程を振り返って考え、成り立つ事柄を数学的に表現できるかをみる。		●	●			41.5	30.5	
3	(1)	垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを、理解しているかどうかをみる。	●			●		59.2	1.6	
	(2)	一方の図形を、他方の図形を移動してできたものと捉えて考えることができるかをみる。	●			●		70.6	1.6	
	(3)	図形の形が変わっても、垂線の作図を図形の対称性を根拠として説明できるかをみる。		●	●			29.5	38.6	
	(4)	具体的な場面で、基本的な作図を活用することができるかをみる。		●	●			44.0	2.6	
4	(1)	具体的な場面における関数関係を、正しく理解しているかをみる。	●			●		36.5	14.3	
	(2)	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかをみる。	●			●		56.1	13.9	
	(3)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できるかをみる。		●		●		30.1	37.6	
5	(1)	度数分布表から必要な情報を読み取り、累積相対度数を求めることができるかをみる。	●				●	29.5	21.3	
	(2)	度数分布表やヒストグラムからデータを読み取ることができるかをみる。	●				●	27.6	2.9	
	(3)	相対度数の意味を理解しているかをみる。	●				●	22.4	31.3	
	(4)	データをもとに根拠のある主張を述べることをみる。		●			●	15.6	34.3	

数学的な説明をすることに課題がある。説明を求める問題のほとんどで正答率は 30%を下回り、無解答率は 30%を超えている。具体的には、「数と式」では、事柄が成り立つ理由を文字式を用いた式を使って説明することに、「図形」では、図形の形が変わっても垂線の作図を図形の対称性を根拠として説明することに、「関数」では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに、「データの活用」では、データをもとに根拠のある主張を述べることに課題が見られる。

## 2 調査結果から授業改善へ

### 相対度数の意味を理解し、説明することができるようにする

#### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

#### 中学校第2学年 5 (3)

大樹さんたちは、「中学生の睡眠時間が減少傾向にある」という内容の記事を読み、自分たちの学校でも睡眠時間について調査することにしました。中学1年生60人と2年生50人それぞれに、下のようなアンケートを行いました。さらに、調査した結果を下の表やヒストグラムにまとめました。

(中略)

大樹さんたちは、1年生と2年生の睡眠時間のデータを比較する方法について話し合っています。

学習指導要領における内容〔第1学年〕  
知識及び技能 D データの活用

問題番号		反応率(%)	
5	(3)	正答	22.4
		誤答	46.3
		無答	31.3



度数分布表やヒストグラムでは、  
2つのデータを比べにくいな。

大樹

度数分布多角形をかいて、重ねて  
みたらどうかな。

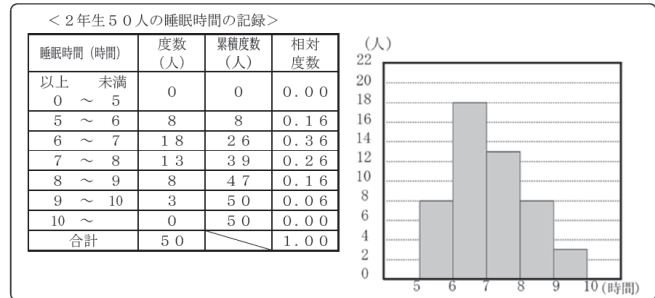
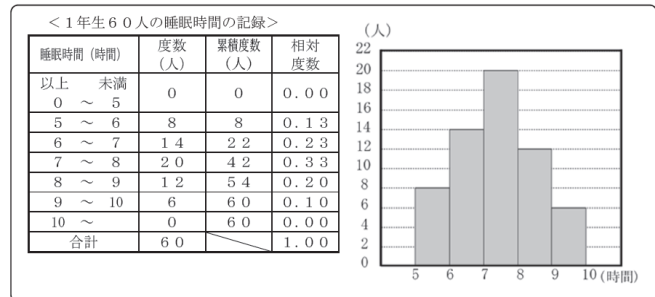


智子



縦軸は相対度数にして、  
比べよう。

晃



1年生と2年生のデータを比較するために、相対度数を用いようとしています。どうして相対度数を用いるのか、その理由を説明しなさい。

#### 【分析と具体的な指導】

5 (3) は相対度数の意味を理解しているかどうかをみる問題であり、正答率は22.4%である。同一の趣旨の問題が出題された令和3年度全国学力・学習状況調査 8 (3) の本県の正答率は35.4%であり、引き続き課題がある。

相対度数の意味を理解できるようにするためには、母集団の大きさの異なる2つ以上の集団のデータを比較する問題場面を設定する。その際、教師の指示によって相対度数を用いるのではなく、相対度数を用いた方がデータの傾向について比較しやすくなる場合があることを、生徒自らが気付くように、相対度数の必要性について取り上げる場面を設定することが大切である。

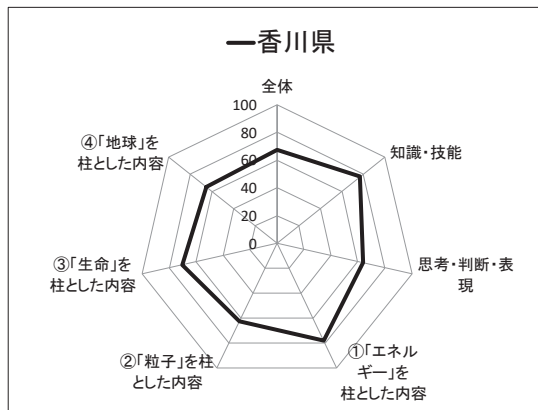
例えば、日常生活の題材を統計的に問題解決する活動を設定する。その中で、相対度数を用いずに度数分布多角形を作成して比較している考えを取り上げ、「この比較の方法には、問題はないだろうか?」と、生徒が気づいたことを班で話し合う、対話的な学びの場を設定することが考えられる。他に、グラフの縦軸を度数にした度数分布多角形と縦軸を相対度数にした度数分布多角形を比較する活動を設定するなどの工夫も考えられる。話し合いを通して、縦軸を度数にした場合、度数分布多角形の山の高さが異なり、それによって比較することができることに気付かせたい。そのためには、基準をそろえる必要がある。これは、小学校1年生の「大きさをくらべ」から繰り返し学習している内容であることを想起させるとよい。相対度数も基準をそろえるための1つの方法であることを気付かせるような深い学びを実現していきたい。

その単元において学んだ知識や技能を活用する学習を充実させ、教師の問いや問い返し、教材を工夫し、生徒が気づきを話し合う活動を通して、学んだ知識や技能を確かなものにしていくことが重要である。

# 小学校理科

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		67.1
内容1	①知識・技能	76.9
	②思考・判断・表現	63.8
内容2	①「エネルギー」を柱とした内容	78.1
	②「粒子」を柱とした内容	62.4
	③「生命」を柱とした内容	70.2
	④「地球」を柱とした内容	65.4



問題番号	問題の内容	内容1		内容2				正答率 (%)	無解答率 (%)
		①	②	①	②	③	④		
1	(1) 予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができるか。		●	●				75.0	0.3
	(2) 予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができるか。		●	●				81.2	0.6
2	(1) メダカの雌雄の見分け方について理解しているか。	●				●		84.6	0.1
	(2) メダカの受精について理解しているか。	●				●		73.8	0.4
	(3) メダカの子どもが誕生直後にえさを食べない理由について理解しているか。	●				●		78.4	1.9
3	(1) 条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができるか。		●	●				22.3	0.4
	(2) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●	●				62.6	0.5
	(3) 条件に着目しながら、問題を解決するための実験方法を考えることができるか。		●	●				57.1	0.6
4	(1) 閉じ込められた空気に外部から力を加えたときの体積変化について理解しているか。	●			●			79.5	0.3
	(2) 予想や仮説をもとに、実験結果の見通しをもつことができるか。		●	●				71.5	0.5
	(3) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●	●				75.3	0.7
	(4) 学習したことがらを、日常の事物・現象と結びつけて捉えられているか。	●		●				68.2	0.7
5	(1) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●			●		54.3	0.4
	(2) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●			●		80.1	0.5
	(3) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●			●		50.1	0.5
6	(1) 複数の資料を比較、関係付けながら、1日の気温の変化に関わる要因を見出すことができるか。		●				●	45.2	0.6
	(2) 実験結果をもとに考察し、結果につながる要因を見出すことができるか。		●				●	71.1	0.7
	(3) 実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるか。		●				●	63.7	0.7
	(4) 複数の結果をもとに考察し、分かったことを見出すことができるか。		●				●	63.7	0.8
	(5) 複数の結果をもとに考察し、新たな予想や仮説をもつことができるか。		●				●	83.6	0.7

「知識・技能」については、全体として76.9%とおおむね良好であるが、知識を生活へ適用する問題に課題がある。「思考・判断・表現」については、全体的に63.8%と低い。特に、予想や仮説をもとに、条件に着目しながら実験方法を立案したり、結果の見通しをもったりすること、また、結果や友達の意見から実験を修正することに課題がある。結果の解釈についても不十分である。より一層の問題解決の過程と個の文脈を大切に理科学習が望まれる。

## 2 調査結果から授業改善へ

予想や仮説をもとに、条件に着目しながら実験方法を立案できるようにする

### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

小学校第5学年 3(1)

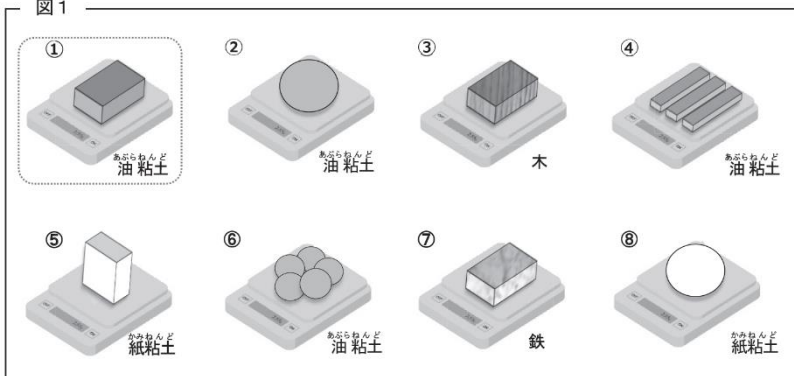
学習指導要領における内容〔第5学年及び第6学年〕  
思考力・判断力・表現力等 A 粒子 3年物と重さへの適用

あゆさんは、「ものの種類が同じでも、ものは形が変わると重さも変わるのだろうか。」を調べています。

【問題】あゆさんの予想を確かめるために、①と比べるとよいはかり方はどれですか。図1の②～⑧の中から正しいものをすべて選びましょう。(体積はどれも同じ。①③⑤⑦は形も同じ)

【あゆさんの予想】1つのかたまりになっているものをばらばらに分けたら、少し軽くなると思うよ。

図1



問題番号		反応率(%)	
3	(1)	正答	22.3
		誤答	77.3
		無答	0.4

正答 ①と④・⑥ を比べる

(3) なおこさんは、「ものの種類によって、重さはちがうのだろうか」を①と⑤から調べました。すると、まことさんから「変える条件が一つになるようにのせ方も同じにして比べた方がいいんじゃないかな」と意見をもらい、別の方法でも調べることにしました。⑤以外で①と比べるとよいはかり方はどれですか。ア～エの中から一つ選びましょう。(正答 エ、正答率57.1%)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ア ①と②・⑥ を比べる | イ ①と⑥・⑧ を比べる |
| ウ ①と②・⑧ を比べる | エ ①と③・⑦ を比べる |

### 【分析と具体的な指導】

(1) の正答率は22.3%である。この実験は、3年「ものと重さ」の内容であり、ほとんどの児童が経験していると考えられる。本題では、単に知識としての重さの保存を問うのではなく、あゆさんの予想を確かめるにはどんな実験を立案すればよいか、条件に着目して考える力を調査する問題として設定した。あゆさんの予想の「ばらばらに分けたら～」の条件(分け方)に着目できず、正答率が低かったと考えられる。(3)の問題も、同様にまことさんの意見の「変える条件が一つになるようにのせ方を同じにして比べた方がいい」の条件(のせ方)に着目できていないと考えられる。また、友達のを考えを踏まえ、修正した自分の考えを述べる力を問われている。

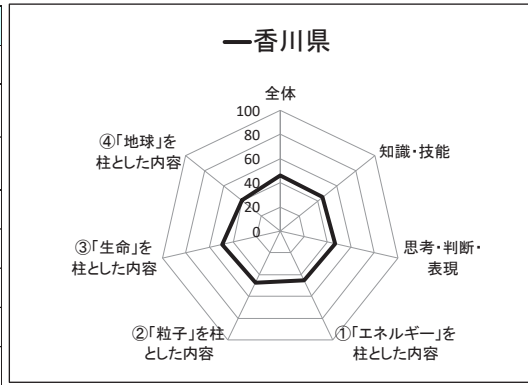
実際の授業では、一見、簡単に見える実験でも、事象に関係すると思われる要因をすべて児童と共に取り出し、整理、明確化して板書等で共有する必要がある。例えば、本設問の場面では、「何によって重さは変わるのかな」と投げかけ、「体積」「種類」「分け方」「のせ方」等を導きたい。そして、「変える条件を1つにする」という科学の方法の基礎基本を繰り返し、確認し、押さえたい。条件制御の考え方は主として5年生で学習するが、すべての学習が必要である。本設問のような既習の簡単な実験場面を例示し、考え方を定着させるとよい。また、個別最適な学びと協働の視点から、これまで大切にしてきた問題解決の過程を充実させながら、個々が表出した考えを整理・集約しつつ、「〇〇さんはきっと△△と考えたんだね」等と個の文脈を皆で考える場面を大切にしたい。

今後、各学校には、個々の予想や仮説、その根拠、実験方法等を互いに検討し合い、児童自らが練り上げる時間と場を設定することが求められる。結果からの考察、振り返りも含め、ICTを効果的に活用し、情報の共有や比較の効率化を図り、児童自らが問題解決の文脈を意識し、友達のを考えを取り入れながら自らの学びを創り生活に生かしていこうとする理科学習を大切にしたい。また、その過程で、自然を愛する豊かな心情、畏敬の念、科学の有用性について、教師自らが児童と同じ目線で共感する場の設定も大切である。

# 中学校理科

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		46.0
内容1	①知識・技能	45.0
	②思考・判断・表現	46.9
内容2	①「エネルギー」を柱とした内容	45.3
	②「粒子」を柱とした内容	47.2
	③「生命」を柱とした内容	49.2
	④「地球」を柱とした内容	40.7
	⑤実験器具等の扱い方に関わる内容	



問題番号	問題の内容	内容1		内容2					正答率 (%)	無解答率 (%)
		①	②	①	②	③	④	⑤		
1	(1) 銅と酸素が化合する時の化学変化をモデルで正しく理解しているかをみる。	●			●				42.6	0.4
	(2) 銅と酸素が化合する時の質量の関係について理解し、酸化銅の質量を求めることができるかをみる。		●		●				47.4	1.2
	(3) 金属の種類の見分け方について理解しているかをみる。	●			●				50.1	0.5
	(4) 銅と酸素が化合して酸化銅に変化するためには、銅と空気(酸素)がふれ合わなければならないことを理解しているかをみる。		●		●				51.6	0.7
2	(1) 酸化と還元について理解しているかをみる。【完全正答】	●			●				47.4	12.8
	(2) 結果を分析解釈して還元が起こっている反応を推測できるかをみる。		●		●				52.4	1.1
	(3) 結果を分析解釈して、物質の共通点を考えることができるかをみる。		●		●				38.6	0.9
3	(1) 屈折角について理解しているかをみる。	●		●					35.0	1.5
	(2) 光が水中から空気中へ出るときの進む道筋をかくことができるかをみる。	●		●					10.9	13.0
	(3) 光の反射や屈折について、自然の現象と結びつけて理解しているかをみる。【完全解答】		●		●				33.6	0.8
4	(1) 重力とつり合う力がどれかを選ぶことができるかをみる。		●	●					31.8	0.6
	(2) 力の大きさとばねののびの関係を表すグラフについて、適切なものを選ぶことができるかをみる。	●		●					68.7	0.7
	(3) 力の大きさとばねののびの関係を理解し、比例関係を使ってばねののびを求めることができるかをみる。		●	●					75.8	0.8
	(4) 月面では、おもりの質量は変化せず、おもりにばたらく重力の大きさが小さくなることを理解しているかをみる。		●	●					61.3	0.8
5	(1) 植物は、光合成に必要な気体を気孔から取り入れていることを理解しているかをみる。	●				●			58.2	14.7
	(2) 仮説を立証するために条件を制御した実験装置、条件を考えることができるかどうかをみる。		●			●			46.3	1.0
	(3) 対照実験の結果を予測し、適切なグラフを選択することができるかをみる。		●			●			49.6	1.4
6	(1) 唾液のはたらきを調べる際に対照実験がどうして必要なのか、その理由を具体的に説明できるかをみる。	●				●			39.1	17.3
	(2) 実験結果から言えること、言えないことを区別して考察することができるかをみる。		●			●			22.4	1.1
	(3) 予想とは異なる実験結果が出た際、何が原因かを結果から推測することができるかをみる。		●			●			52.0	1.3
	(4) 新たな疑問から設定した仮説を検証するための実験を計画することができるかをみる。		●			●			55.8	1.3
7	(1) 顕微鏡を使って、高倍率で対象を観察する際に、正しく顕微鏡を操作できるかをみる。	●				●			63.8	1.9
	(2) 植物と動物の細胞の共通点と相違点を正しく理解できているかをみる。	●				●			64.6	16.0
	(3) 一つ一つの細胞で活動を行うためのエネルギーを取り出すはたらきとその名称を理解しているかをみる。	●				●			40.6	25.5
8	(1) マグニチュード(M)について理解しているかをみる。	●					●		31.9	2.4
	(2) 地震のゆれに初期微動と主要動がみられる原因を理解しているかをみる。	●					●		54.5	2.5
	(3) 初期微動継続時間と震源からの距離の関係をグラフに表すことができるかをみる。	●					●		30.6	27.1
	(4) 初期微動継続時間と震源からの距離の関係から、初期微動継続時間を求めることができるかをみる。		●				●		63.3	3.2
9	(1) 地層ができた当時の環境を推測することができる化石の名称を理解しているかをみる。	●					●		36.4	22.8
	(2) 火山灰からできた堆積岩について理解するとともに、地層の重なりから、火山活動が起こった回数を推測することができるかをみる。		●				●		48.2	2.7
	(3) 地層の重なりから、地層の傾きを推察することができるかをみる。	●					●		20.2	3.0

「『地球』を柱とした内容」については正答率が 40.7%で、特に、地震のデータをもとに関係性をグラフ化したり、地層の重なりから規則性を空間的に推察したりする問題において課題が見られた。「『エネルギー』を柱とした内容」については、光の進み方の作図や重力とつり合う力を選ぶ問題など、自然現象と関連付けて捉える問題の正答率が低かった。全体を通して、実験結果や資料、既存の知識を活用し、関連付けながら解釈する力に課題が見られる。

## 2 調査結果から授業改善へ

既有的知識を活用しながら、金属の種類を見分けることができるようにする

### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

中学校第2学年 ①(3)

学習指導要領における内容〔第1学年〕  
第1分野 (2)身の回りの物質(ア)⑨

#### 【会話文(抜粋)】

生徒A：今回の実験で、加熱後の物質の質量は、( ① )になると予想していたのに、ずいぶん小さい値になってしまって驚いたよ。

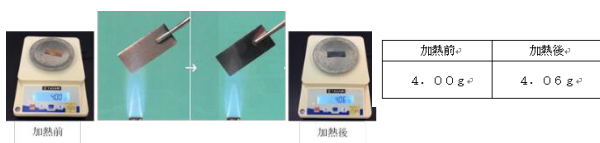
生徒B：加熱する時間もすっかりとったし、実験の手順に大きな問題はなかったと思うけど、原因は何だろう。

生徒A：もしかしたら銅板ではなくて他の種類の金属だったとか、別の種類の金属が混ざった板だったとかが原因として考えられるね。この金属が本当に銅なのか確かめる方法はあるかな。

生徒B：それを確かめるなら、同じものを用意して( ② )といいんじゃないかな。

(3)【会話文】の( ② )にあてはまる方法として、最も適切なものを、次のア～ウの中から一つ選びなさい。

- ア 電流を流すかどうか調べる。
- イ 水に沈むかどうか調べる。
- ウ 密度が銅と同じか調べる



問題番号	反応率(%)	解答類型
1 (3)	①正答	50.1
	②誤答1	43.3
	③誤答2	6.1
	⑨無答	0.5

#### 【分析と具体的な指導】

正答率は50.1%である。解答類型②アの反応率が43.3%である。アと解答した生徒は、金属共通の性質から答えを導き出したと考えられる。物質には「固有の性質」と「共通の性質」があることを知るとともに、物質は固有の性質に着目すると分類できることを見いだして理解できるようにすることが求められる。電流が流れることは、金属共通の性質であり、アの検証方法では、実験で用いた金属が銅であるとは断定できない。どのような検証を行えば使用した金属が銅であるのか、銅固有の性質に着目できるような教師の支援が求められる。

今後、各学校に求められる取組としては、次のような学習活動の設定が考えられる。

#### ・生徒が確かな見通しを持って探究活動に取り組めるよう、効果的に教師が支援する。

「見通し」は、実際に観察や実験を行う前に立てるだけではなく、途中でも見直したり修正したりすることが大切で、教師には生徒の探究の過程を的確に見取り、必要に応じて適切な支援を講じることが求められる。本問題では、生徒Aと生徒Bの会話の後、違う2種類の金属を提示しながら「その方法で、先生が持っている2つの金属の違いを見分けられますか」と発問することで、生徒が銅固有の性質を活用した妥当な実験になっているか「見通し」を見直すことにつなげることができる。

#### ・生徒が探究の過程を振り返る時間を確保する。

振り返りは、学びの成果や課題に加え、学習過程に対して行うことが望ましい。また、個人だけではなく、教師や仲間からも評価を受けることが有効である。本問題の場面では、実験後「予想と違う結果になったのはなぜか」、「他に確かめる方法があるのか」というように、学習過程や成果に対して、振り返りの視点を焦点化することも効果的である。このように、学習過程を振り返ることが、次の「見通し」にもつながる。

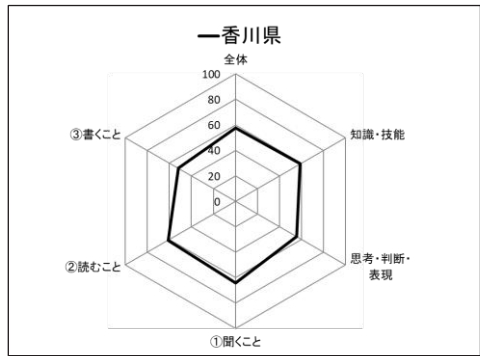
#### ・日常生活や社会との関連を図り、学ぶ意義や有用性を実感できる探究活動を設定する。

理科の探究活動は、自然現象や科学技術に関する知識や能力を身に付けるだけではなく、日常生活や社会における意義や有用性を実感できる学習である。本問題では、与えられた物質が銅であるかどうかを検証するための方法を選択するものであるが、単元の終末には、「金属を活用している身近な物とその性質について調べてみよう」という新たな課題を提示し、関連付けるのも効果的である。身近にある導線に、他の金属よりも電気を通しやすい性質から銅が用いられていることや、銅製のフライパンや鍋が、銅の熱伝導率に優れている性質を活用していることなど、日常の中に銅固有の性質を生かしたものがあつたことに気付くことで、学ぶ意義を実感することができるだろう。

# 中学校英語

## 1 調査結果

項目		正答率 (%)
全体		57.4
内容1	①知識・技能	58.7
	②思考・判断・表現	55.7
内容2	①聞くこと	64.2
	②読むこと	61.2
	③書くこと	51.7



問題番号	問題の内容	内容1		内容2			正答率 (%)	無解答率 (%)
		①	②	①	②	③	香川県	香川県
1	(1) 英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			79.4	0.5
	(2) 英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			65.4	1.2
	(3) 英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			63.3	0.7
	(4) 英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			87.2	0.4
	(5) 英語を聞いて、情報を正確に聞き取れるかをみる。	●		●			30.8	0.6
2	(1) 英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			64.9	0.6
	(2) 英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			55.3	0.4
	(3) 英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			42.7	0.8
	(4) 英語での対話を聞いて、簡単な英語で適切に応じられるかをみる。		●	●			69.0	0.6
3	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができるかをみる。		●	●			84.3	0.4
4	(1) 文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●				●	59.2	3.8
	(2) 文脈に応じて主に特定の言語材料を使って正しく文の一部を書くことができるかをみる。	●				●	20.9	8.3
5	(1) 文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	63.9	0.3
	(2) 文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	36.1	0.3
	(3) 文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	42.1	0.7
	(4) 文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	71.9	0.5
	(5) 文脈に応じて特定の言語材料を正しく選択できるかをみる。	●				●	50.7	0.9
6	(1) 対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	72.0	0.5
	(2) 対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	71.7	0.8
	(3) 対話の内容や場面に合った表現を、正しく選択できるかをみる。	●				●	83.5	0.8
7	(1) 場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	74.7	2.9
	(2) 場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	66.2	3.3
	(3) 場面にに応じて特定の言語材料を正しく並べかえられるかをみる。	●				●	17.4	7.3
8	(1) 日常的な話題について、電子メールを読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		72.5	14.2
	(2) 英文の要点を捉え、目的や場面、状況に応じて、自分の考えを相手に正しく伝える文を書くことができるかをみる。		●			●	20.4	40.1
9	(1) 初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●			●	52.7	15.7
	(2) 初歩的な英語を用いて、対話の流れに沿った文を書くことができるかをみる。		●			●	23.2	23.1
10	(1) 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができるかどうかをみる。		●		●		72.0	1.4
	(2) 日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができるかどうかをみる。		●		●		81.4	1.5
11	(1) まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		40.7	2.7
	(2) まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取ることができるかをみる。		●		●		49.9	3.1
12	まとまりのある英文を読み、話のあらすじを理解することができるかをみる。		●		●		50.7	2.5

「知識・技能」については、英語を聞いて、自分の置かれた状況などから判断し、必要な情報を聞き取ることや、特定の言語材料を正しく並べかえることに課題が見られる。

「思考・判断・表現」については、まとまりのある文章を読み、英文の要点を捉え、自分に必要な情報を読み取ることや、目的や場面、状況に応じて、自分の考えなどを相手に正しく伝える文を書くことに課題が見られる。



## 2 調査結果から授業改善へ

### 場面に応じて、特定の言語材料を正しく並べかえることができるようにする

#### 【授業改善のヒントとなる問題の概要】

#### 中学校第2学年 7(3)

次の(1)～(3)のような場面では、英語でどのように言いますか。それぞれ( )内の語を並べかえて適切な英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

- (1) どんな音楽が好きかをたずねたいとき  
( of, what, music, kind ) do you like ?
- (2) その市にはよい美術館があると言いたいとき  
( museum, is, good, there, a ) in the city.

- (3) 学校の図書館にいる生徒の現在の様子について伝えたいとき  
The ( library, are, the, reading, in, students ) books quietly.

#### 学習指導要領における内容

#### 【知識及び技能】

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

エ 文、文構造及び文法事項

問題番号		県反応率(%)		【解答類型】
7	(3)	①正答	17.4	①正答
		②誤答1	25.2	②in the library は正しい語順で書いているが、students の直後に書かれていない。
		⑧誤答2	50.1	⑧その他
		⑨無答	7.3	⑨無答

#### 【分析と具体的な指導】

正答率は全問題の中で最も低く 17.4%である。誤答が約8割近くに及ぶが、そのうち in the library は正しい語順で書いているが、students の直後に書いていない生徒が 25.2%いることから、[前置詞+名詞]の形は理解できているが、前置詞を用いた「後置修飾」が十分に理解できていない生徒がいることがうかがえる。

設問文は、[主語+動詞]の最も単純な文構造に補語が加わった文であるが、このような前置詞を用いた「後置修飾」は、今後学習する、to 不定詞、現在分詞や過去分詞、関係代名詞等にも用いられる重要な学習内容である。「後置修飾」が「2語以上の英語のかたまりで、直前の名詞を説明する働きをすること」をしっかりと押さえておく必要がある。日本語の意味のまとまりごとに英訳をした後で語順を考えさせる際、補語がどこに係るのか、考える視点を与えるなど、語順と意味の関係性への気づきを促すことが重要である。

今後、各学校に求められる取組としては、シンプルな文(Ex.)“The girls look happy.”を、「木の下にいる女の子たち」にするにはどうすればよいか考えたり、読む活動においては、日常的に意味のまとまりを捉えながら読んだりすることが有効である。インプットの機会を十分に確保した上で、文構造を意識したアウトプットの活動を継続的に実施し、定着を図ることも必要である。

【授業改善のヒントとなる問題の概要】 中学校第2学年 8(2)

エミ (Emi) は、昨年オーストラリアでホームステイした家庭のメアリー (Mary) から、以下のようなメールを受け取りました。そのメールを読んで、あとの (1)、(2) の問いに答えなさい。

学習指導要領における内容  
〔思考力、判断力、表現力等〕  
(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項  
力 書くこと

Dear Emi,  
How are you doing? I'm doing well.  
Yesterday I looked at some pictures during your homestay here.  
You, my brother Sam, and I looked happy in the pictures.  
We enjoyed swimming in the sea.  
We had a wonderful time last year.  
I have good news. I am going to visit Japan with my family next year.  
We're now making a plan for our trip. I have a question.  
What's a good season for our trip to Japan? Do you have any good ideas?  
I am looking forward to seeing you again.  
Mary

(2) エミがメアリーに返信します。あなたがエミなら、どのように返事を書きますか。下のメールの中に、あなた自身の意見とその理由を1文か2文の英文で書きなさい。

Dear Mary,  
Thank you for your e-mail. I'm very happy to hear the news.  
I'll tell you my answer.  
  
If you have any more questions, please ask me.  
I can't wait to see you!  
Bye for now,  
Emi

問題番号	県反応率 (%)	【解答類型】
8 (2)	①正答	20.4
	②誤答1	4.9
	③誤答2	34.6
	④無答	40.1
		①完答 ②理由を書 いていな い ③その他 ④無答

【分析と具体的な指導】

正答率は 20.4% である。無解答率は全問題の中で最も高く 40.1% である。まとまりのある内容から要点を読み取ることや、自分の考えを整理して相手に伝わる文を書くことに課題が見られる。

生徒のつまづきが読むことに見られる場合は、複数の情報が含まれるまとまりのある英文を読む機会を増やすことが有効である。書くことにつまづきが見られる場合は、教科書やまとまりのある英文を読んだ後、筆者の主張を数文でまとめたり、自分の考えとその理由を書いたりする活動を積極的に取り入れたい。

今後、各学校には、読む活動において、書き手の意図や自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を取り出すことができるように指導することが求められる。書く力を育成するためには、聞く、読む、話す活動を通して、基本的な語彙や表現に親しむ機会を多く与え、書く活動につなげることが大切である。

### Ⅲ 質問紙調査結果(児童生徒質問紙・学校質問紙)

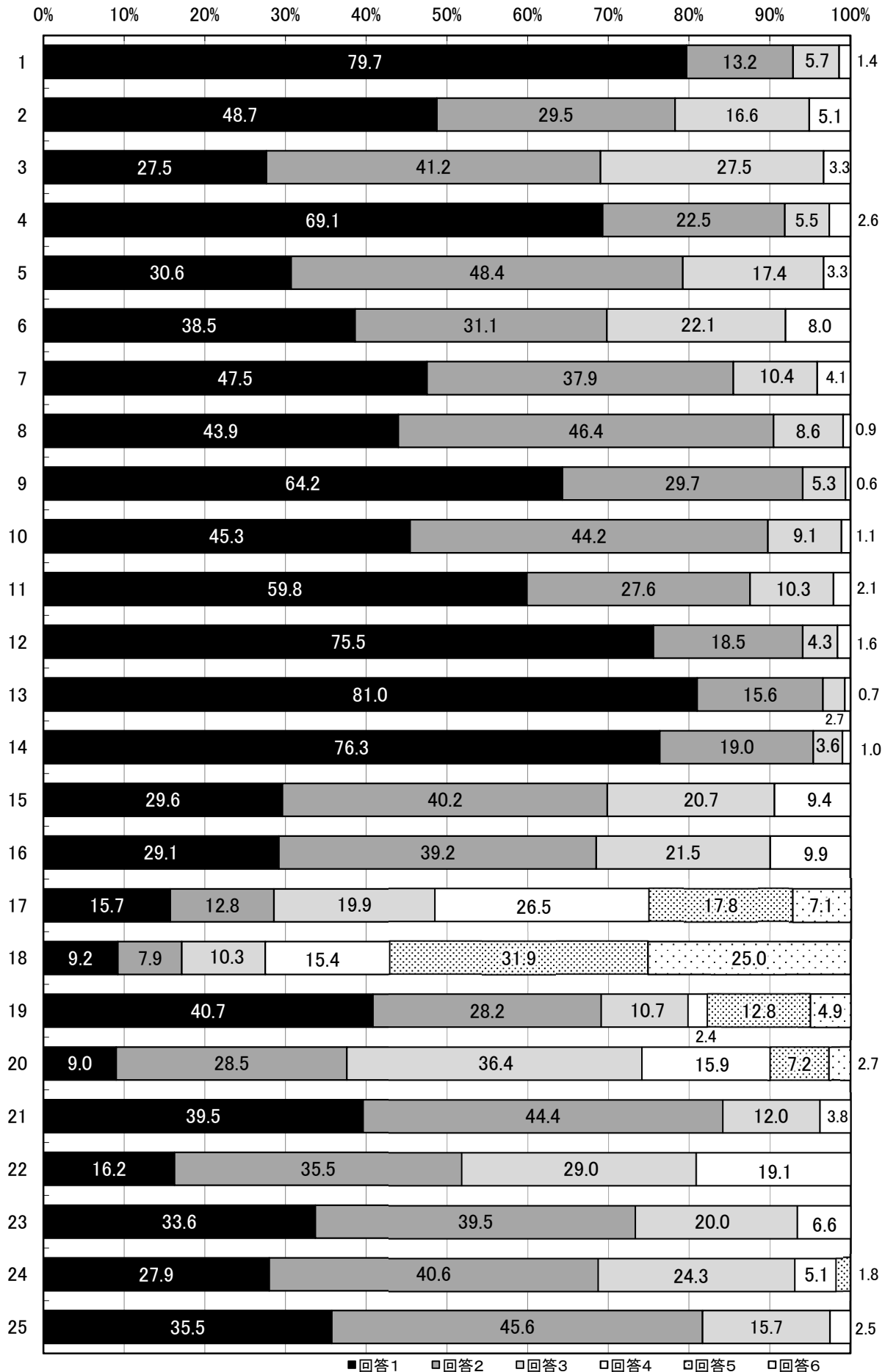
児童生徒質問紙調査結果一覧

小学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
1	1	◆	1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない		
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない		
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
4			2 自己有用感・規範意識等	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
5				むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない		
6	4	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
7	7	◆		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない		
8				学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない		
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない		
10	8			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない		
11				近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない		
12		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
13	9	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
14	11		人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
15			3 関心社会への	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
16		◆		今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
17			4 メディアの利用	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18				普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
19		◆		携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない
20				普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない
21	35		5 ICTの活用等	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない		
22	43 51 55	◆		勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい		
23				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない		
24	45 53	◆		授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない	
25				分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない		

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示していません。



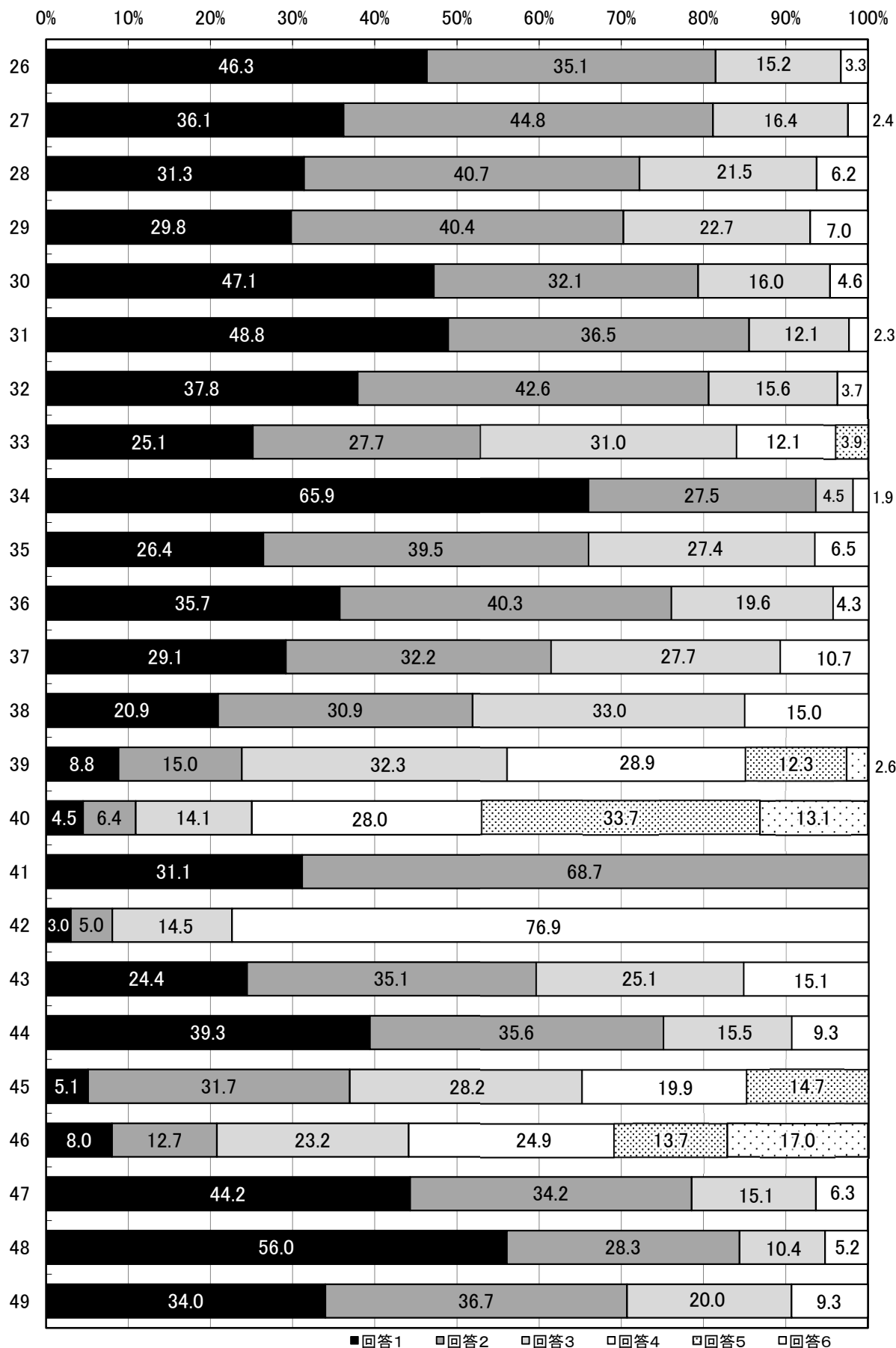
Ⅲ 児童生徒質問紙  
調査結果・経年比較

小学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 振興	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	
26			5 学習意欲・言語活動・ICTの活用等	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
27				授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない			
28				授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない			
29				授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っているといますか。	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない			
30				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
31				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
32				普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない			
33	29			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満		
34	30			学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	役に立つと思う	どちらかといえば、役に立つと思う	どちらかといえば、役に立たないと思う	役に立たないと思う			
35	32			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
36	36		学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	まったくできていない				
37	16		6 学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
38				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
39	17			学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていない	
40	18		土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていない		
41			7 家庭環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）	いる	いない					
42				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない			
43				悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていない	していない			
44	24	◆	8 読書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい	きらい			
45	(21)	◆		本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない		
46	20			学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていない	
47	12	◆	9 学校生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
48				学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない			
49				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない			

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示していません。



Ⅲ 児童生徒質問紙  
調査結果・経年比較

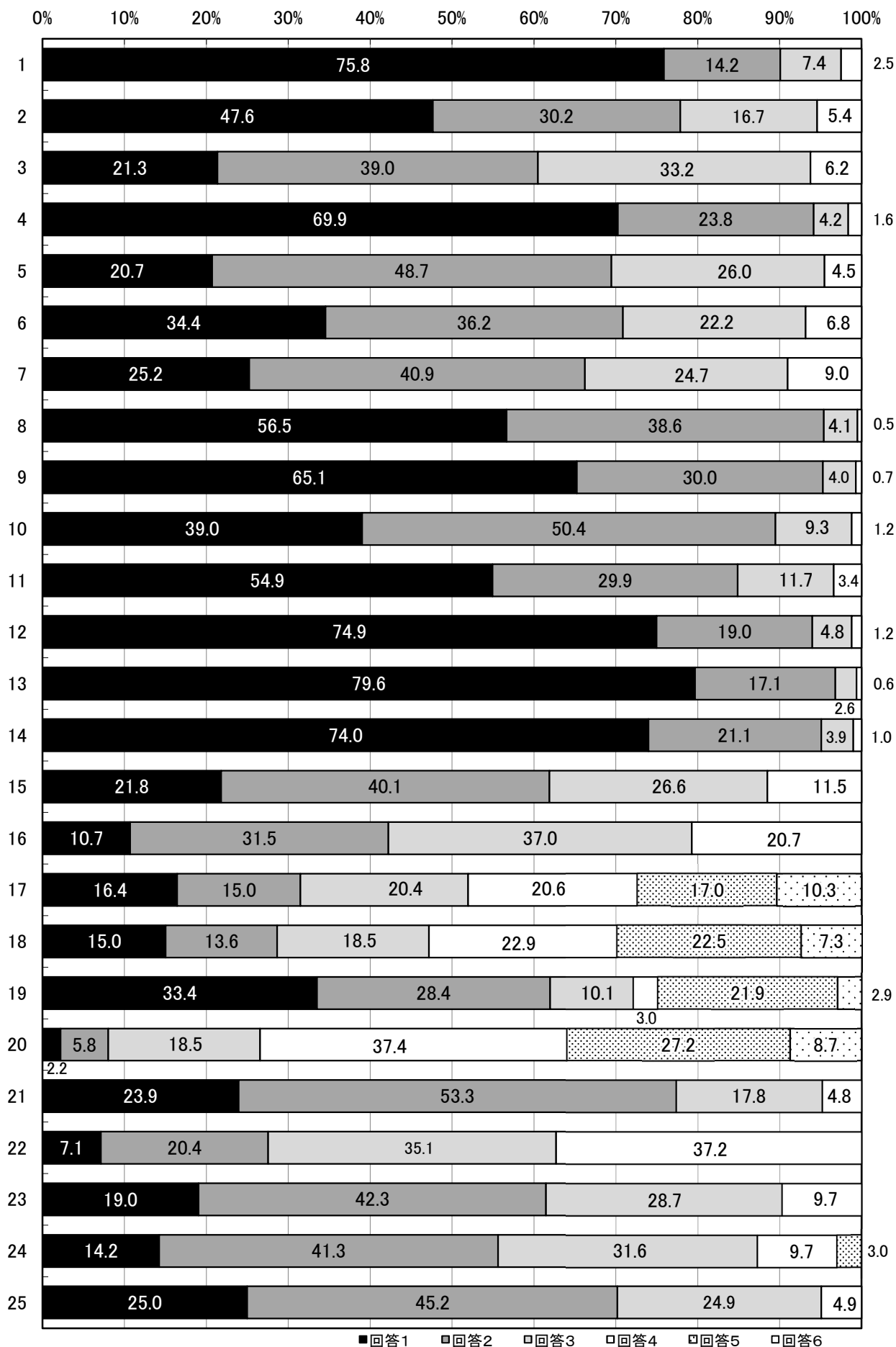
中学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	
1	1	◆	1 生活	朝食を毎日食べていますか。	毎日食べている	食べる日の方が多い	食べない日の方が多い	まったく食べていない			
2				家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校のできごとについて話をしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	していない			
3				家の手伝いをしていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
4			2 自己有用感・規範意識等	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない			
5				むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない			
6	4	◆		自分には、よいところがあると思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
7	7	◆		将来の夢や目標をもっていますか。	はっきりもっている	はっきりではないがもっている	あまりもっていない	まったくもっていない			
8				学校のきまりを守っていますか。	守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない			
9				係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	果たしている	どちらかといえば果たしている	あまり果たしていない	果たしていない			
10	8			人が困っているときは、進んで助けていますか。	助けている	どちらかといえば助けている	あまり助けていない	まったく助けていない			
11				近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない			
12		◆		人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
13	9	◆		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
14	11			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
15				3 関社会への	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
16		◆			今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない		
17				4 メディアの利用	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない
18			普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）		4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったく利用していない	
19		◆	携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。		守っている	どちらかといえば守っている	あまり守っていない	守っていない	ルールを決めていない	携帯電話やスマートフォンなどを持っていない	
20			普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。		10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない	
21	39		授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか。		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない			
22	47 55 59	◆	5 学習意欲・言語活動	勉強は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い			
23				授業は楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	まったく思わない			
24	49 57	◆		授業の内容がどの程度分かりますか。	よく分かる	だいたい分かる	分かることと分からないことが半分ずつある	分からないことが多い	ほとんど分からない		
25				分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない			



※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



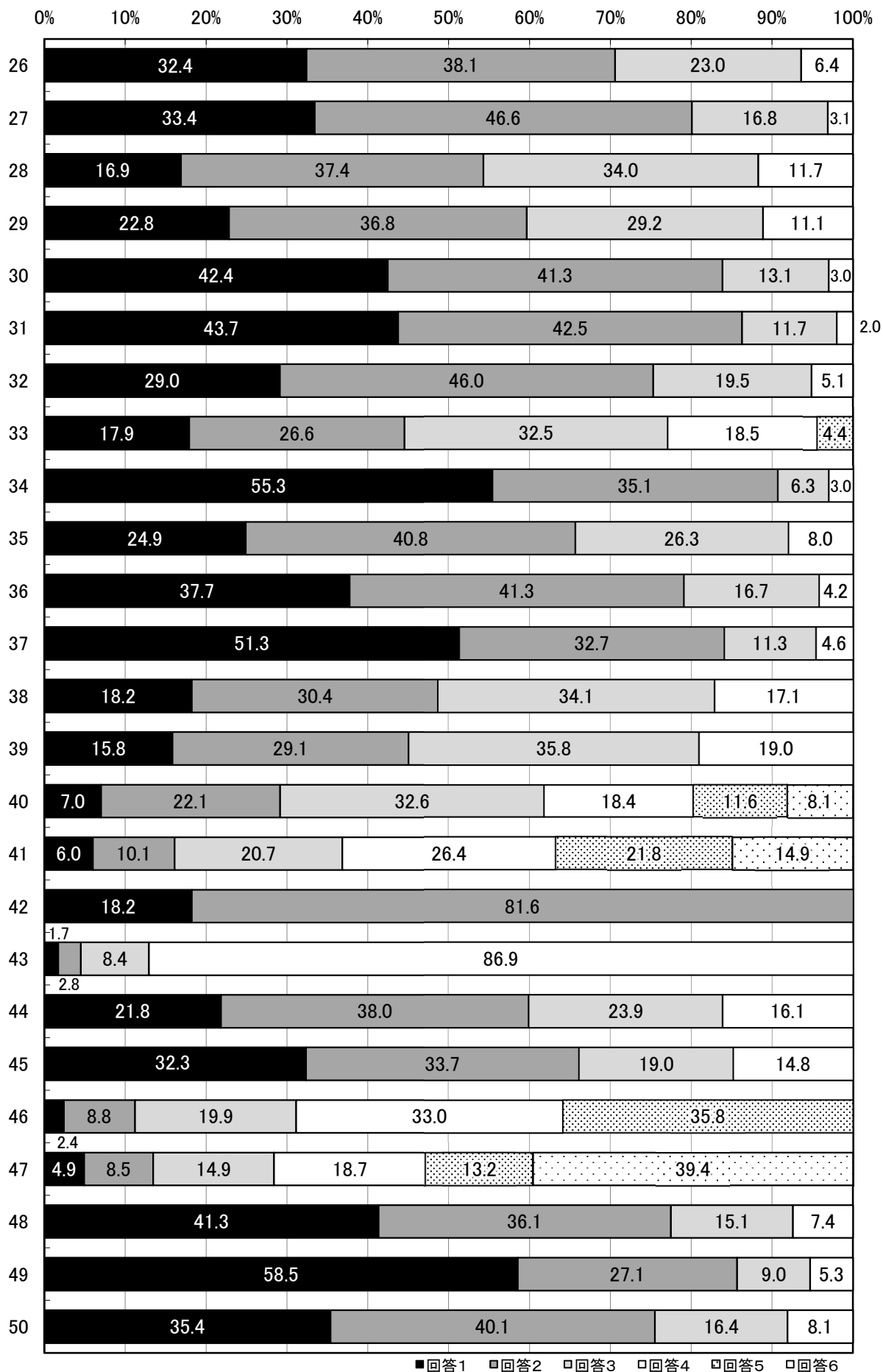
Ⅲ 児童生徒質問紙  
調査結果・経年比較

中学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6	
26			5 学習 意欲・ 言語活 動・I CTの 活用等	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない			
27				授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない			
28				授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない			
29				授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	どちらかといえは思わない	思わない			
30				普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない			
31				普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない			
32				普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。	取り組んでいる	どちらかといえは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない			
33	33			普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満		
34	34			学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	役に立つと思う	どちらかといえは役に立つと思う	どちらかといえは役に立たないと思う	役に立たないと思う			
35	36			授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない			
36	40		学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。	できている	どちらかといえはできている	あまりできていない	まったくできていない				
37			英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。	当てはまる	どちらかといえは当てはまる	どちらかといえは当てはまらない	当てはまらない				
38	16		6 学習 習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない			
39				テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	している	どちらかといえはしている	あまりしていない	まったくしていない			
40	17			学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	まったくしていない	
41	18			土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）	4時間以上	3時間以上、4時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしていない	
42			7 家庭 環境	家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここでのお世話とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）	いる	いない					
43				家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や部活、遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	よくある	ある	あまりない	ない			
44				悩みや困ったことがあったとき、たれかに相談していますか。	よくしている	している	あまりしていない	していない			
45	24	◆	8 読 書	読書は好きですか。	好き	どちらかといえは好き	どちらかといえはきらい	きらい			
46	(21)	◆		本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	だいたい週に4回以上行く	週に1～3回程度行く	月に1～3回程度行く	年に数回程度行く	まったく行かない		
47	20			学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	まったくしていない	
48	12	◆	9 学校 生活	学校に行くのは楽しいと思いますか。	思う	どちらかといえは思う	あまり思わない	まったく思わない			
49				学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	ある	どちらかといえはある	どちらかといえはない	ない			
50				学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	できる	どちらかといえはできる	どちらかといえはできない	できない			

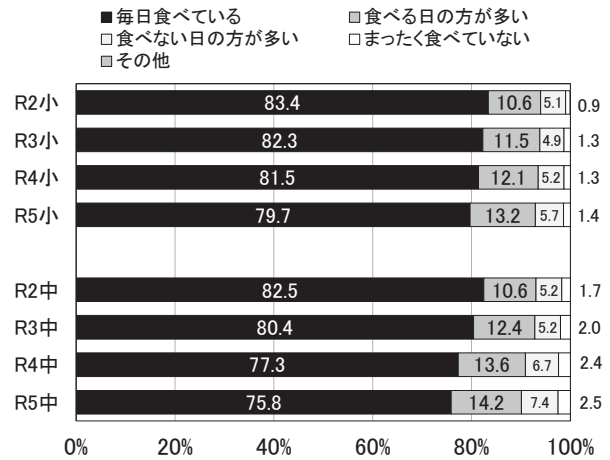
※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示していません。

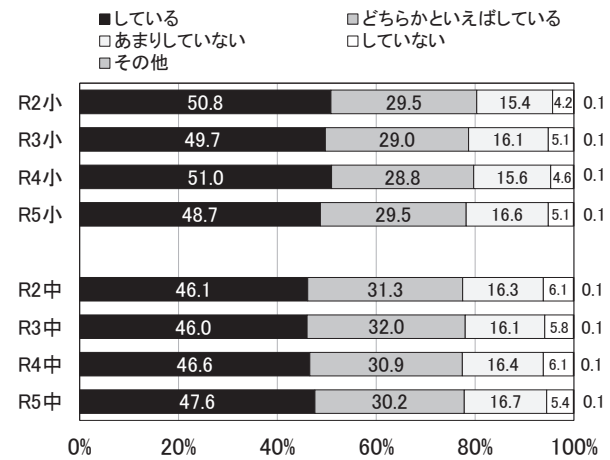


# 1 生活

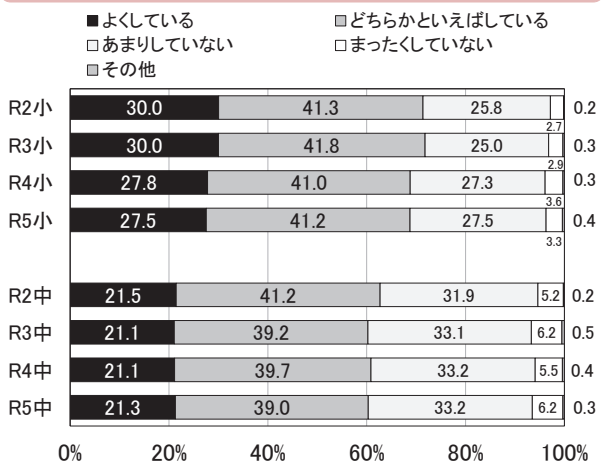
1/1 朝食を毎日食べていますか。



2/2 家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。

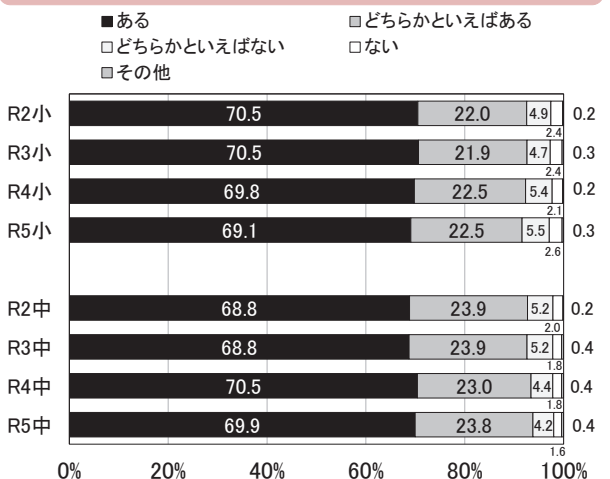


3/3 家の手伝いをしていますか。

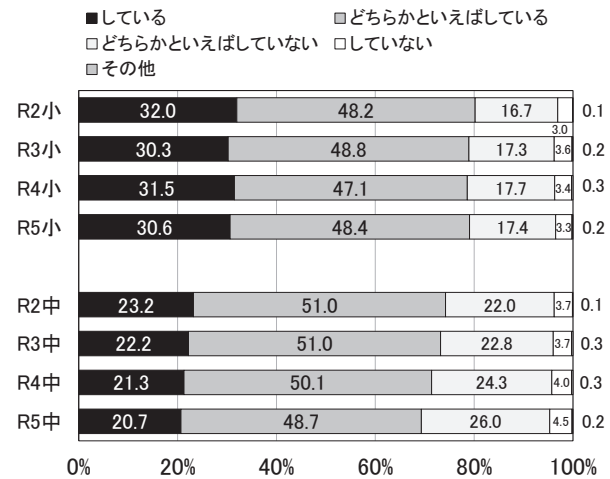


# 2 自己有用感・規範意識等

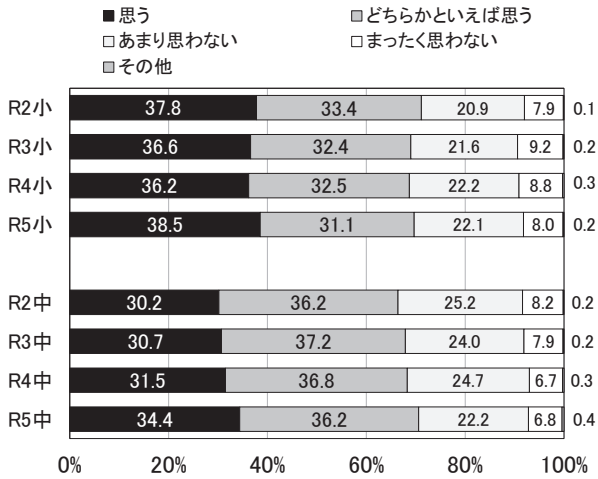
4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。



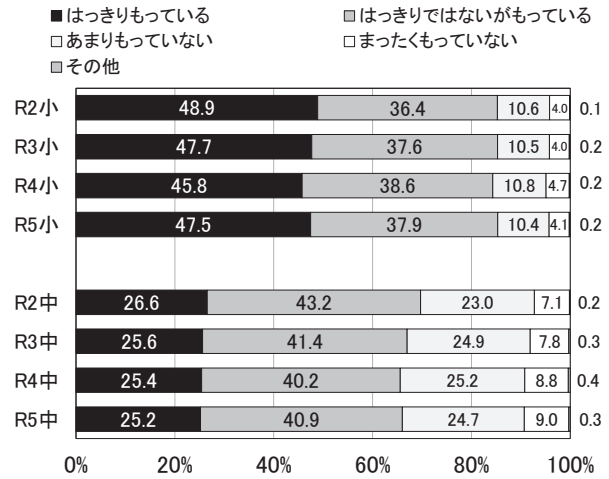
5/5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。



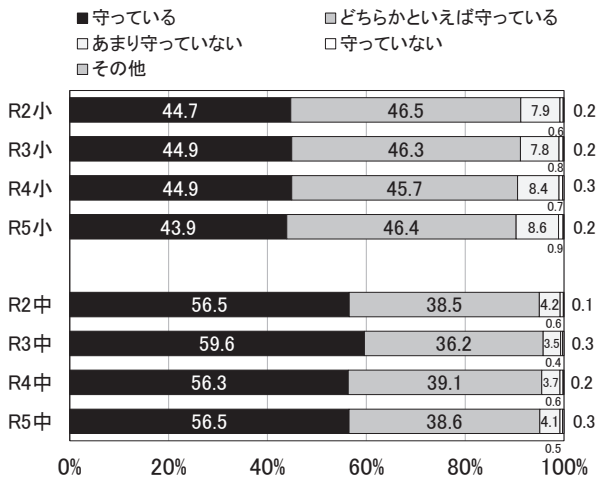
6/6 自分には、よいところがあると思いますか。



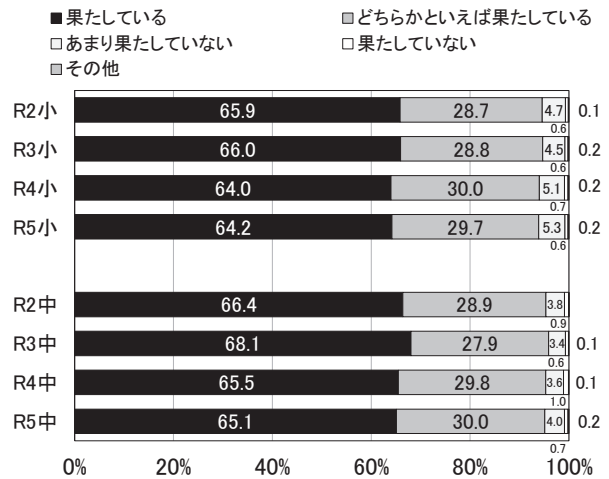
7/7 将来の夢や目標をもっていますか。



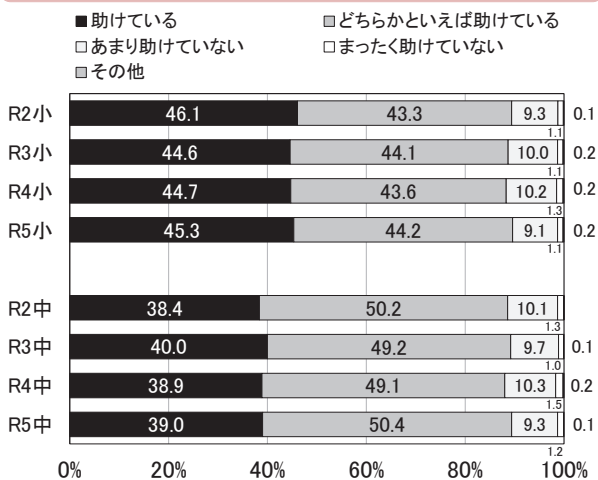
8/8 学校のきまりを守っていますか。



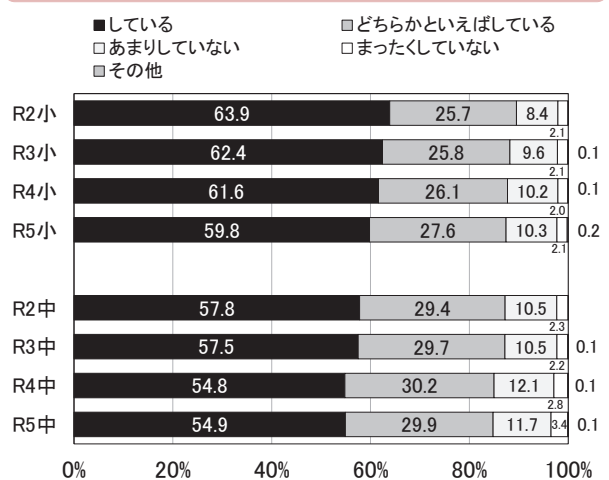
9/9 係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。



10/10 人が困っているときは、進んで助けていますか。

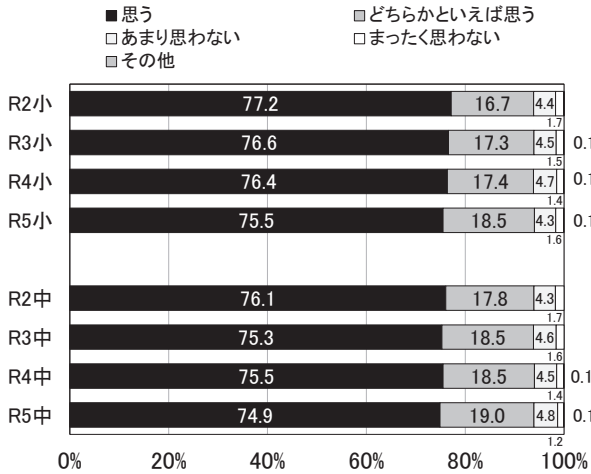


11/11 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

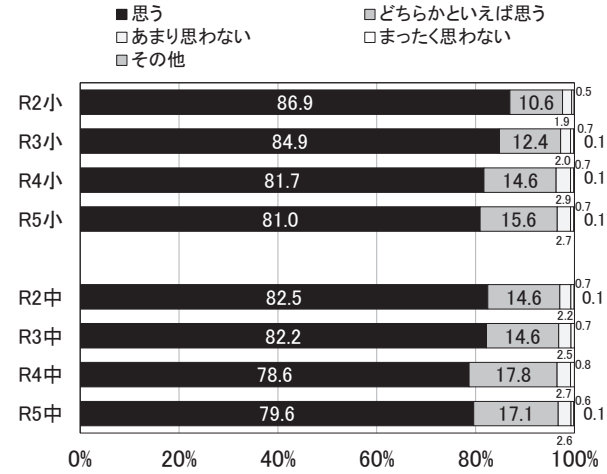


※「0.0」は省略しています。

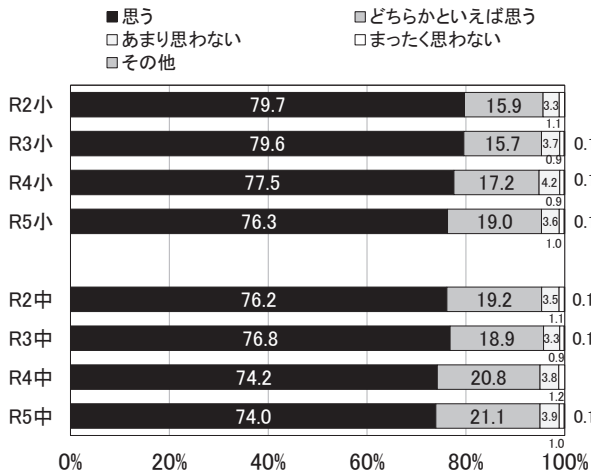
12/12 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。



13/13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

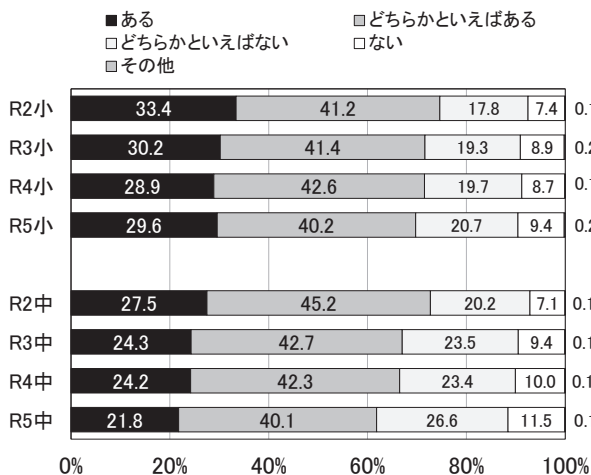


14/14 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

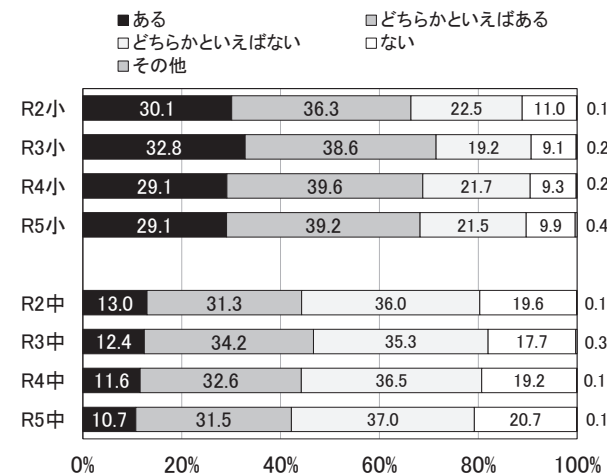


### 3 社会への関心

15/15 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。



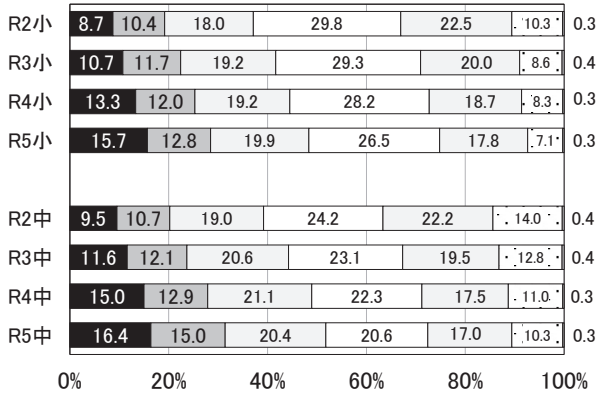
16/16 今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。



# 4 メディアの利用

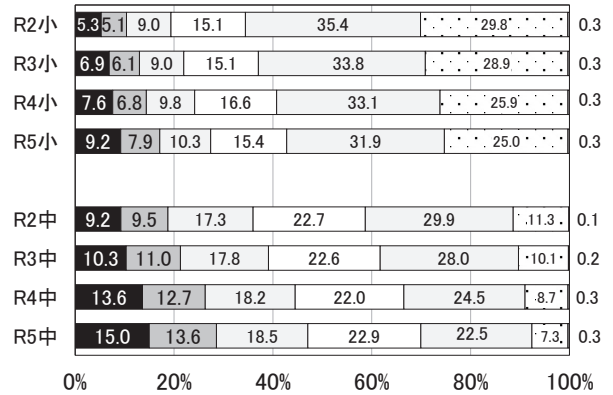
17/17 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

- 4時間以上
- 2時間以上、3時間より少ない
- 1時間より少ない
- その他
- 3時間以上、4時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- まったく利用していない



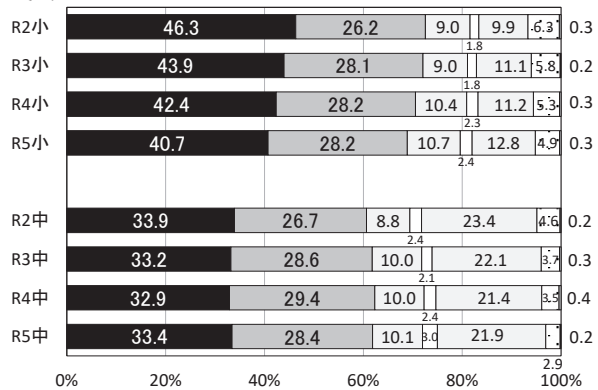
18/18 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

- 4時間以上
- 2時間以上、3時間より少ない
- 1時間より少ない
- その他
- 3時間以上、4時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- まったく利用していない



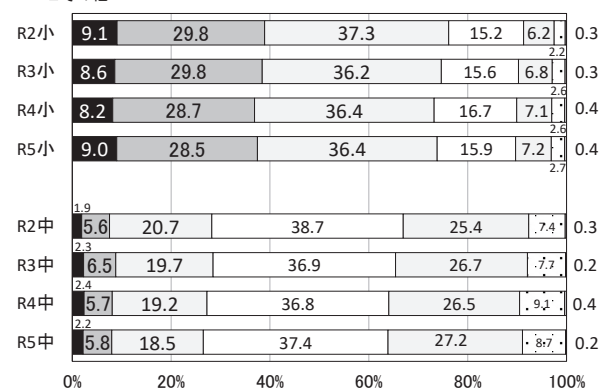
19/19 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。

- 守っている
- あまり守っていない
- ルールを決めていない
- その他
- どちらかといえば守っている
- 守っていない
- 携帯電話やスマートフォンを持っていない



20/20 普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。

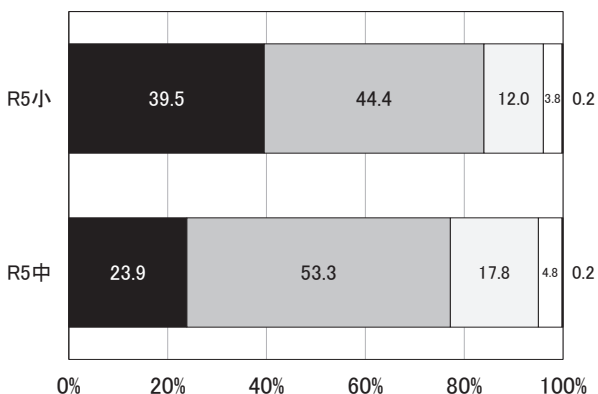
- 10時間以上
- 8時間以上、9時間より少ない
- 6時間以上、7時間より少ない
- その他
- 9時間以上、10時間より少ない
- 7時間以上、8時間より少ない
- 6時間より少ない



# 5 学習意欲・言語活動・ICTの活用等

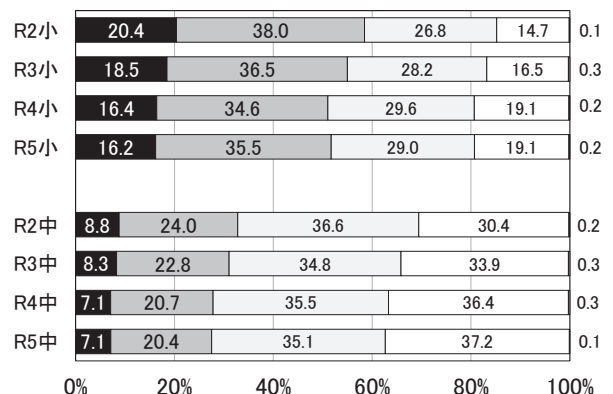
21/21 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていますか

- 当てはまる
- あまり当てはまらない
- その他
- どちらかといえば当てはまる
- 当てはまらない



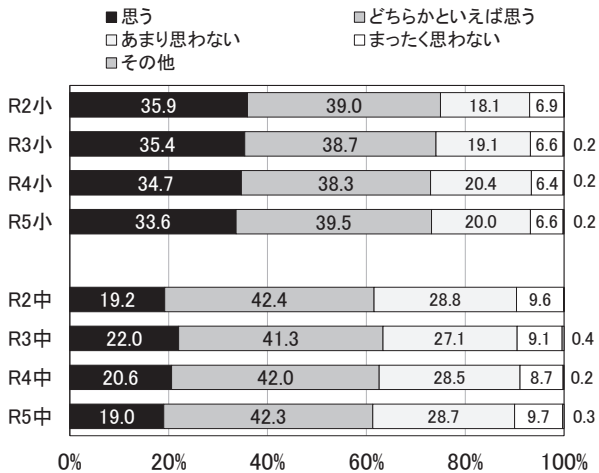
22/22 勉強は好きですか。

- 好き
- どちらかといえば好き
- その他
- どちらかといえば好き
- きらい

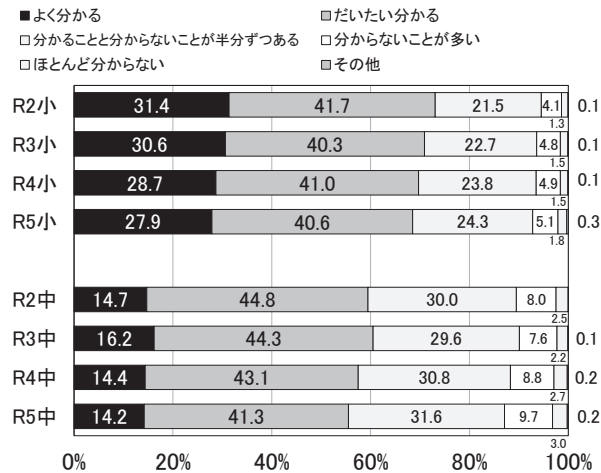


Ⅲ 児童生徒質問紙  
調査結果・経年比較

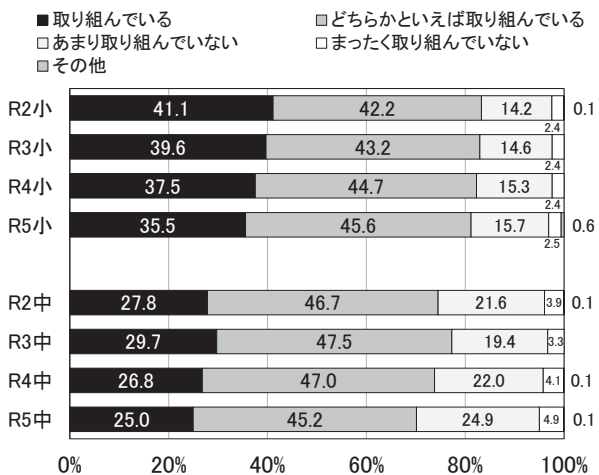
23/23 授業は楽しいと思いますか。



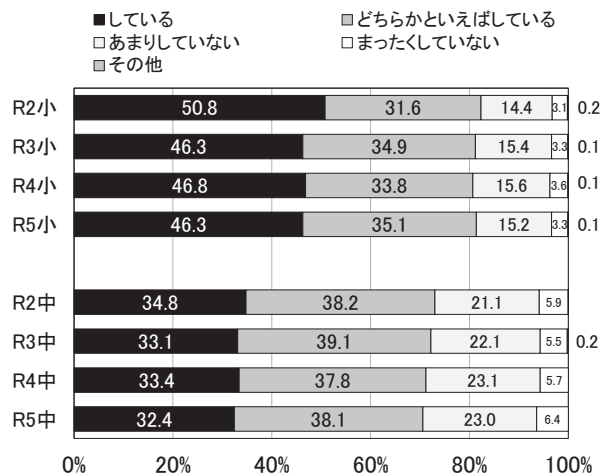
24/24 授業の内容がどの程度分かりますか。



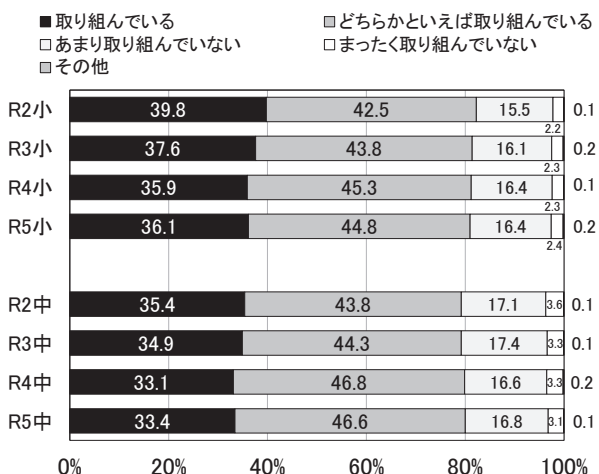
25/25 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。



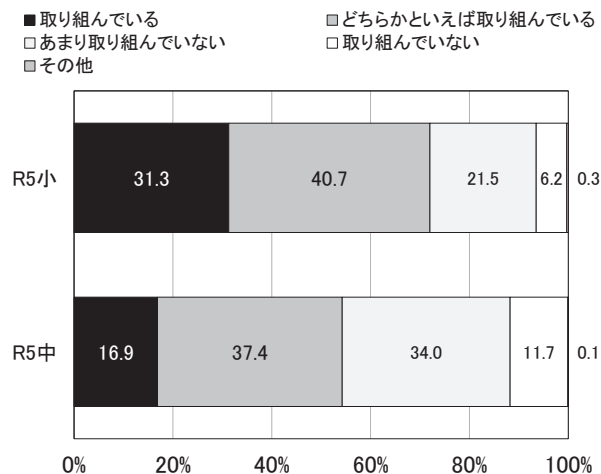
26/26 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。



27/27 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。

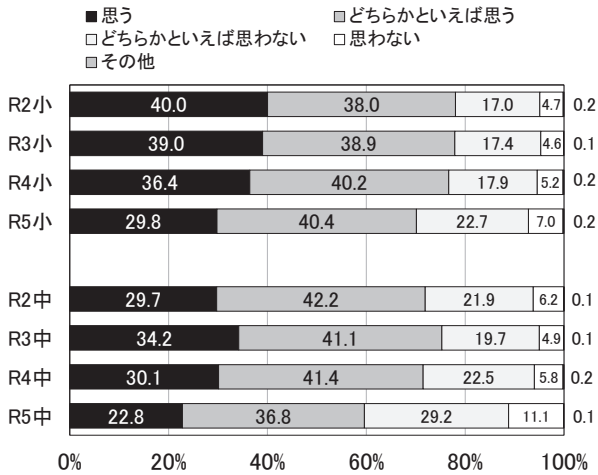


28/28 授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。

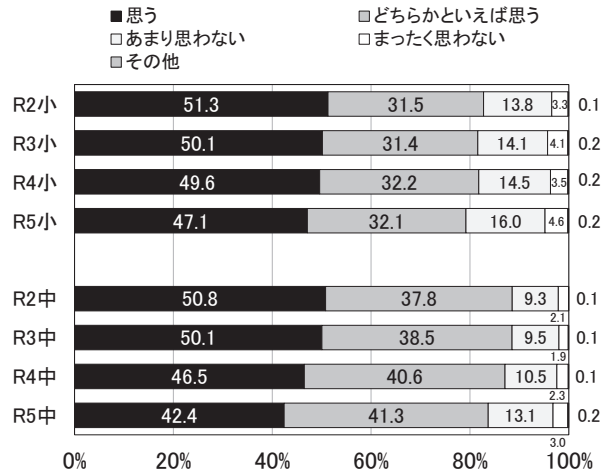




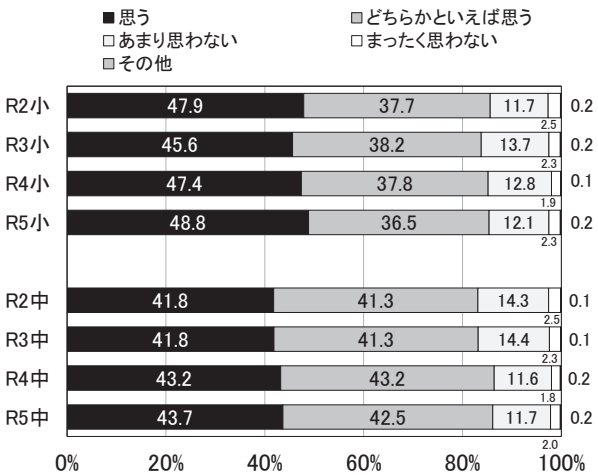
29/29 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。



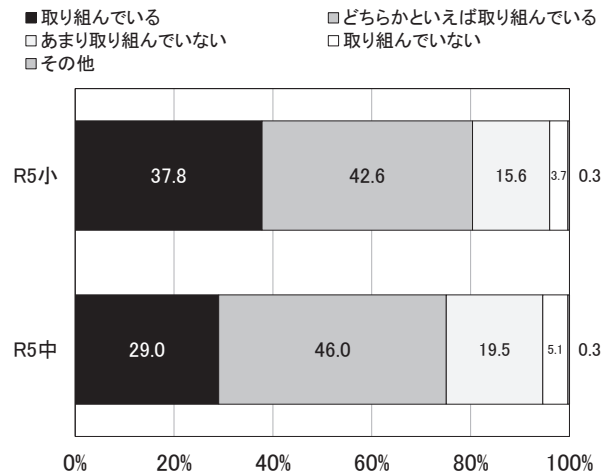
30/30 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



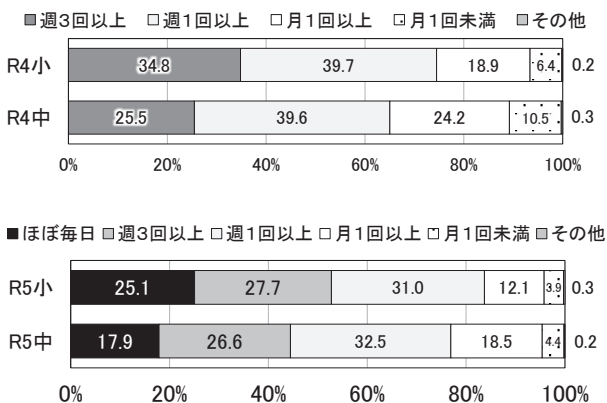
31/31 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。



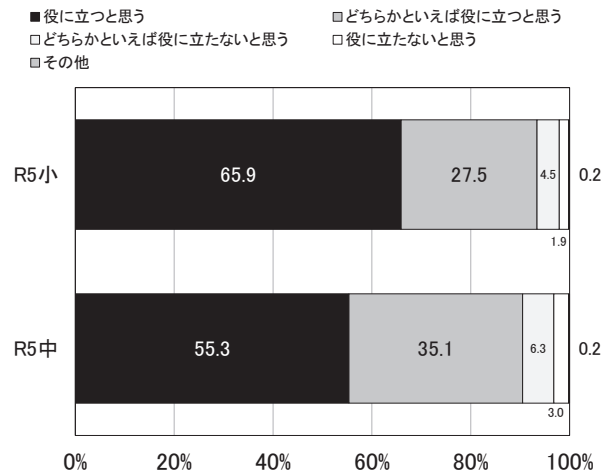
32/32 普段の授業では、友達と話し合うとき、目的をもって取り組んでいますか。



33/33 普段の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

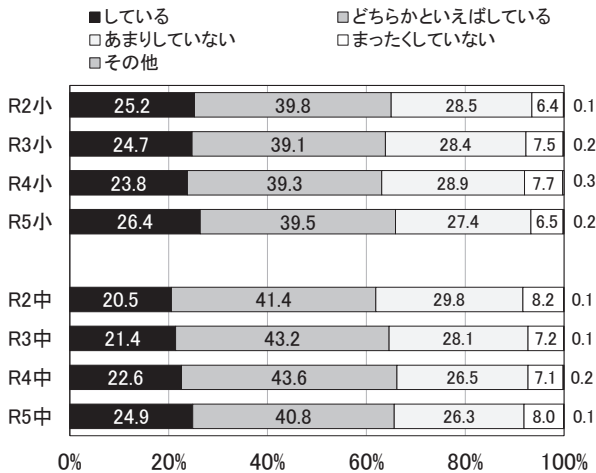


34/34 学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立っていると思いますか。

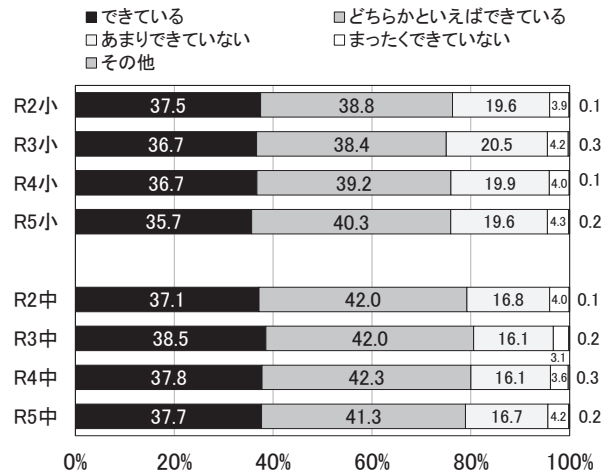


※「0.0」は省略しています。

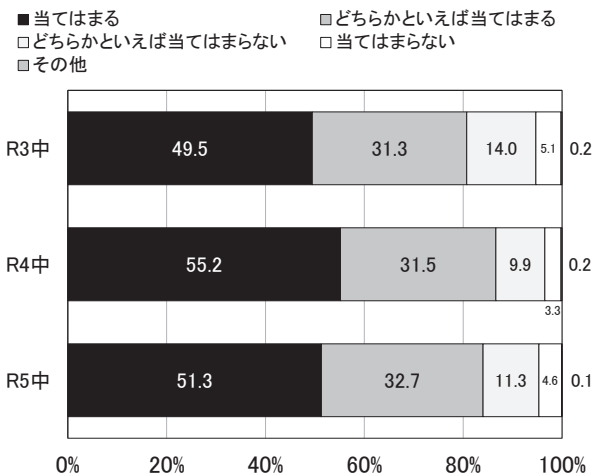
35/35 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。



36/36 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。

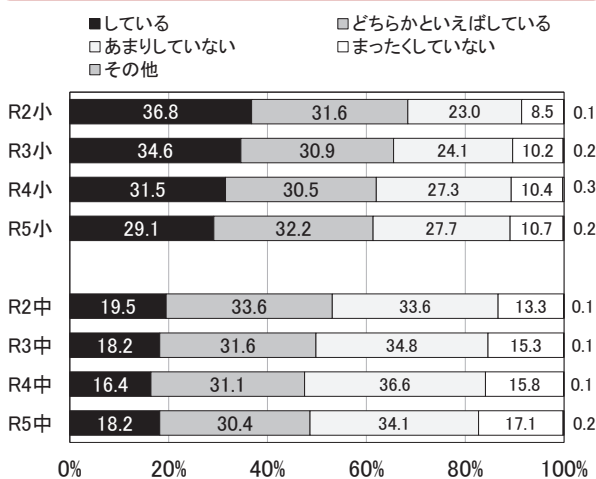


※/37 英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べたりする活動が行われていたと思いますか。

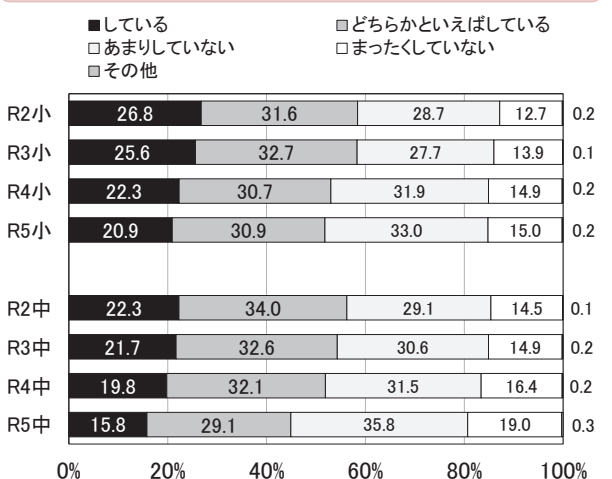


## 6 学習習慣

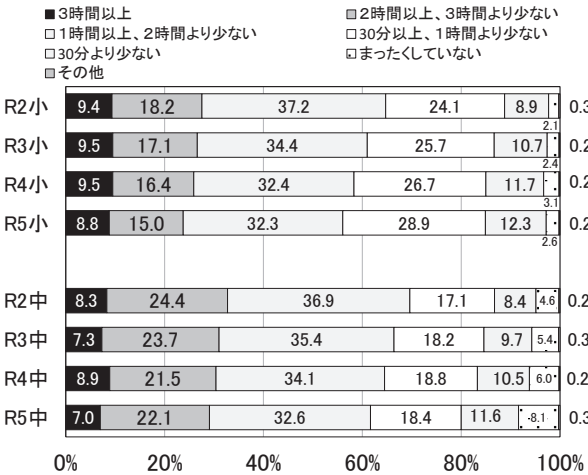
37/38 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



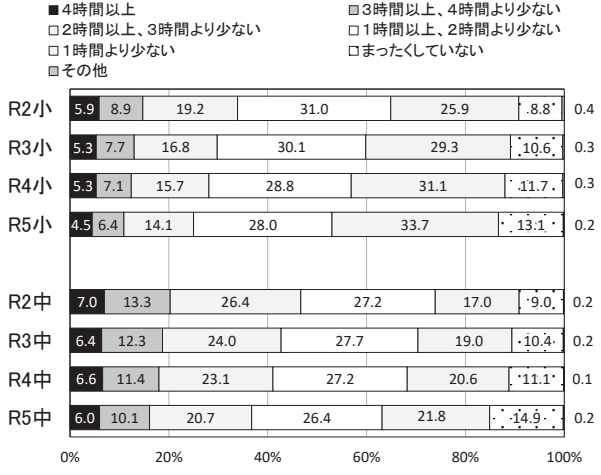
38/39 テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。



39/40 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

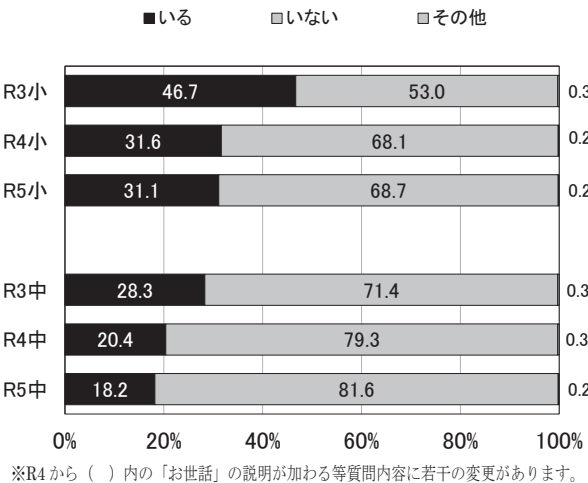


40/41 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

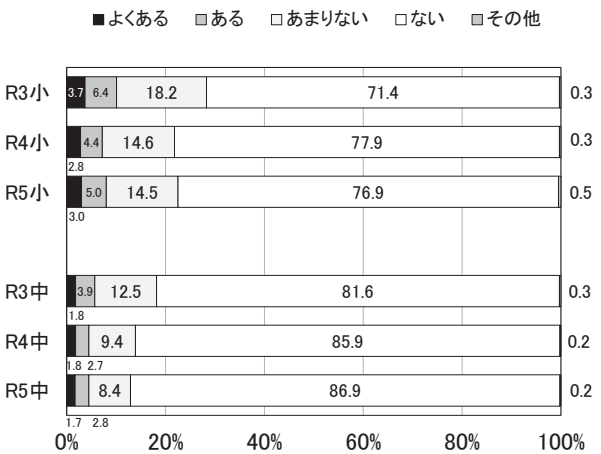


## 7 家庭環境

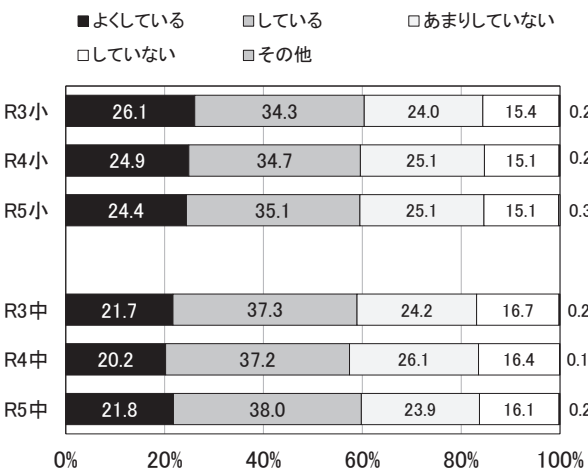
41/42 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話を指します。）



42/43 家族のお世話をしていることで、学校を休んだり、勉強や部活、遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。



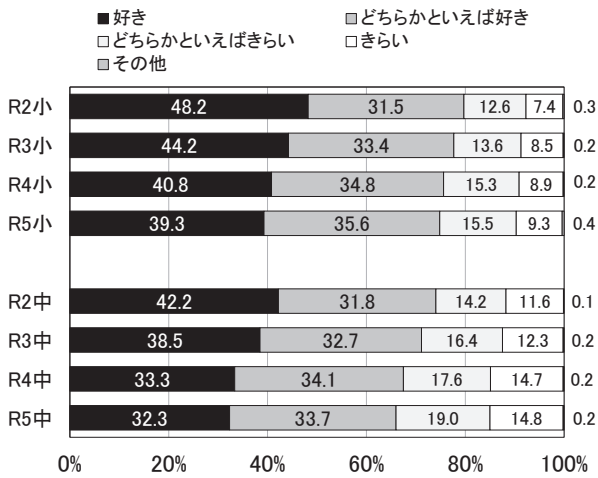
43/44 悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。



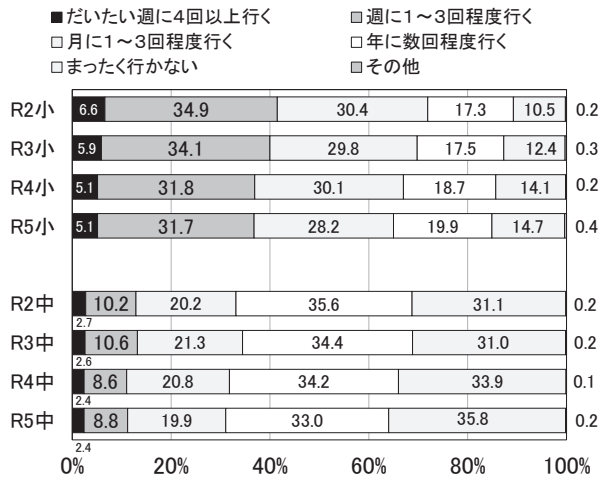
※「0.0」は省略しています。

# 8 読書

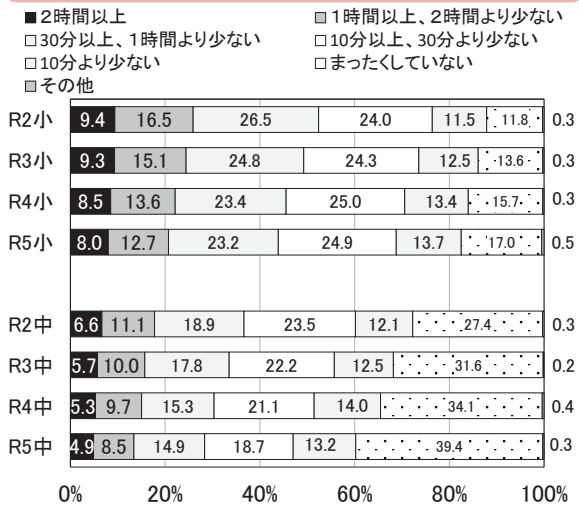
44/45 読書は好きですか。



45/46 本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

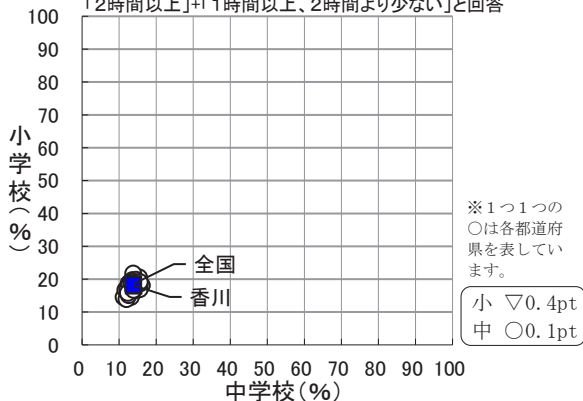


46/47 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書しますか。

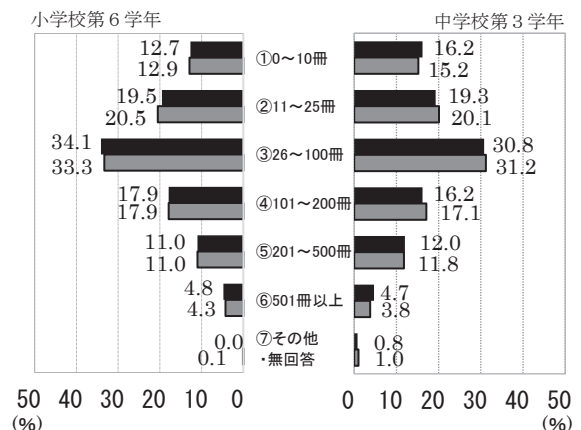


## 〔参考〕全国学力・学習状況調査結果（R5）

□ 20/20 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）  
「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」と回答

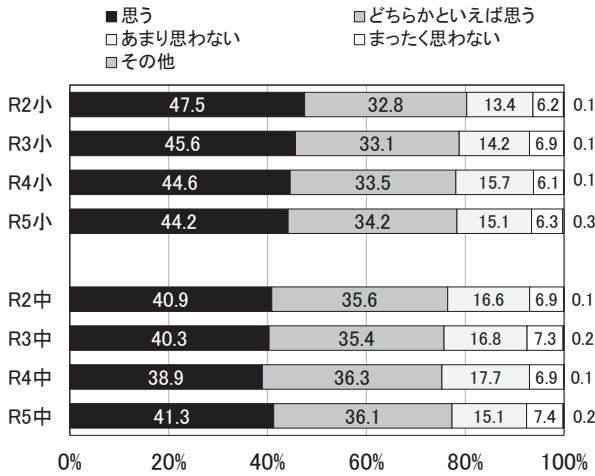


□ 22/22 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く。）

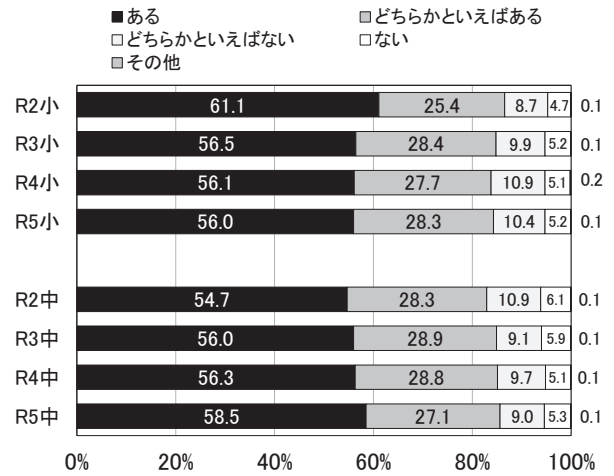


# 9 学校生活

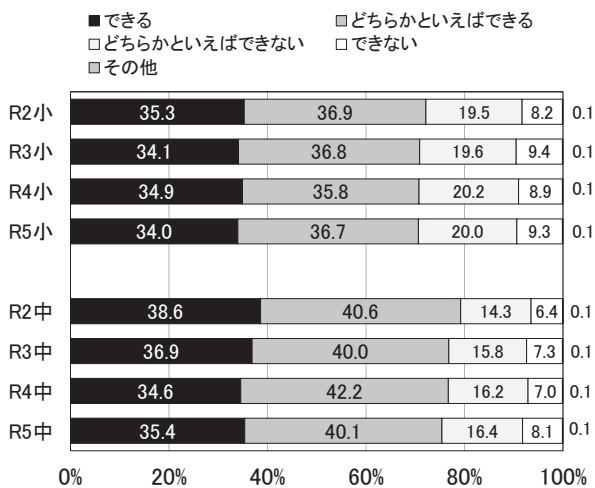
47/48 学校に行くのは楽しいと思いますか。



48/49 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。



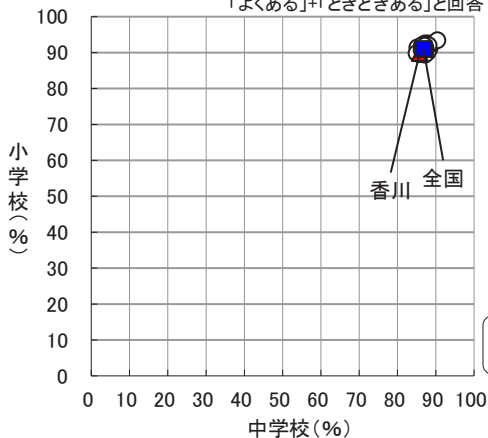
49/50 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。



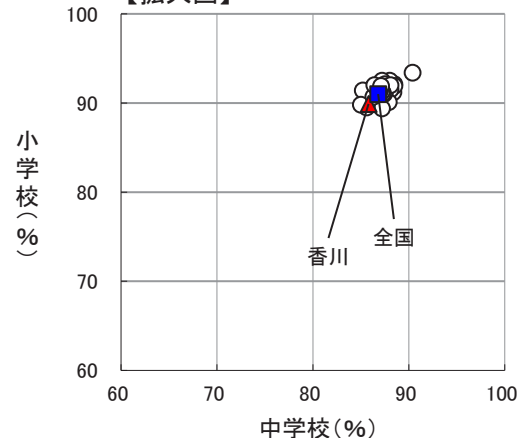
Ⅲ 児童生徒質問紙  
調査結果・経年比較

【参考】全国学力・学習状況調査結果（R5）

□ 15/15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか 「よくある」+「ときどきある」と回答



【拡大図】



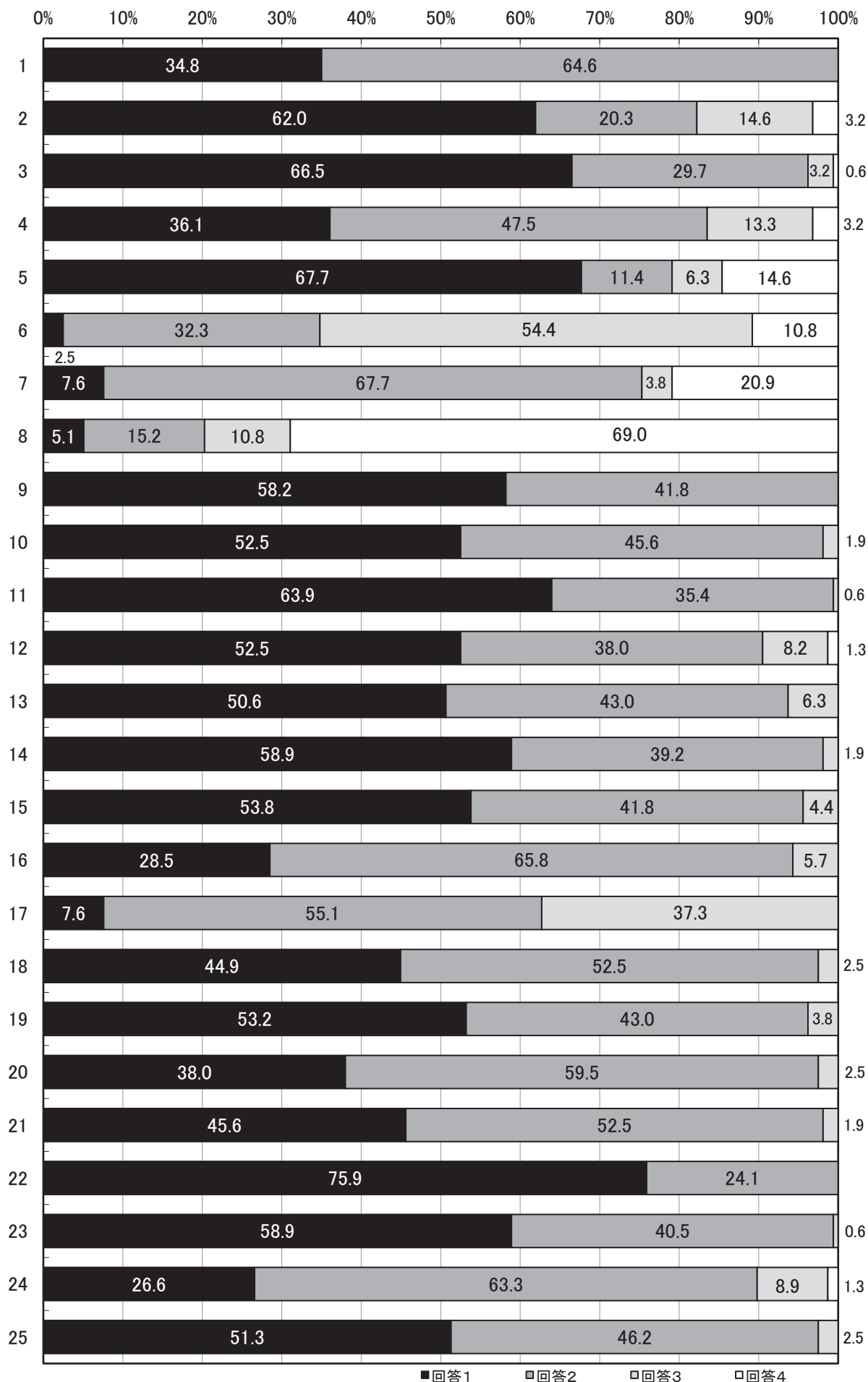
学校質問紙調査結果一覧

小学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1			1 家庭・地域との連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4		◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
5				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
6				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
7				教室に入りにくい児童に対してどのように支援を行っていますか。	別室を用意しているが、支援に当たる教員はいない	教員が交代しながら別室で過ごす児童の支援に当たっている	専属の教員が別室で過ごす児童の支援に当たっている	教室に入れない児童はいない
8				ヤングケアラーと思われる児童について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要対応に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでない(学校で対応している)	ヤングケアラーと思われる児童はいなかった
9	(12)		2 社会性・道徳性の育成	児童が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10				学級活動や児童会活動は、児童による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11	(13)			学校生活の中で、児童一人一人のよさを見つけ、児童や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				児童によるボランティア活動を実施していますか。(特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む)	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。(本年度の予定を含む)	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
14			3 定着と思考力等の育成の両立 基礎的・基本的内容の	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
15				算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
17				より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
18			4 指導方法等について	授業で、児童が目的をもって話し合いができるよう工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
19				学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21				単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22				授業の最初に、児童が自分の目標(めあて・ねらい)をもてるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
23				授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24	33			授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				普段の授業で、児童の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示していません。



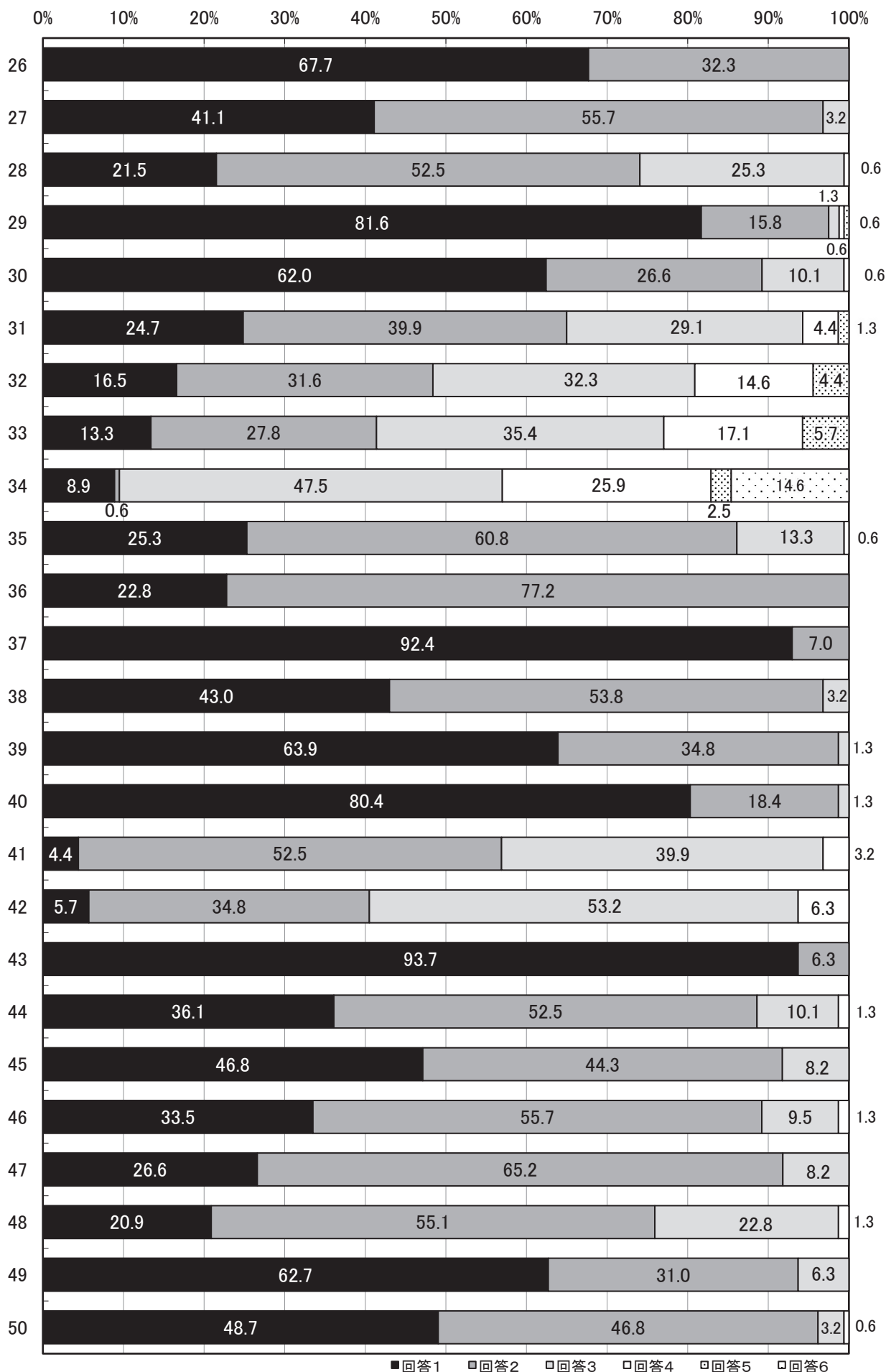
小学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26			4 指導 方法 等 につ いて	普段の授業で、児童が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
27	(29)			普段の授業で、児童が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
28				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
29	52			普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
30	55			児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、6年生の授業で、どの程度活用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
31	56			6年生の児童が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
32	57			6年生の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
33	59			6年生の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
34	63			児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。	毎日持ち帰って、毎日利用させている	毎日持ち帰って、時々利用させている	時々持ち帰って、時々利用させている	持ち帰らせていない	持ち帰らせてはいけなことをしている	臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
35		◆		「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
36			外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。	はい	いいえ					
37			小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ					
38	(77)		5 庭学 習家	家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
39			6 学校 経営 他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
40				模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
41				現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
42				現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
43				前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ				
44				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
45	53			教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、ない	ない		
46	54			コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		
47				ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。	よく取り組んでいる	どちらかといえば、取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない		
48				校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない		
49				教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	あまり把握できていない	把握できていない		
50				幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。（予定を含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		



※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



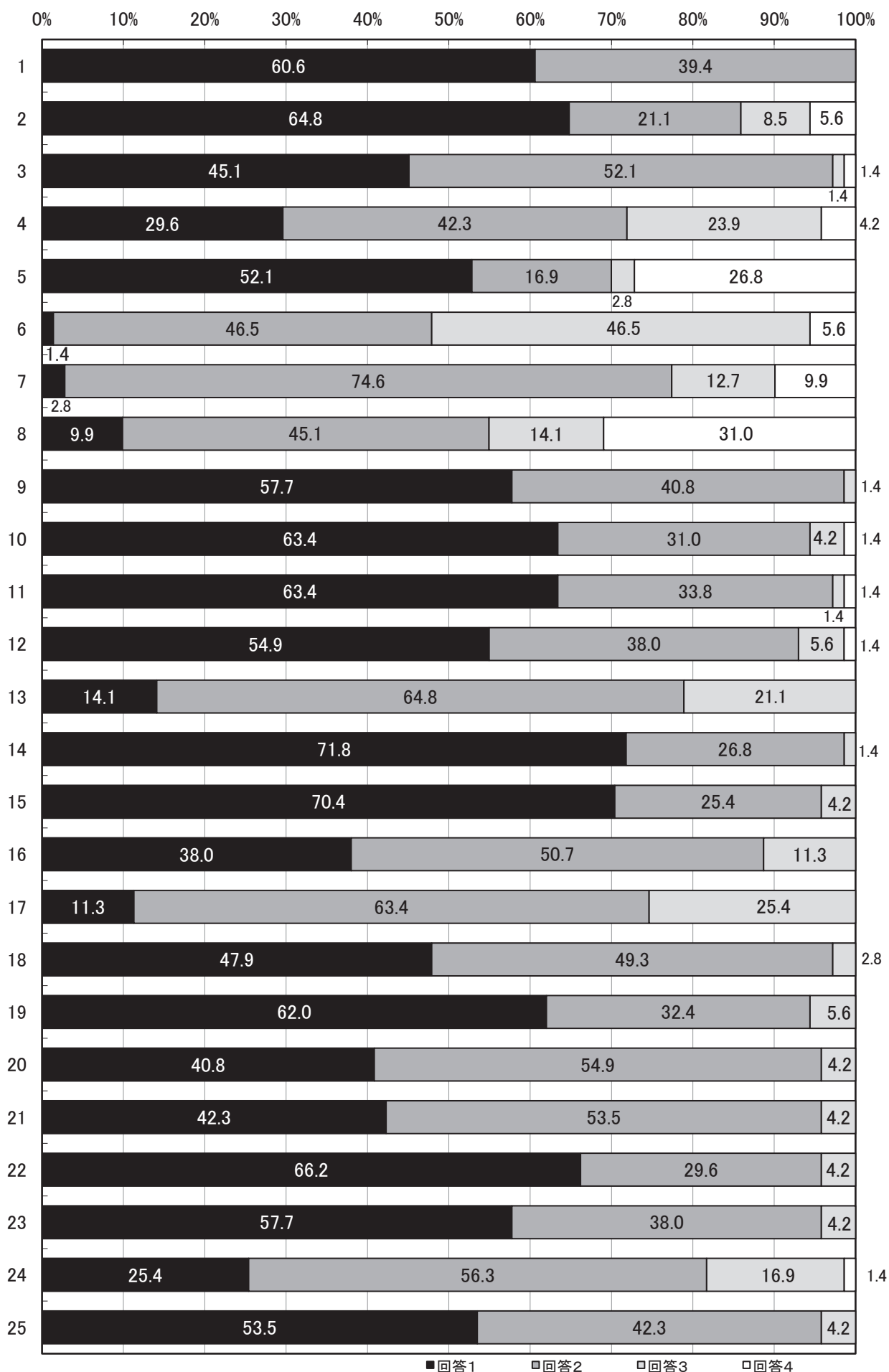
Ⅲ 学校質問紙  
調査結果経年比較

中学校調査結果①

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1			1 家庭・ 地域との 連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2				ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3				P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4		◆		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
5				「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
6				いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
7				教室に入りにくい生徒に対してどのように支援を行っていますか。	別室を用意しているが、支援に当たる教員はいない	教員が交代しながら別室で過ごす生徒の支援に当たっている	専属の教員が別室で過ごす生徒の支援に当たっている	教室に入れない生徒はいない
8				ヤングケアラーと思われる生徒について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。	要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある	要対応に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援につないでない(学校で対応している)	ヤングケアラーと思われる生徒はいなかった
9	(12)		2 社会性・ 道徳性の 育成	生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10				学級活動や生徒会活動は、生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11	(13)			学校生活の中で、生徒一人一人のよさを見つけ、生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12				生徒によるボランティア活動を実施していますか。(特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む)	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
13				保護者などに道徳の授業を公開しましたか。(本年度の予定を含む)	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
14			3 等と基礎 的思考力 ・基本 的 判 断 力 ・ 表 現 力 の 確 立	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
15				数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16				学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
17				より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
18			4 指導方法 等につ いて	授業で、生徒が目的をもって話し合いができるよう工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
19				学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20				生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21				単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22				授業の最初に、生徒が自分の目標(めあて・ねらい)をもてるように工夫していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
23				授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24	33			授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25				普段の授業で、生徒の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

※「0.0」の場合、数値は表示していません。

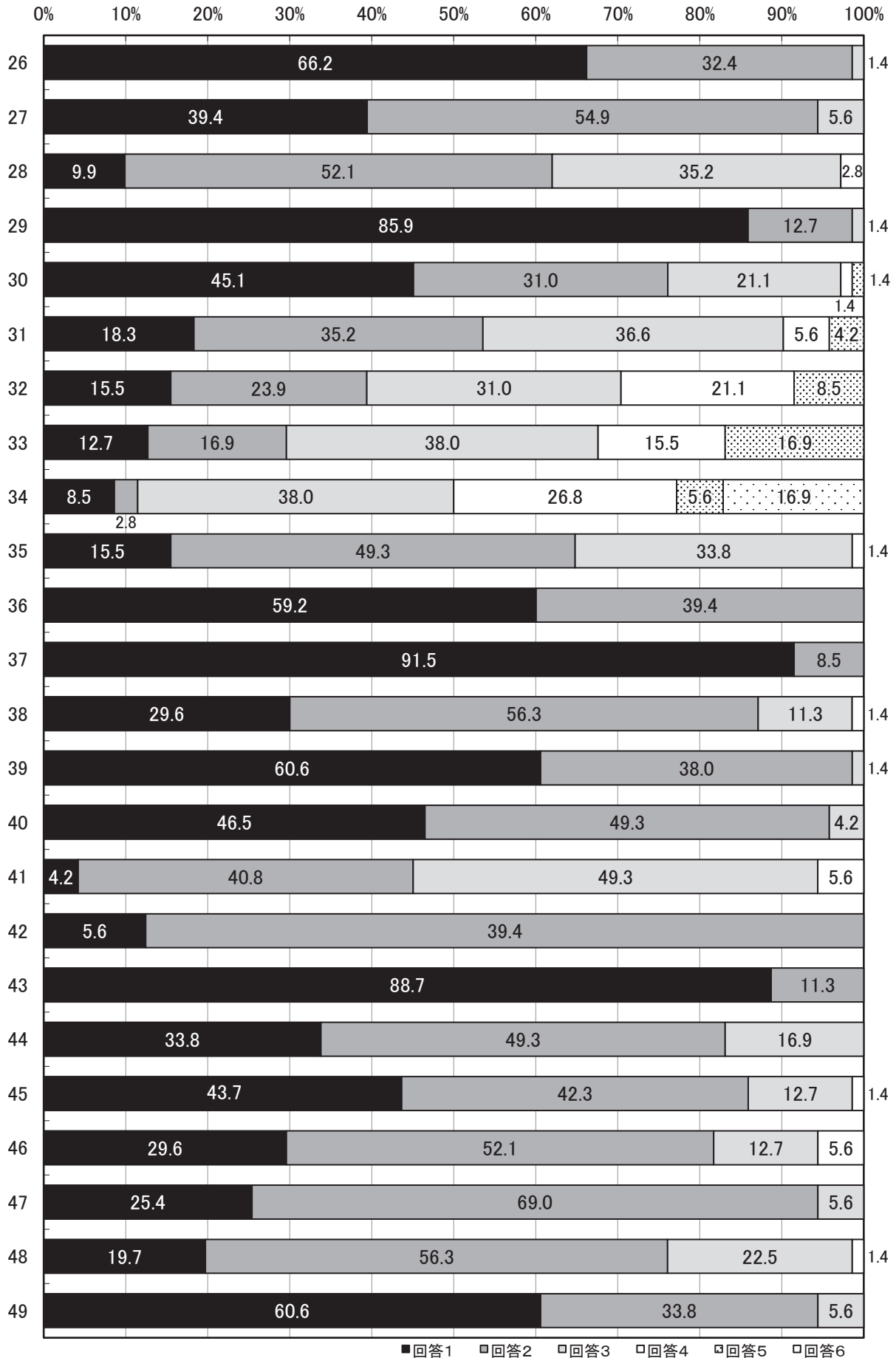


中学校調査結果②

番号	全国 関連	基本 計画 指標	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	回答6
26			4 指導 方法 等 につ いて	普段の授業で、生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
27	(29)			普段の授業で、生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
28				新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
29	60			普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
30	63			生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、3年生の授業で、どの程度活用していますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
31	64			3年生の生徒が自分で調べられる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
32	65			3年生の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
33	67			3年生の生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	
34	71			生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。	毎日持ち帰って、毎日利用させている	毎日持ち帰って、時々利用させている	時々持ち帰って、時々利用させている	持ち帰らせていない	持ち帰らせてはいけないうとして	臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
35				「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
36			小学校外国語活動（小5・6年生外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。	はい	いいえ					
37			小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ					
38	(84)		5 庭 学 習 家	家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない		
39			6 学 校 経 営 他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
40	(22)			模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
41				現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
42				現職教育等で「生徒指導提要（改訂版）」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
43				前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ				
44				ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない		
45	61			教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、ない	ない		
46	62			コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		
47	(16)			ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。	よく取り組んでいる	どちらかといえば、取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない		
48				校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない		
49			教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。	把握できている	どちらかといえば把握できている	あまり把握できていない	把握できていない			

※「その他」を含んでいないため、内訳の合計が100%にならないことがあります。

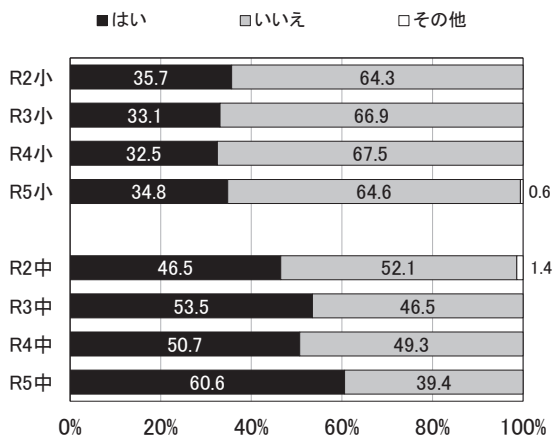
※「0.0」の場合、数値は表示しておりません。



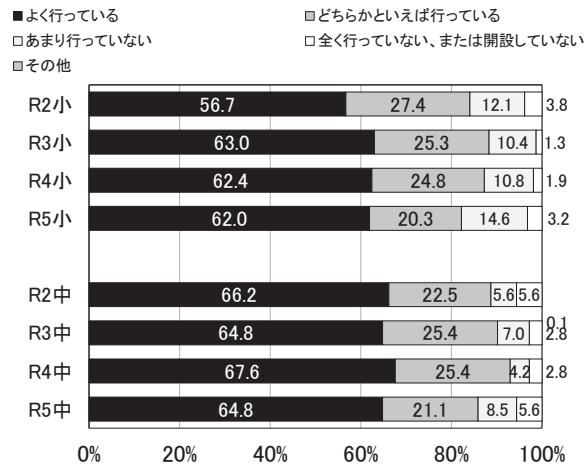
Ⅲ 学校質問紙  
調査結果経年比較

# 1 家庭・地域との連携

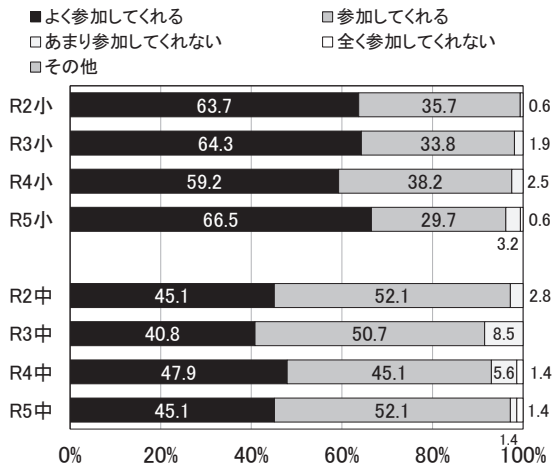
1 地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。



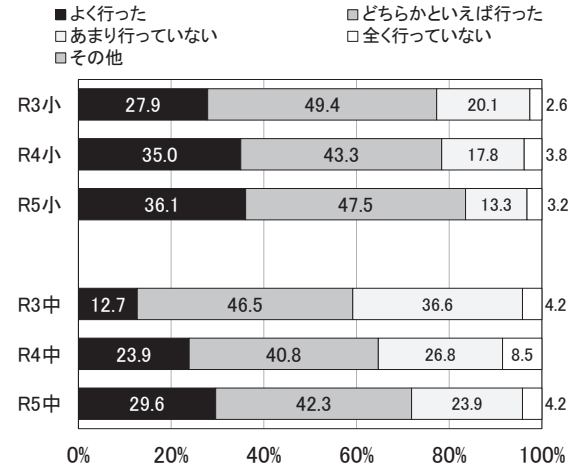
2 ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。



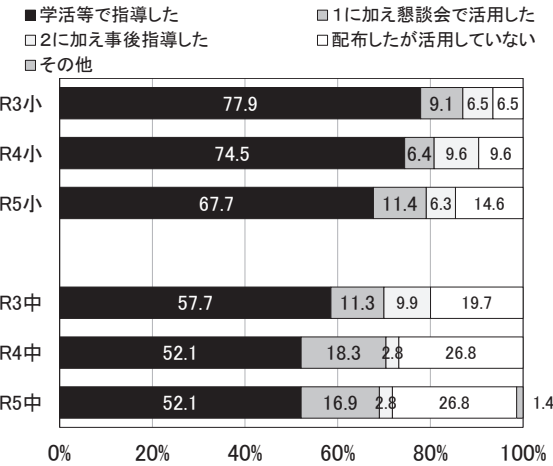
3 PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。



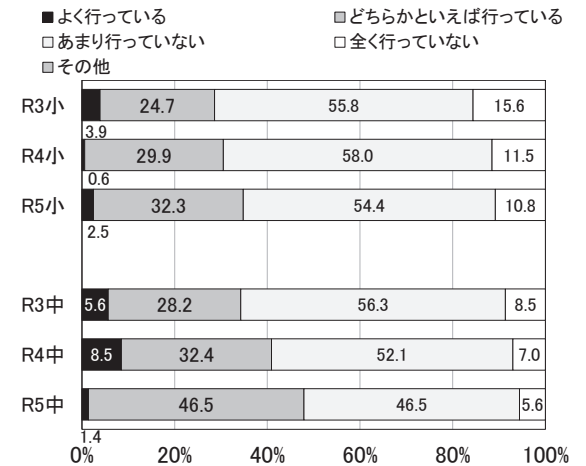
4 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。



5 「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。

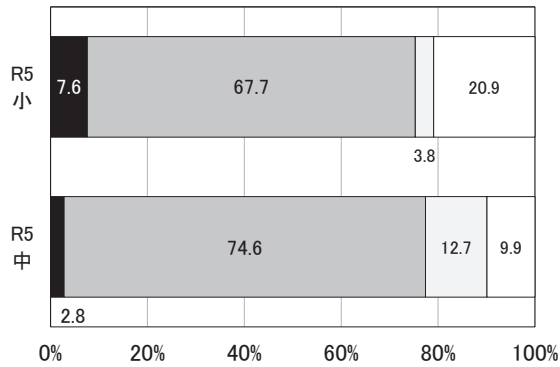


6 いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。



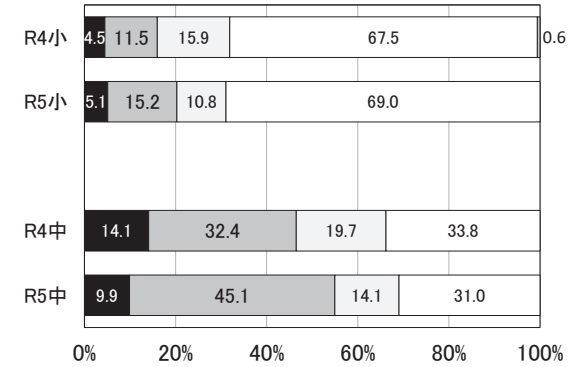
7 教室に入りにくい児童生徒に対してどのように支援を行っていますか。

- 別室を用意しているが、支援に当たる教員はいない
- 教員が交代しながら別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている
- 専属の教員が別室で過ごす児童生徒の支援に当たっている
- 教室に入れない児童生徒はいない
- その他



8 ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。

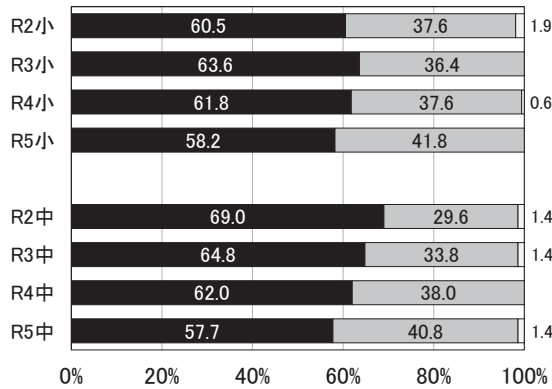
- 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある
- 要対協に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある
- 外部の支援につないでいない(学校で対応している)
- ヤングケアラーと思われる児童生徒はいなかった
- その他



## 2 社会性・道徳性の育成

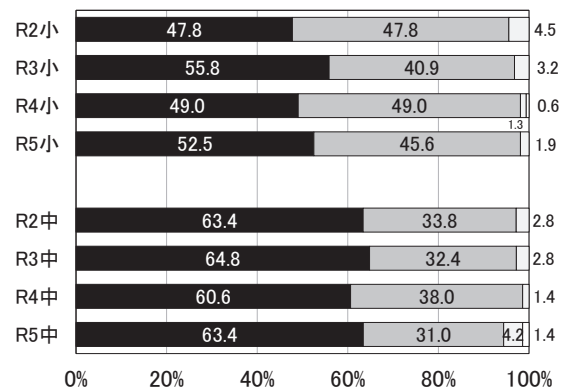
9 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



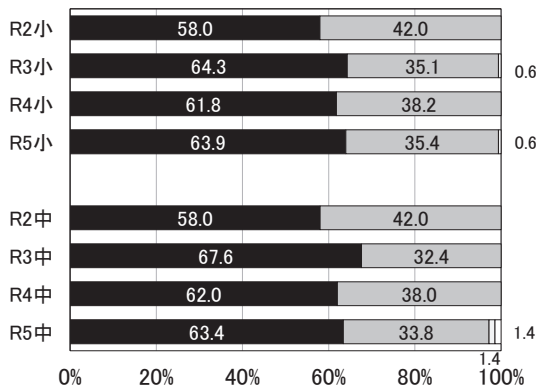
10 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組が推進されるよう指導、支援を行っていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



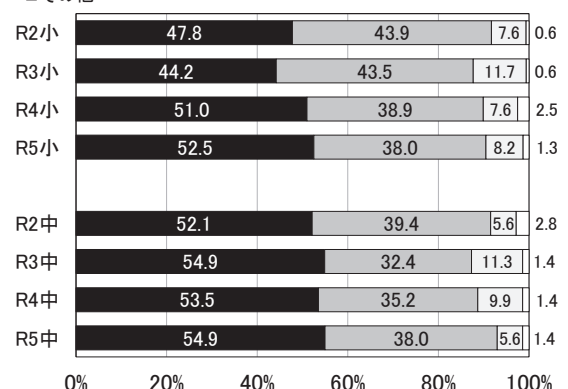
11 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見つけ、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



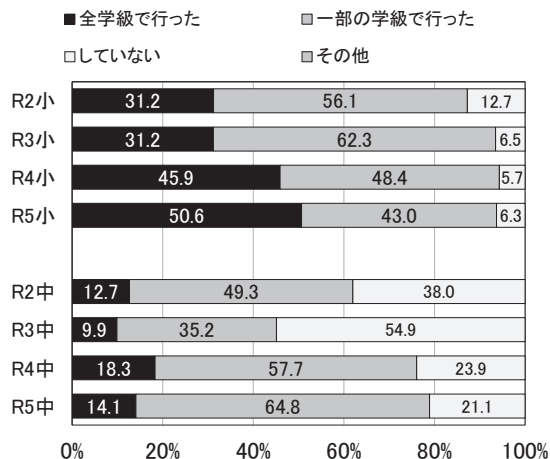
12 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。(特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む)

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



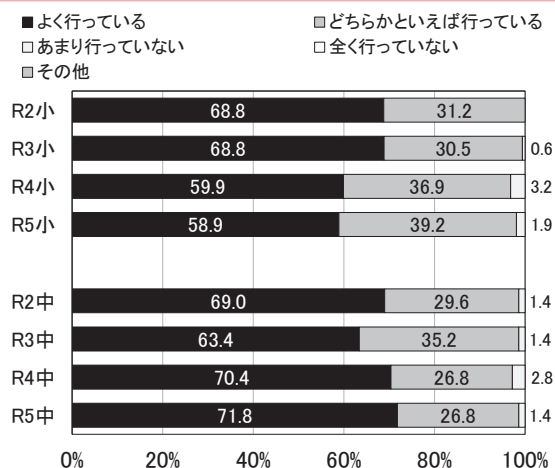
※「0.0」は省略しています。

13 保護者などに道徳の授業を公開しましたか。  
(本年度の予定を含む)

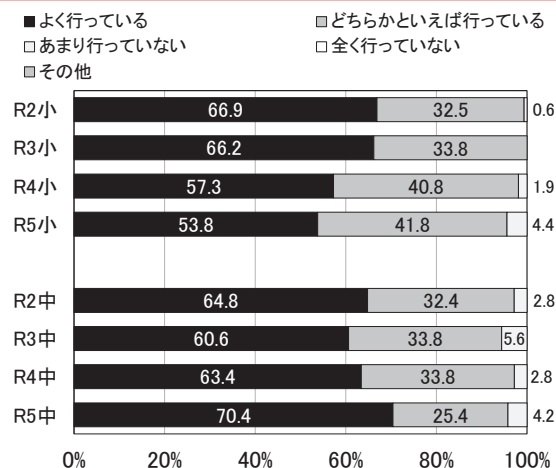


### 3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立

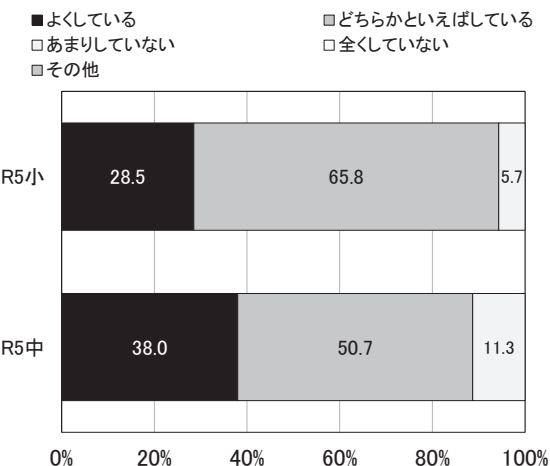
14 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。



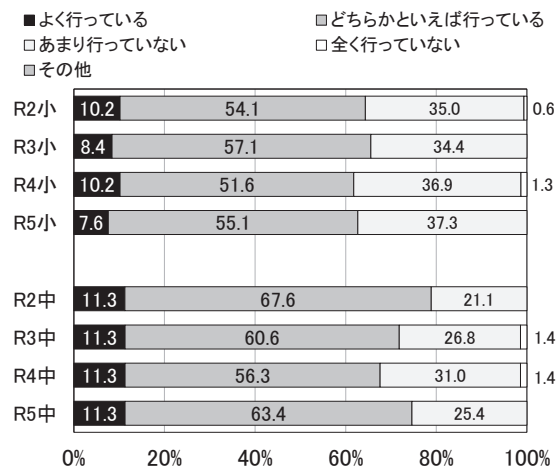
15 算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。



16 学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫していますか。



17 より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。

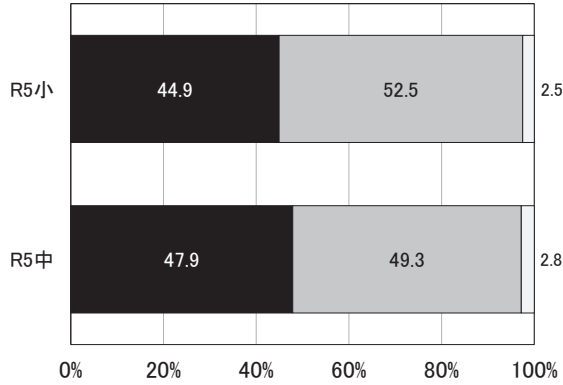




# 4 指導方法等について

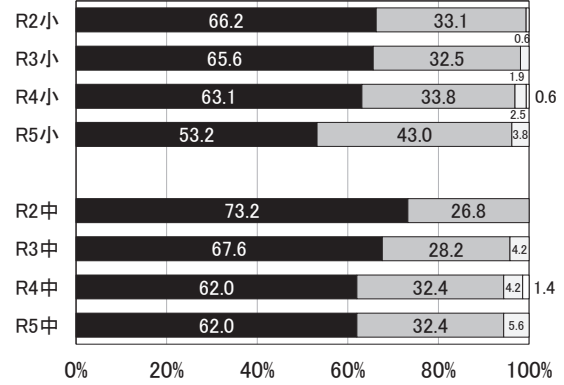
18 授業で、児童生徒が目的をもって話し合いができるよう工夫していますか。

- よくしている
- あまりしていない
- その他
- どちらかといえばしている
- 全くしていない



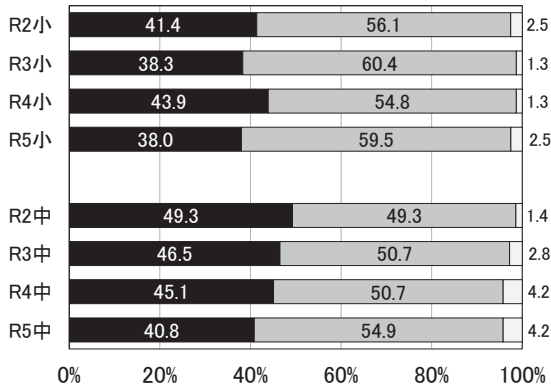
19 学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



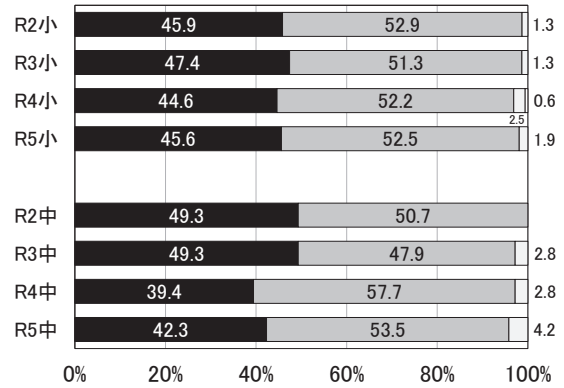
20 児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



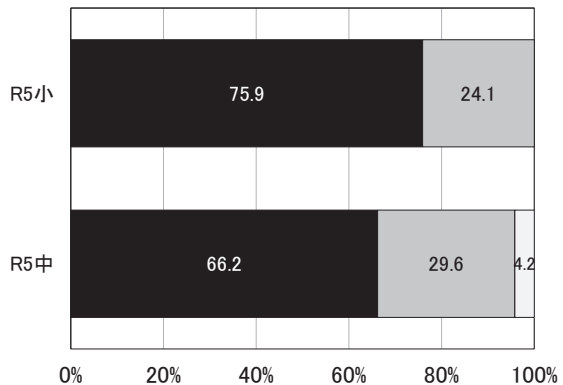
21 単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



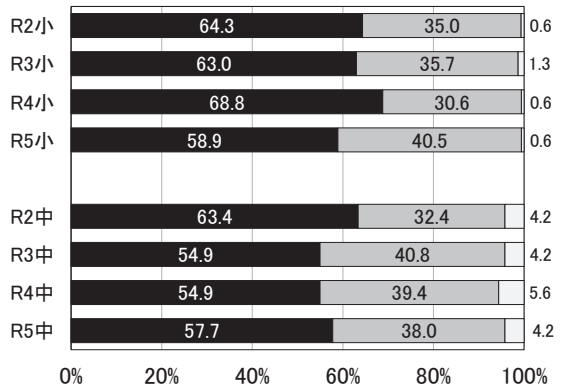
22 授業の最初に、児童生徒が自分の目標（めあて・ねらい）をもてるように工夫していますか。

- よくしている
- あまりしていない
- その他
- どちらかといえばしている
- 全くしていない



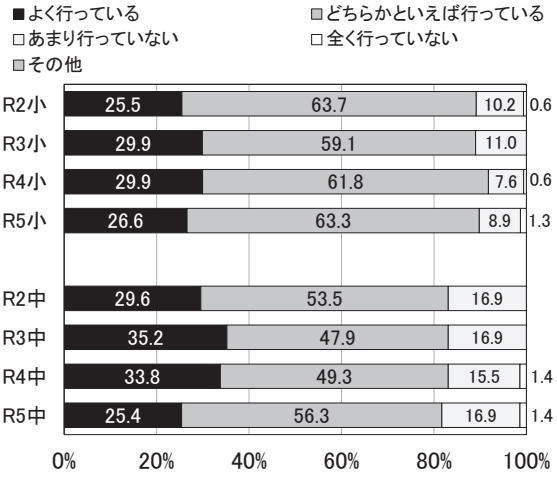
23 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない

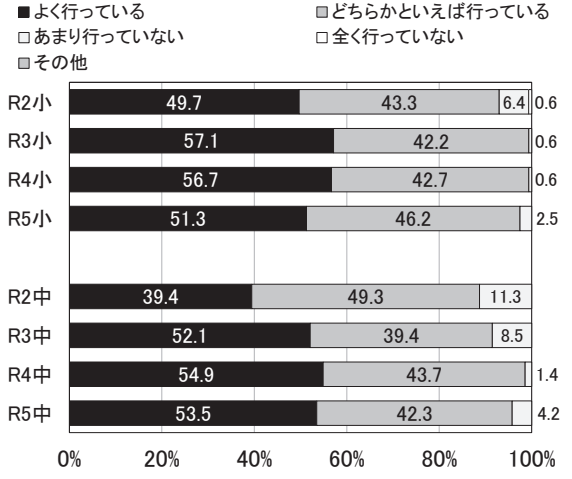


※「0.0」は省略しています。

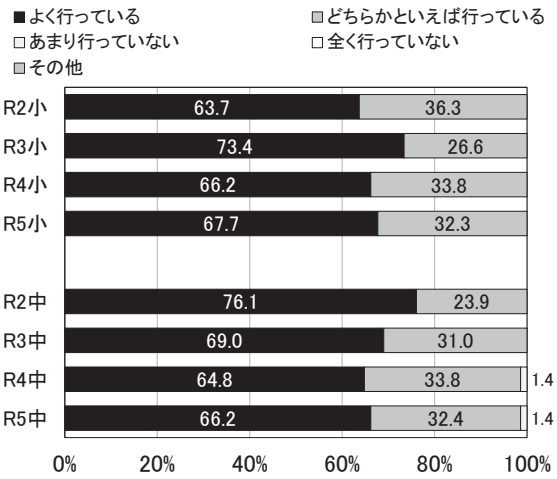
24 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。



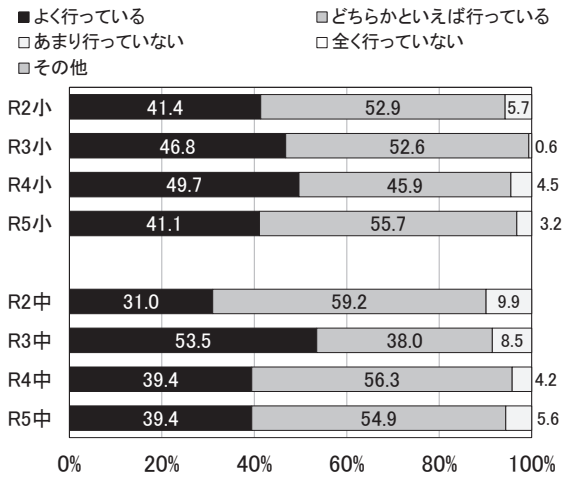
25 普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。



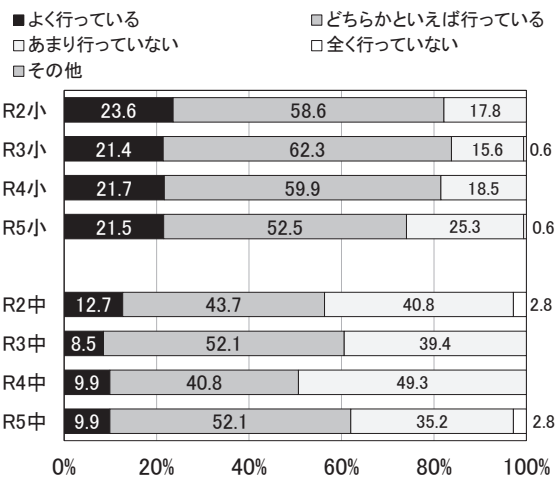
26 普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。



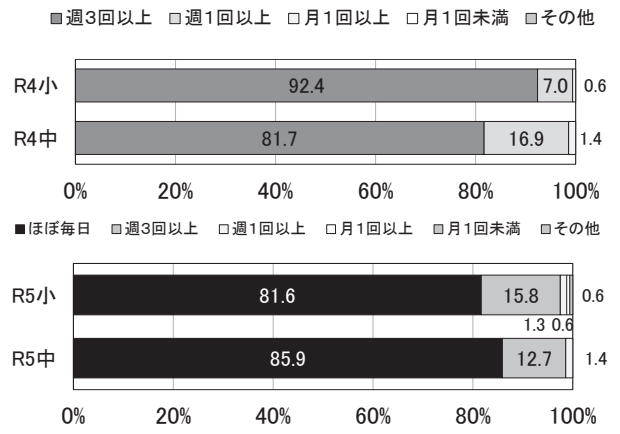
27 普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。



28 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。



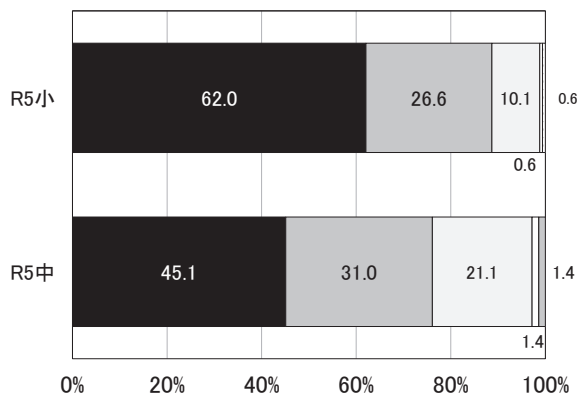
29 普段の授業で、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を、1クラス当たりどの程度行っていますか。



※R5から「1クラス当たり」の文言が追加されています。

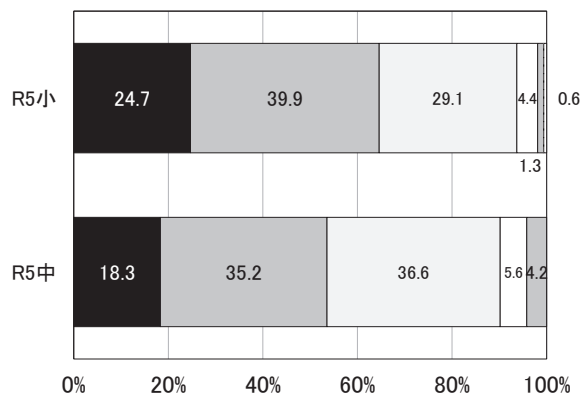
30 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、6年生(3年生)の授業で、どの程度活用していますか。

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- その他



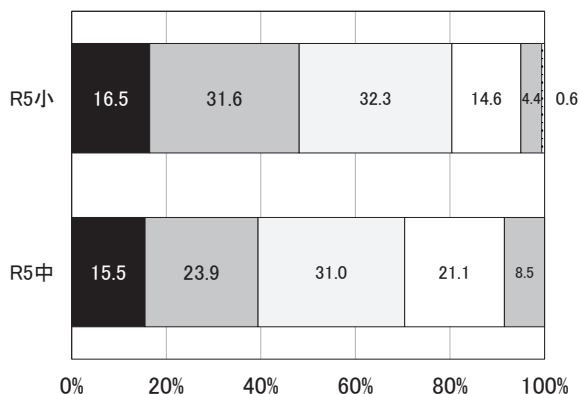
31 6年生の児童(3年生の生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- その他



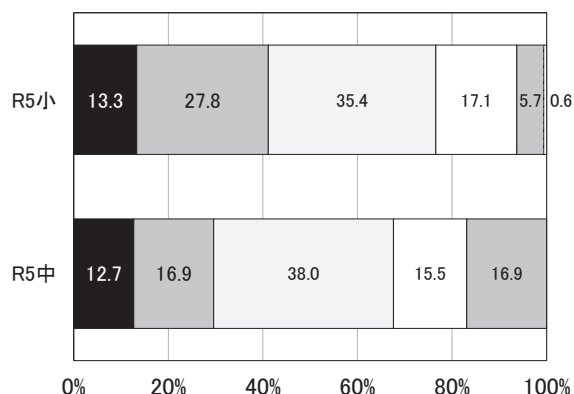
32 6年生の児童(3年生の生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- その他



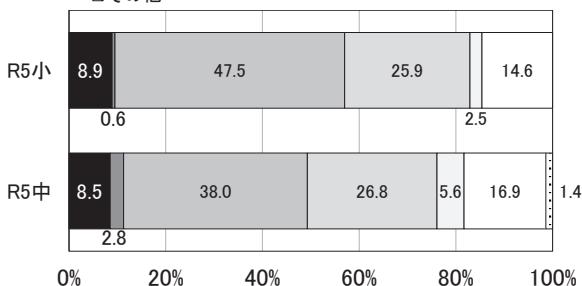
33 6年生の児童(3年生の生徒)同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていますか。

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- その他



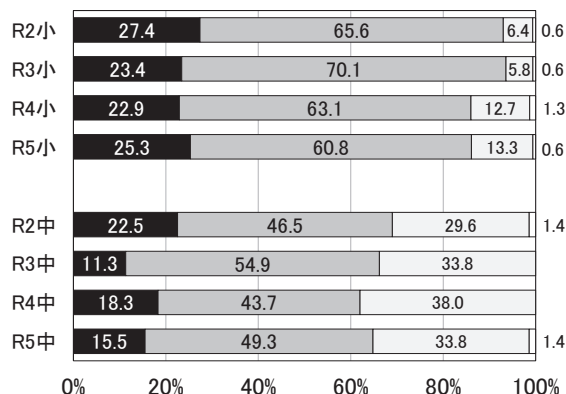
34 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。

- 毎日持ち帰って、毎日利用させている
- 毎日持ち帰って、時々利用させている
- 時々持ち帰って、時々利用させている
- 持ち帰らせていない
- 持ち帰らせてはいけないこととしている
- 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
- その他



35 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。(社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む)

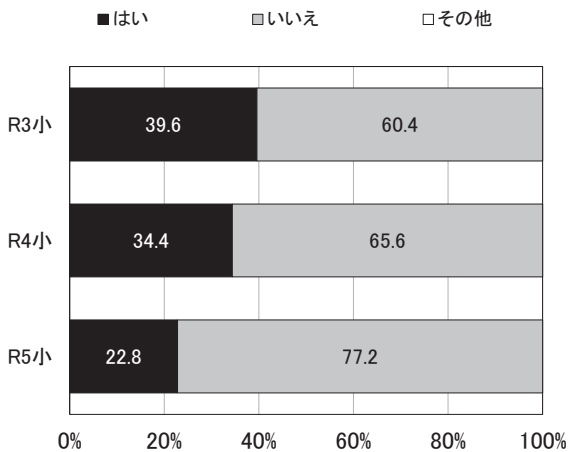
- よく行っている
- どちらかといえば行っている
- あまり行っていない
- 全く行っていない
- その他



※「0.0」は省略しています。

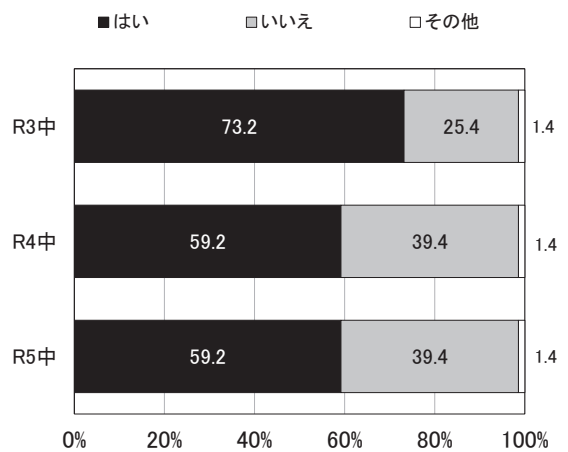
小学校

36 外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。

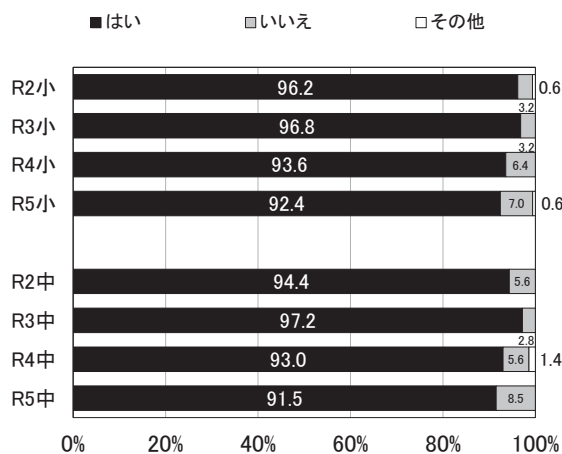


中学校

36 小学校外国語活動（小5・6年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。



37 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）



さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕

授業力向上に役立つ情報がたくさん掲載されています。研修等でぜひご活用ください。



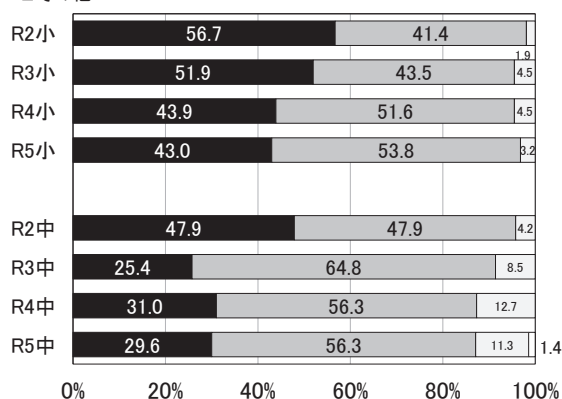
『さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕』

<https://www.pref.kagawa.a.lg.jp/documents/14668/kisokihon-all.pdf>

## 5 家庭学習

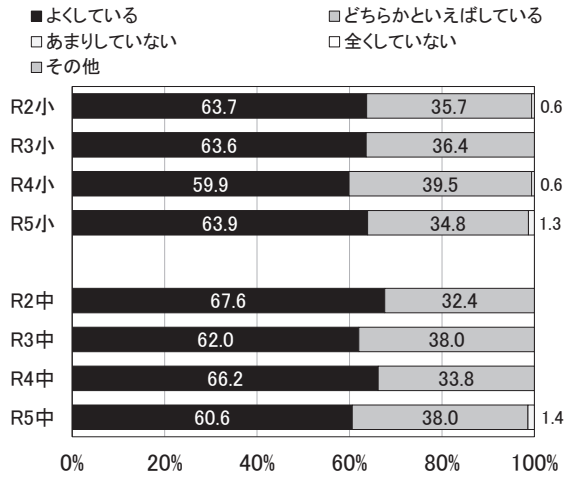
38 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。

■よく行っている □どちらかといえば行っている  
□あまり行っていない □全く行っていない  
□その他

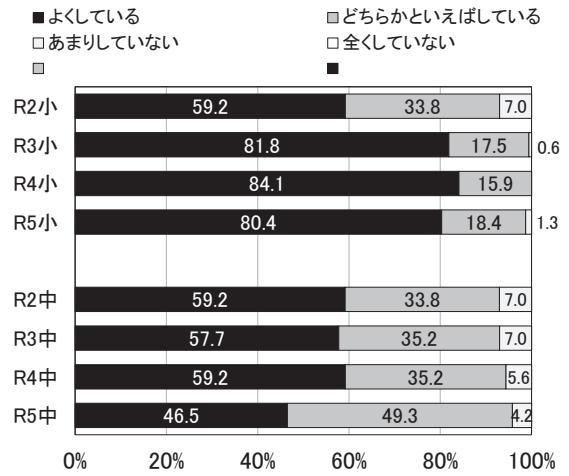


# 6 学校経営他

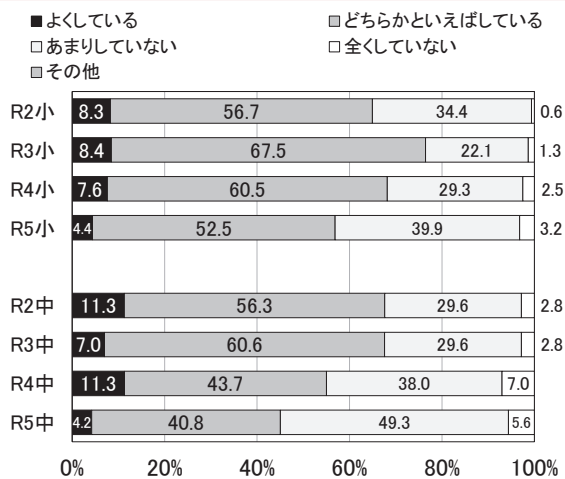
39 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。



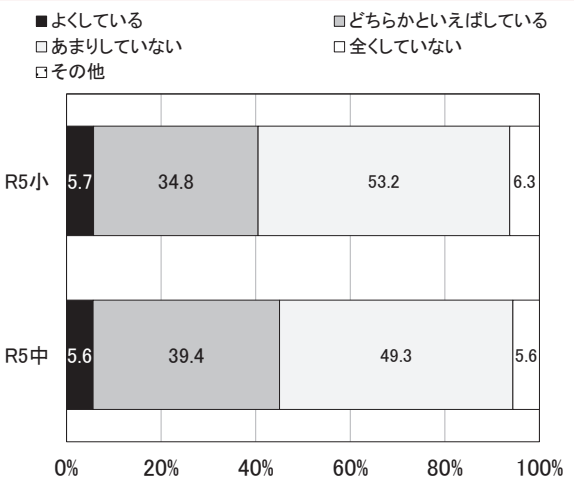
40 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。



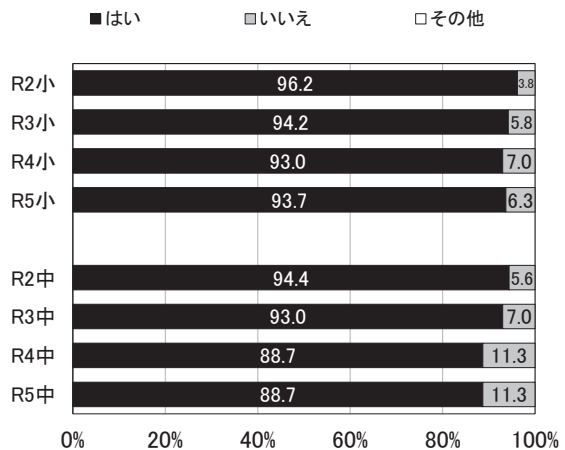
41 現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。



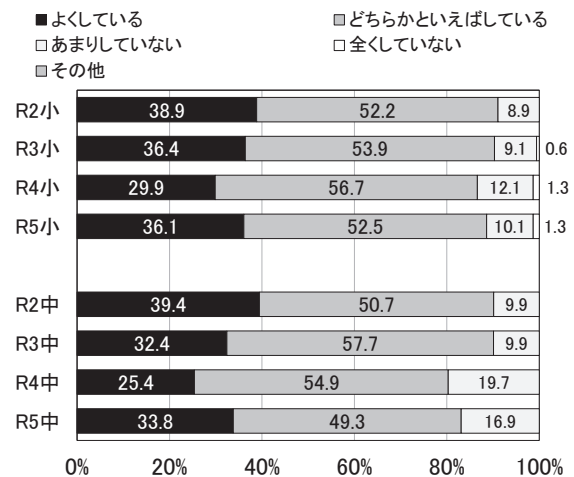
42 現職教育等で「生徒指導提要〔改訂版〕」を活用していますか。



43 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。

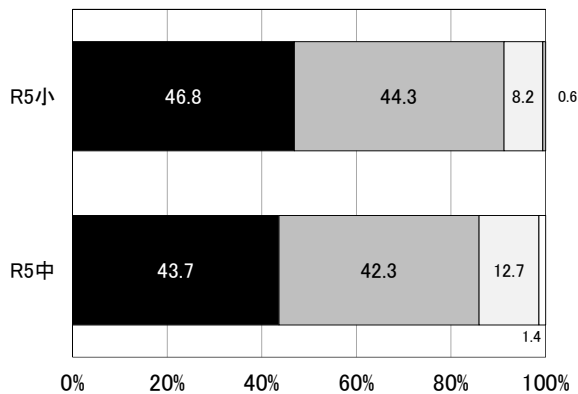


44 ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。



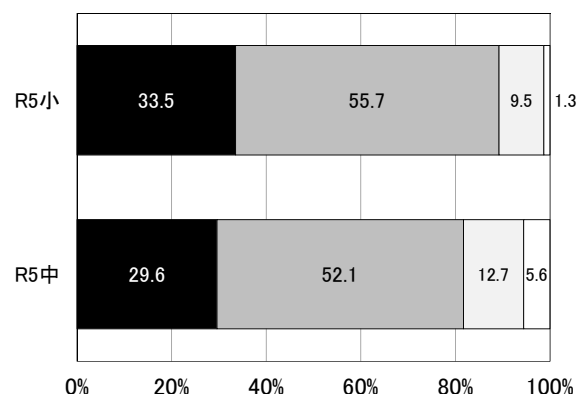
45 教員が、コンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか。

- ある
- どちらかといえば、ない
- その他
- どちらかといえば、ある
- ない



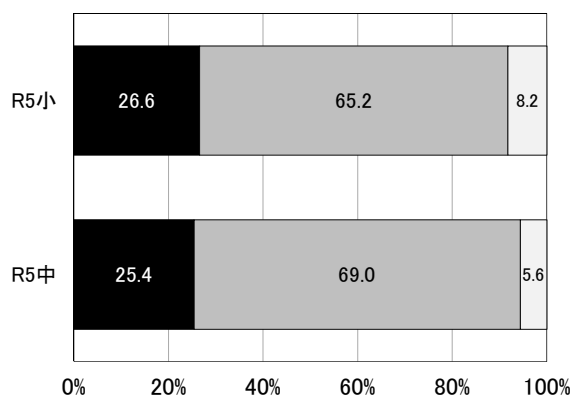
46 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。

- そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- その他
- どちらかといえば、そう思う
- そう思わない



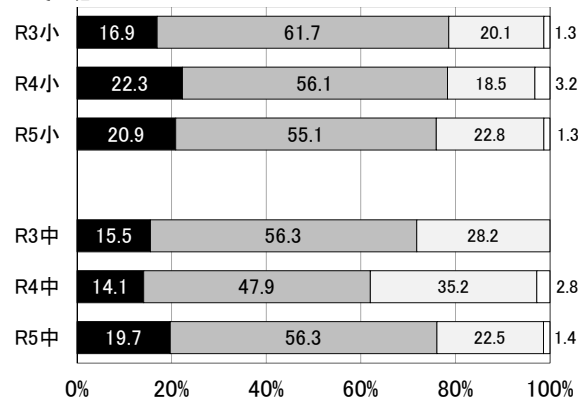
47 ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）に取り組んでいますか。

- よく取り組んでいる
- あまり取り組んでいない
- その他
- どちらかといえば、取り組んでいる
- 全く取り組んでいない



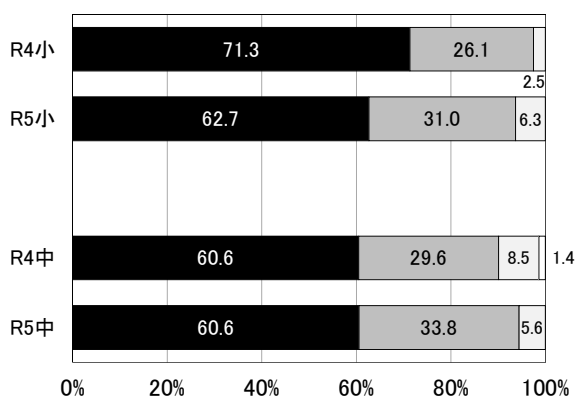
48 校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。

- 早くなっている
- あまり早くなっていない
- その他
- どちらかといえば早くなっている
- 早くなっていない



49 教職員は、毎月の自分の時間外在校等時間を把握していますか。

- 把握できている
- あまり把握できていない
- その他
- どちらかといえば把握できている
- 把握できていない



小学校

50 幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。（予定を含む）

- よく行っている
- あまり行っていない
- その他
- どちらかといえば行っている
- 全く行っていない



※「0.0」は省略しています。